



體驗文集
Vol.4 / 冬号

田池留吉の意識を一斉に受ける試み

於檀原ロイヤルホテル／二〇一四年十月十四日

檀原セミナー二日目

田池先生の講話（梗概）

それでは二日目、本番の日ですね。今回のテーマですか、メッセージをね……。

まあその前に、この学びの一番大事なことは、田池留吉にしっかりと心を向ける。針を向ける、合わせる。ピツタリと合っているかどうか、これですね。もうこれに尽きるわけです。もうそれ以外は何もないんです。どんな立派な文章を書こうと、お話をなさろうと、そんなもの、何の価値もないんです。肉の世界では価値がある。肉の世界で価値があるものを、価値があると、私は思わない。と言って、肉持っている以上はね、ある態度はお付き合いもありますしな。それはもう分かっておりますやろ。それは、ほどこほどに。このほどほどというのが難しいんです。ほどこほどができないの、みんな。ほどこほどできないような原因を全部が持っているわけ

です。それを今世は、その原因をなくそう、ということとは、自分のふるさと、原点に戻すことなんです。これが今世の仕事であつて、他はどうでもいいんですよ。

こう言うときまた、昨日も言いましたか、「調和が大事や」とかね、「肉も大事や」とか。もうそういう人は駄目。はつきり言います。これは何年やつても駄目です。そんなに生やさしいものではない。そうでしょ？ ふるさどから出てきて、愛から出てきてですよ、長い年月、この地球上だけに限つても数億年ですね。数億年ですよ。数年と違うんですよ。皆さんの人生は、たかだか七十か八十ぐらいで終わりですわね。まあ百の人もあるけれども、ごく少数ですね。まあよく生きて七十か八十ですわ。たいてい五十くらいから死んでいくんですわ。

その死に方も、空しい死に方ですね。これだけしっかりと覚えておいてくださいよ。

最期が大事なんですよ。有終の美を飾る、と

ありますが、最期ですよ。最期は苦しくてね、もう顔がこんなになって、ただ生きていて、息を吸っている……そんな人生を送りたいですか？「いや、もうこの何十年は素晴らしかった。満足だ！」そんな顔していませんよ、死に際は。

なんぼ苦労しても、そういう苦労したものから何かを学んで、こう明るく、ゆったりとしていけばよろしいね。「私は苦労していますよ！見てご覧！皺だらけでしょう」と言う人がいる。そんなん、どうでもいい。苦労しても皺がない人。苦労してもね、目がパッチリとしているとかね、そういう人がいいですよ。

「悲しい、寂しい、辛い、痛い、あいつが悪い、こいつがどうや」とかね。「もう人生真つ暗や、もう死にたい」、もう勝手なことを言うのよ。

死ぬために生まれてくるんやったら、はじめから生まれるとき。決意したんでしょ、みんな約束したんでしょ。それを自分で死ぬというのには情けないですよ。自殺した人、おるよ、ぎょ

うさん。ノーベル賞、貰ろうた人でおるのよ。日本の小説家ですが、もう最後は小説が狂っているんです。完全に狂っている。意識の世界が分からないんです。しかし、それを小説化しているんです。もう狂っていますよ。それで、そのうちにガス管くわえて「クツ」と死んだ。ガス管くわえて死んだらあかんで。それで、この人生を終わりにする。終わりになるんやったらよろしいねん。それやったら、私も考えが変わりますよ。「もう皆さん、ガス管くわえて死になはれ」てなもんや。「生きてても仕方ありませんわ」言うてね。みんなガス管用意して「はい！」いつせいにプツと流しておしまいや。

死んだらあかんのよ。人を殺してもいかん。それはなぜかと言うと、なぜ生まれてきたかということを知っていたら、死なないんです。

でも、分からない人が殆どですよ。日本で分かった人おりません。アメリカもおりません。ましてや、よその国にはおりませんわ。皆さん

ぐらいですよ。いや、皆さん分かっているんだけれども、本当は分かっているのに、分かったような顔するから、私は色々虐められるんですよ。凄いですよ。

まあ色々下らん話をしましたけれども、これから本番をやりますよ。ここに笛がありますから、私が笛を吹いてから始めくださいよ。一斉にする、言うてるでしょ。一斉だから、先にやったら駄目。これを「ピッ」、こういう音がしますと、それから田池留吉のメッセージを受けてもらう。それをパソコンに打つとですね、このパソコンの画面へ出てくるわけですね。一斉に出来るかどうかということを、皆さんに体験していただく。そして「ピッ」と吹いたら止める。これで、終わるわけです。

もつといいのはね、一斉に三十何億の人類にやったら一番いい。これは不可能です、分かかりますね。もつといいのは、私が死んでからやる。これをお願いしときたいですね。

それでは始めますよ。で、こういうメッセージを受けるとき、何事もそうです。何事もそうですが、特にこのメッセージを受けるときは、田池留吉にまず心の針を向ける、合わせる。これを必ずやってください。いいですか。それから響いてきますから。響いてきたのを打てばよろしい。これだけです。分かりましたか。

では初めは、この笛を鳴らしますから。笛を鳴らしたら、自分なりに一つメッセージを受けてください。さっき言うたように、合わせてからメッセージを受けてください。よろしいか。いきますよ。(笛の音)

◇メッセージ

毎日、瞑想していますか。

田池留吉に向ける瞑想が究極の反省です。

たゆまず、繰り返し瞑想してください。それがあなたの仕事です。そうすれば、あなたが何ものか分かってまいります。

あなたは愛ですよ。あなたは喜びですよ。

意識の流れを感じてください。

すごいでしょう。うれしいでしょう。

愛に目覚めてください。

◇感想

セミナーの始まるまえに、「ふるさと」の歌をみんなで歌っている最中に、不思議なことに「約束」「ふるさと」「わが友」「この道」のフレーズのところで、温かいぬくもりを感じました。

そして、ずっと大きな声で歌いたい思いが出てきて、うれしくなりました。

先生の講話はこれまでも話されていた内容でしたが、悉く納得、納得で、とくに、「肉はほどほどに……」というくだりが印象的でした。

「田池留吉の意識を受ける」時には、心を田池留吉に向けて受けようと思いました。パソコンのキーボードを打とうとするのですが、どんなにか感じて、キーボードを思うように打てませんでした。

とにかく心に聞こえてくる言葉を、何とかキーボードに打ち込みました。

セミナー中の自分の「パッパツの体験」では、自分の思いを向けたコップのオーリングテストの結果と、田池先生が向けられたコップのオーリングテストの結果のあまりもの違いに、驚き、驚きでした。その驚きが嬉しかったです。

○・一秒の世界は凄いです。オーリングテストは心を科学する実験と思いました。

原因と結果がある世界でした。

セミナーの最後の日だったと思いますが、みんな、① 田池留吉に心を向ける瞑想 ② 田池留吉に心を向け、「肉体細胞に、ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」の瞑想 ③ 田池留吉に心を向け、心の底の底に向ける瞑想、をしました。

三番目の心の底の底に向ける瞑想は、凄かったです。表現することがうまくできませんが、金属のような硬いものから響いて出てくるようなエネルギーが出てきました。自分が作った神かも知れません。このマイナスのエネルギーが肉体を完全に支配していて、自分でどうすることもできませんでした。

数えきれない転生をして、



数え切れない間違った人生を送ってきた結果、心には、まだ、まだマイナスのエネルギーが蓄積していると思えました。残された人生、毎日、心を見て、瞑想してマイナスのエネルギーをプラスのエネルギーに変え、愛に帰る道を、

真剣に真剣に進もうと思えました。

◇メッセージ

お母さんの温もりを感じていますか？ お母さんの温もりがどれだけ大事か心に響いてきていると思います。

焦らなくていいんです。けれどもしっかりとお母さんの反省、そしてお母さんを思う瞑想、ゼロ歳の瞑想をしてください。心の中の意識、たくさんの自分が待っていることを、もう心で十分感じているはずですよ。自分の中に針をしっかりと向けて、そして、優しいあなたを信じて伝えていってほしいのです。日々動く心、付き上がってくる思い、愛だと信じられますか。共に帰りましょう。そんな優しい思いを向けられるあなたになってください。

自分の心を救いたかったから生まれてきたのでしょうか。

お母さんに産んでもらったんでしょ。お母さんの意識があなたに伝えてくれている思い

を、もっともっと心で感じてほしいのです。愛でないものなど一つもない。そのことを心で分かるまで心を見続けてください。

ありがとうございます。

◇感想

肉の私は本当にどうしようもないけれど、みんな「ふるさと」を歌う、心がほどこけていくように、心が安心するようないになりました。そしてセミナーは始まりました。「あー、意識はここに参加させてもらえたことを喜んでいんだなあ」と感じました。

本当にこんなに大切に貴重な時間はないなあとも感じました。意識を受けるということで緊張もしたけれど、出てきた思いを素直に打っていただくのでいいのだと思います。ごちゃごちゃはいららないのだと思いました。



ただ課題もたくさん見えました。一からやらなければならぬという思いにもなりました。田池留吉を思うことの大切さを伝えてもらっているのに、それが出来ない壁があることも感じました。

二日目の
夕飯の時、
昨日は嬉し
かったのに
ふつと心が
沈むのを感じ
ました。
あー、また
人と自分を
比較する思
いが出ている
のだと感
じました。
自分を小さ

くする思いです。

「自分に優しくなりたいなあ」そう思いました。田池留吉に心を向けていくことを伝えてもらったのだから、素直にやっつけていこう。それしかないのだとも思いました。

今回、学びの友とたくさん話をさせてもらったことも嬉しいことでした。お部屋で瞑想したことも嬉しいことでした。

「自分にメッセージをもらったのだから、それを実行しなさい」と田池先生がおっしゃっていました。それをこれから焦らずにやっつけていこうと思います。

本当に嬉しいセミナーでした。皆さん、本当にありがとうございました。心からありがとうございました。

◇メッセージ

愛は喜び、愛はぬくもり、愛はパワー

この愛は、あなたのこれからの永遠の指針です。いつもいつも愛を思い、その愛をどのよう
に自分が感じているのか検証することが大切です。
反省をする、その反省をする中であなたが
することは、愛を思い、ただただ愛に心を向け、
お母さんのぬくもりを、その心に広げていくだ
けです。無限の広がりです。

◇感想

参加に応募するときは、田池留吉に向いてな
い自分がメッセージを受けるなんてと尻込みし
ていました。でも応募二日前、自分の現状をはっ
きり知るにはこんな千載一遇のチャンスはない
とメールを送信しました。そして抽選に当たっ

た喜びもつかの間、台風が来ているさなかに出
かけることや、足や腰に不具合をもちながら、
重たいパソコンをリュックで担いで行かれるか
どうかの方が不安でしたが、段々と嬉しい思い
が湧いて参加できました。

それでもメッセージを受ける不安は残ったま
までした。

一日目、水の実験で呼ばれ、番を待つ間、心
に響いていたものは、あの場にある自分を思う
と、ただただ、「お母さん生んでくれてありがとう
う、ありがとう、お母さん嬉しい、ありがとう」
を連呼していました。パッパッの実験では相手
の方のオーリングが自分でやった時よりも固く、
先生の一瞬のパッのときは、岩盤のように固く
驚きました。後で自分がやったお水を飲みま
したが、トイレのお水が、なんと嘘のようにま
るやかでとろりとした水でさらに驚きました。

「これは誰もができるんですよ」とお話があ

り、お部屋で同室の方と何度かしましたが、二度、二度同じ水でやると味も変わっていました。

印象に残ったことは先生が「私は神です。みなさんですよ」と言い切ったことでした。二十五年学んできましたが、先生の口から「私は神です」と言われたのは初めてでした。その時、ズズンと、自分はなんてすごい学びをさせてもらっているんだろう、それなのにこれまでどれだけ学びを軽く捉え、先生の誠意をないがしろにしてきたのか、自分に懺悔でした。

肉体細胞に向ける瞑想でも満身創痍の身を思うと、自己選択の結果がこうやって間違ってきたこと、肉体細胞にどれだけ逆らって生きてきたか、それでもこの場にあることを思うと、細胞はどんな時も、ただひたすら愛を流して待ち続けてくれている、愛は無限、その思いが「お母さん、ありがとう、ありがとう」となってい

ました。

三日目の、奥底の底の底の瞑想の三分間はへろへろでしたが、心はすつきりして、喜びで嬉しかったです。コメントで、「まだまだ底にあるものはこんなものではない」とか、「本当に死ぬまで元気でこの闇出しに少しでも呼応できるようにしなくては」と、心を新たにしました。

最後に、このような学びの場を準備実行していただいたスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

◇メッセージ

あなたの本質に目覚めてください。あなたは愛、愛が本当のあなただということに目覚めてください。日々心を見ていますか。自分の優しさに気づいていますか。苦しみが本当のあなたではないことに気づいていますか。お母さんをおもっていますか。優しい思いでお母さんに心に向けていますか。田池留吉はどうでしょうか。あなたが向けている先は本当に田池留吉でしょうか。日々心の精査をしていってください。苦しいあなたに出会ったら、優しい思いで苦しみを受け止めていってください。苦しみは苦しみではありません。その苦しみを通して本当のあなたに気づいていってください。あなたの中で沢山の、本当に沢山の苦しみが待っています。思いを向けてくれることを待っています。その苦しい思いとともにお母さんのふるさとへ帰っていきましよう。帰っていけるあなたを信じて

ください。今世生まれた目的を思い出してください。あなたを産んでくれたお母さんの思いを心に思い起こしてください。優しい思いで今ある苦しみを包んでいってください。あなたの心は大きいです。もともともっと大きくて広い心です。本来のあなたに蘇ってください。苦しみは苦しみではありません。苦しみを喜びに変えるパワー、愛のパワー、あなたの心に呼び起こしてください。ともに帰っていくパワー、あなたの本質に目覚めてください。

◇感想

檀原セミナーに参加させていただき、ありがとうございました。

肉的に体がしんどくて辛い中での参加となりました。そんな中で自分の勉強に対する考えの甘さ、いい加減さを改めて感じました。やって

いるつもりは、何もやっていないことと一緒にした。出したものは帰ってくる、出した思いは自分で回収する、ということも因果応報と、自分の出す思いに本当に無責任でした。

自分の肉体細胞に向ける瞑想の中で、自分が垂れ流してきた思いの凄まじさを感じています。「田池留吉、死ぬ」という思いも自分が思う以上に凄まじいです。全身全霊を込めて田池留吉を殺しにかかっていると思います。そんな中で一瞬思いを向ける大切さを痛感しました。一瞬です。その一瞬がどれほど大切な時なのかを感じています。一瞬が長くなると念を込めています。田池留吉と思いがながら心は他力の神々に向いていきます。でも一瞬田池留吉に思いを向ける、そしてオーリングでテストする。今はまだまだ点数は低いけれど、向ける先は間違えない、そう自分に言える今世がとても嬉しいです。

自分の底の底の底のブラックのエネルギーを今世こそ出してあげたい。先生はセミナー中に

まだまだだとおっしゃいましたが、そのまだま
だの状態でも本当に苦しいです。底の底の闇を
受け入れるには自分の中の温もりも、優しさも
足りていないなど感じます。自分の肉体が吹っ
飛んでしまうのではないかという恐怖も感じま
す。でも恐怖の中で、じっとじっと息を潜めて
存在してきた自分に、今世こそ本当の愛を伝え
ていきたいと心から思います。

本当に必要なことは最初から全部教えても
らっていたんだなと感じさせていたいただいたセミ
ナーでした。ありがとうございます。

◇メッセージ

今あなたはこの会場に座っておられます。

あなたの心を私に向けて居られます。

この波動を、この優しい思いの世界を、どうぞ、これからの学びに役立てていってください。

私たちは、ひとつです。それぞれ肉は違っても意識のあなた達はひとつの愛、ひとつの温もりです。心を作ってきた苦しい思いをひとつずつ思い出し包んでいってください。待ち続けるあなたと共に進める幸せを、感じていけるあなたになっていってください。優しいあなたの世界に進んでこられることを、私は、楽しみに待っています。

◇感想

私は、山口県に住んでいるため、新幹線が止

まってしまいうんじやないかと思ったので、主人にお願いして、セミナーの前日に大阪に向かいました。

その日のテレビの台風情報で、すべてが雲に覆われた空の写真が目に入りました。綿のように真っ白な雲の中に、ボタンが置かれているように、一か所だけ雲がないんです。よく見てみると、大阪だけ雲がなく、うわーって思いました。不思議なほどポツカリ空いていました。

セミナーの中で、一斉に田池留吉の意識を受ける学びがスタートした瞬間のことを、私は書きたいと思います。

「ピーツ」と笛が鳴った瞬間に、静かな状態で待つ私の心に、バーンと凄い衝撃、いいえ今まで感じたことのない温もりが、ぶつかったように感じました。

体中が震えだし嬉しくて……じつとしようと
思う私と、叫びたくなる私とが同時に心を覆っ

てしまうような感覚になりました。

「そっだメッセージを受けるんだ」と思って、丹田呼吸をひとつすると、震える手でしたが、パソコンが打てました。

出てきた思いを、そのままゆっくりと打つことが出来ました。いつのまにか静かな状態に戻っていった私でした。

優しい波動のメッセージで、そんなに長いメッセージではありませんでしたが、深く伝わってきたので、私には、満足することが出来ました。

時間はまだたっぷりありましたが、もうこれでいいと思い送信しました。

その後、その波動の中に浮かんでいるような時間を体験させていただきました。

あの時、全く次元が違う世界だったのではないかと、今思い返して、そのように思えてきます。

いい私の勉強になるからと、勇気を出して一番最後に申し込んだように思いますが、本当に

嬉しいセミナーに参加させていただきました。

もうひとつ、朝食を終えて、出てきたところに陽子さんが真っ白の犬のぬいぐるみを抱かれ歩いてこられたので、私は思わず「いつも抱かれていますね」と、声をかけていました。

すると、陽子さんは、私の頬にそっとぬいぐるみを付けてくださいました。この上ない笑顔でした。

その優しかったこと、ふわーっと溶けそうな優しい波動に包まれました。思わず声を出したんじゃないかと思えます。

うわの空で部屋に帰ったのですが、陽子さんは、いつもあんな優しい思いで、田池先生に寄り沿われているんだなって、涙があふれてきました。

心を見ていこう。私も真剣に心を見ていこうって、陽子さんの波動に触れ思いました。

このセミナーに参加出来た私は、本当に幸せです。ありがとうございました。

◇メッセージ

愛はいつもあなたの中にあります。

常に外に心を向けているご自分を見てください。

私は肉のあなたに、何も求めてはいません。

ただ、田池留吉に心を向けていくのです。

肉ではないご自分を信じてください。

本当は溢れるばかりの愛の中に存在していません。

肉ではないあなたは、愛なのです。

意識です。

意識を信じていくのです。

私はあなたにいつもお伝えしております。

心を見てください。

肉ではなく、心を見て本当のあなたが大きな愛であることを信じていってください。

時はきます。

肉にまぎれている間に、時がきます。

そのときに、あなたはどんな心を出しますか？

私は愛ですと、心から思えるでしょうか？

大きな愛の中に存在しているご自分を信じているでしょうか？

私は、いつでも待っております。

田池留吉に心を向けていく、それがすべてなのです。

ありがとうございました。

◇感想

先日は、檀原チャネリングセミナーに参加させていただき、ありがとうございました。

今回、私はとても田池留吉のメッセージなど受ける状態ではないと思っていました。

肉のいろいろなことで、心が満杯になっていて、苦しい状態でした。

なので、メッセージを受けることは、できたらパスしたいと思っていましたのです。

でも、いざその場に座って、皆さんと一緒に田池留吉に心に向けたなら不思議でした。

どんどん入ってくるのです。

肉のことで、闇の中にいるような状態でしたが、受けているうちに霧が晴れてくるのが分か

りました。

ただ、田池留吉に心に向けていく。

そのことの、意味がよく分かりました。

その場に座らせていただけたことが愛だったと分かりました。

田池留吉のメッセージを受けることが大事なものではなくて、田池留吉に心に向けていくことが大事でした。

メッセージを受けることは、その中の一つのプロセスに過ぎないと思つた次第です。

ただ嬉しい時間をいただきました。

田池留吉に心に向けていく凝縮した時間をいただきました。

本当にありがとうございました。

◇メッセージ

田池留吉は愛です、あなたも愛です。そして、今日は、「私は神です」とお伝えしました。当然、あなたも神です。神でない神を心につくりあげてきたあなたの歴史を、どうぞ元あった自分、愛に返してください。我は神なりと宇宙に君臨してきたたくさんの自分に、私は愛です、ともに帰りましたように伝えてください。

眞実はひとつ、私たちは愛です、神ですと、心に広げていきましょう。喜び、温もり、優しさ、それがあなたです。母の温もりの中で生かされ続けてきた自分たちであったと、どうぞ喜びの声を大にしましょう。

たくさんの仲間たちが待っています、宇宙たちが待っています。これからの激動の時を、喜んで喜んで迎えていきましょう。私は愛です、あなたも愛です、私は神です、この言葉をいつも送っております。どうぞ心をひとつにして、

ともにともに愛に帰りましょう。

◇感想

心の奥の奥の奥底、言葉では何度も使いました。しかし、何というか、私の心の奥底に思いが到達することは今までなかった、それが今、可能になる、そう思うだけで凄い喜びです。

何としても愛に目覚めよう、愛に帰ろう、この凄い自分とともに、今世肉をそのためにいただいた、肉を通して出てくる奥底の自分を喜んで迎えよう、そう強く強く思います。

愛を捨てながら、その自分と真向かいになることなく、愛に帰れるはずはない。こんな当たり前のことが分からなかった。神でない神をつくりあげ、ないものがあると信じて、一体私は何をしてきたのか。己を表し、己が培ってきた闇のエネルギーを誇り、ますます自分を暗闇に

落とし込めてきた。そんな自分をようやく今、こうして受け止めようとしている。

何かまったく世界が変わって見えます。小さな世界で汲々と生きてきた哀れさを思います。ああ、大きな大きな世界に私は存在している、愛という永遠不滅の世界、それが本当の自分だった、求めてやまなかった世界、もうすでに自分の心の中にある、もう言葉も出ません。嬉しいとか喜びですとか、使う言葉は同じでも、中身が違う、深さが違う、ああ、私の学びはここだった、これだった、ここを目指してきたのだ、そんな叫びが上がります。

田池留吉に心の針を合わせる、これだけがすべきこと、これだけでよかった、これをするために産まれてきた、そして思いを向けることを学んでいる今を思えば、もうこれ以上の幸せはないと自分が自分に伝えてくる。

いつもいつも、「あなたは愛です」「はい、私は愛です」……このやり取りを、心の中で確かめ

ていきます。ああ、私は愛、私は愛、私は愛……心が広がります、温かな中に広がっていきます。

肉の自分にありがとう。何としても肉を持ちたかった自分よ、ありがとう。愚かな肉を携えて……ああ、ここに思いを向ければ、限らない喜びです。肉を通して、もつともつと学んでまいります。ありがとうと言いながら、肉を生きていきます。

◇メッセージ

あなたは田池留吉を小さく小さくとらえています。あなたが仕事をするわけではありません。田池留吉が仕事をします。愛の仕事します。田池留吉が愛の仕事をします。メッセージはいつも流れています。愛の仕事はします。愛の波動が仕事をします。愛はいつも流れています。あなたは田池留吉に心を合わせるだけです。あなたが仕事をするではありません。しかし、あなたも、あなたも愛だと信じてください。あなたが愛だと信じてください。あなたが信じた愛、それが仕事をします。田池留吉、愛を信じる分だけ、愛が仕事をします。肉のあなたが仕事をするではありません。愛が、波動が、愛のエネルギーが仕事をします。あなたは愛です。どうぞ心から信じられるあなたによりがえってください。ありがとうございます。このチャンスがあります。どうぞ喜んでください。このチャンス

活かして、勉強を進めてください。あなたは愛です。

◇感想

一斉のチャネリング実験の当初、自分はメッセージを受け取れるのかと、一抹の不安を感じていました。しかし、ひとたびチャネリング前に田池留吉を思うと、そんな不安や緊張は霧散しました。そして、自分の思い違いに気づかせて頂きました。

私は、「自分がチャネリング（仕事）をする」と思いこんでいました。しかし、いざ、あの場で田池留吉に合わせて実践してみると、仕事をしていたのは、愛のパワーでした。仕事をするのは、自分ではなく、田池留吉でした。自分が仕事をすると思うことは、田池留吉を小さく小さくとらえることでした。また、「波動が仕事

をする」ということも、軽く軽くとらえていました。

「チャネリングにおいて、大切なのは言葉の正誤ではない、波動だ」と言う反省もしていましたが、それも根本が違っていました。たとえば、どんなに正しい言葉、波動を受けることができようになるようになったとしても、主体はあくまで、どこまでいつても肉の自分でした。そもそも主体が肉である限り、そこに正しさはあり得ません。にもかかわらず、間違った土台の中で、「正しい瞑想」、「正しいチャネリング」、「正しい、正しい」を目標に掲げていたんです。

「愛を信じる分だけ、愛が仕事をする。」も、いつのまにか自分勝手な解釈にすり替わっていました。「愛は自分が流すのではない」と、何度も聞いて分かっていたはずなのに、いつのまにか、「自分、自分」にすり替わっていました。

学びの中で、「自分が」と思っている時点でずれている。それでも、自分ですべきことは何

か？ 提示されている学びの手順を、しっかりと踏むしかありません。まだまだ質的変換が起きる前の、肉の努力が必要なレベルです。気がつけば、「自分」を前に出して間違えています。努力し続けようと思えます。

また、「母の温もりに尽きる」ということも、改めて感じさせて頂きました。

貴重な勉強のチャンスを頂き、本当にありがとうございました。



あなたは愛です。信じて信じていくのです。私に心を向けて受けていってください。心を広げていってください。あなたは愛です。

◇メッセージ（感想なし）

◇メッセージ（感想なし）

あなたは私、田池留吉は愛だと本当に信じていますか。その信はどの程度でしょうか。しっかりと、しっかりと田池留吉に心を合わせられるようになってください。そこから流れる愛の波動を、心で感じてください。

私は愛です、あなたは愛です。この波動、思いを伝えていきましょう。あなたが愛を信じた分だけ、愛が流れます。あなたは愛を信じているか、いつもいつも自分に問いかけていきなさい。田池留吉を思い、私は愛だと確信していきましょう。

愛が待っています。沢山の意識たちが待っています。愛に目覚めていくこと、それがあなたの人生です。

◇メッセージ

信じてください。信じてください。

あなたが愛だということを信じて、進んで
いってください。

母のぬくもりを思い出して下さい。

あなたは愛なんです。それを信じていって
ください。

しっかりしっかり、自分の心を見ていって
ください。

◇感想

最終日、田池留吉を思う瞑想、肉体細胞を思
う瞑想、そして、最後に自分が握っている神に
思いを向ける瞑想。

順々にやっていって、出てきたのが、「自分
は何もやっていなかった」という思いでした。

自分ができているとは思っていなかったけれ
ど、少しは変わった、と思っていました。

けれど、自分は学びの真似ごとすらやってい
なかった、何をやっていったんだろう、という思
いが出てきて、すごく衝撃を受けたのと同時に、
嬉しい想いが上がってきました。

今度こそ、焦らず、けれど真剣にやっていき
たいと思っています。

ありがとうございました。

◇メッセージ

ありがとうございます。喜んで喜んで歩いてください。肉で幸せになれなかった……心の歴史の中で千載一遇のチャンスは今世にただいています。どうぞ信じてこの道を歩いてください。喜びの道です。共に共に歩いてください。待つて待つて待ち続けているあなたの中の意識と共に……心を田池留吉に向けて歩いてください。あなたの中で待ち続けています。あなたは愛です。喜びの意識、愛です。信じて歩いてください。

◇感想

申し込み時、抽選で当たったとお知らせ、そして当日までの間……いっぱい、いっぱい心が揺れ動きました。

行けば何とかなる……いつもの他力の思いと共にの参加でした。

当日は台風に向って行くのに、何の支障もなくスムーズに到着できたことが、まず不思議と驚きでした。

「すごい！」と。

初日は、翌日に予定されてるチャネリングの事が心を大きく占めていました。ちゃんと意識を受けられるのだろうか？ 日頃もそんなに意識を受けたことがないのに……欲で申し込んだことがバレバレだ！と。

それでも信じて行く！と決めた意思表示との思いからの申し込みでしたので、もう後戻りは出来ません。

二日目……いよいよ意識を受ける事になりました。田池留吉に心を向けて……

「ピーター」の笛の合図……。自然と自分の中からの思いをキーボードに打つことが出来ま

した。何も受けられなかったらどうしよう？
とかの思い煩うことはありませんでした。私は
自分が意識だ……という事が信じられなくて
……長い間学んでいるにもかかわらず沈滞して
いました。

そしてパッパの実践。

……自分でやった後のオーリングがほんの少
し硬くなりました。先生のパッ！の後の水の
美味しかった事!!忘れられません。

「すごい！」と。

そして前後の先生の講話……自分を粗末にし
て冷たい人……優しい暖かな人になってくださ
い……心に響きました。「ハイ！頑張ります」
と、思いました。

本当に、本当に、長い間……駄々をこね、文
句ばかりの私に、それでも「真実はこれです
よ！」と優しく語り続けてくださってる田池先

生に、心からありがとうと思えます。

そして自分を大切に……残された時間を大切
に過ごしていきます。

最初から愛の中に生かされていた……と思い
ました。田池留吉を信じて本当の自分を信じて
……優しい自分に帰ります。ふるさとへ帰ります。
今、ふっと思うと、嬉しい、嬉しい、嬉しい
です。信じて歩いて行きます。

同室の友、一緒に食事をしてお話をすること
が出来た友、仲間の皆様……UTA会の皆様、
お世話頂いた皆様……本当にありがとうございます。

◇メッセージ

あなたは、喜びの嬉しい嬉しい存在です。それをしっかり信じていって下さい。喜びだけです。すべてがそうです。あなたの心の中にすべてがあります。苦しい思い、嬉しい思い、沢山の闇の思いもあります。それらすべてが愛です。愛しか存在しないのです。それをあなたの心で証明していって下さい。

◇感想

チャネリングが苦手な私は、田池留吉の意識を受ける、このことに心が囚われて、申し込みを躊躇していました。締め切りが迫り、愛を学んでいくセミナー、参加の意志を前に押し出さないと後で後悔すると思いました。

天気図の大きな台風さんも喜んで日本へ向

かっているその姿を見て、また喜びが膨らみました。嬉しいすごいセミナーになるぞと思えました。早くに名前を呼んでもらって、パッパツの勉強をさせてもらいました。田池留吉への自分の信の弱さを確認させてもらいました。

私は愛、この題名で意識を受けさせてもらいました。すごく嬉しかったし楽しかったです。マウスを持つ手が震えました。すごかったです。すごい場で受けさせてもらったんだと今、思います。私への与えられた課題を、これから主人と二人、ともに学んでいく時間、本当にありがとうございます。

◇メッセージ

はい、素直になればいいんです。ただ、それだけです。

ああ、私はできない。なぜ呼ばれたんだろう。それは傲慢です。誰でもできる。それを信じていってください。素直に、素直になっていってください。

もっともつと心を広げていってください。あなたは愛、素直に信じていきましょう。

◇感想

自分は敏感ではないから、メッセージは受けられないという思いがあります。たとえメッセージを受けても頭でつくっているだけだしな思ってしまう、今の自分はまたそんな状態です。ただ、心で感じることを大切にしていこうと思

うようにしていましたので、今回も呼ばれたとき、一瞬たじろぎましたが、素直になってメッセージを受けて、そのとき何かを感じるかもしれないと思いやってみましたが、結果は頭がグルグル回り、正直、何も分かりませんでした。

ただ、そのあとに行った水の実験では、自分が持っているコップの水に田池先生が思いを向けた瞬間、一瞬、何かを感じました。そして、水の味を確かめて、あっ、まるやかだと、それは遅まきながら初めて思いました。

人と比較することはもうやめて、今の自分は、心で感じることを大切にしていこうと、さらに思いました。

◇メッセージ

田池留吉です。私にしっかりと心を合わせてください。あなたの心をしっかりと私に向けてください。私たちは愛です、とお伝えしてきました。あなたの中でどれくらい信が育っているでしょうか？しっかりと自己評価をお願いします。

私たちは意識の流れをお伝えしました。

あなたの中にたくさんの愛があります。広がっていく世界がしっかりとあるんです。それを信じていってください。

小さな小さな世界にとまっています。もっと心を広げてください。本当に限らない世界が広がってまいります。

宇宙、宇宙は待っています。宇宙にどんどん心を向けてあなたの思いを語っていってください。私たちは待っています。

喜び喜びで待っています。

◇感想

1. 田池留吉の意識を受ける

あの場所で自分が受けたメッセージを大切にし、実行する。

2. 自分の底の底の底にあるエネルギーを感じる

まだまだ、まだまだ。お母さんの温もりを感じ広げ自分の中にある闇のエネルギーをもっともつと出していきたい。喜びに変えていけることを知った。

3. 「私は神です」

講話の中で出てきたこの言葉を自分自身でもっと確認していきたい。

自分たちが握り続けてきた神・仏とは違う世界。

本当の自分。この言葉に、「はい、そうです」と思えるまで確認していく。



4. オーリングの実践。レベルアップ

オーリングは固くなればもうできたと思っていた。もつともつと愛を信じれば固くなっていくことを自分で実践していく。やればできると思った。お水が美味しくなってあの実験をした時、これだけでも

来た甲斐があったと嬉しくなった。

◇メッセージ

今日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。このセミナーに来られる前のあなたの思い、台風19号に対してどのように思ったでしょうか。そして今のあなたの思いを見つめなおしてください。

すべてが愛であることに気づかれたでしょうか。台風19号から流れる愛をあなたはどのよう感じたでしょうか。私は一つの出来事から、私に対する信を、どんどん強固なものにしていったきたいのです。

すべてが、あなたの周りのすべてが、愛である、そしてあなた自身が愛であるという確信を深めていただきたいのです。

愛の中にすべてが存在する、それを知り、感じる事が今世のあなたが生きる意味です。

みなとともに、ともに愛に帰りましょう、心のふるさとに帰りましょう。今日初めて神という

言葉を使いました。素直に受け止めることができたでしょうか。もっと前から感じていたかもしれませんね。神という言葉が、ストンと心に入ってきた、そのようであればいいと思っています。

この学びの基本、心を見る、そして田池留吉へ心を向け合わせる瞑想をかさねていってください。

ありがとうございます。

◇感想

皆、緊張した面持ちで集まりました。でも皆の顔が喜びに輝いているように思いました。同じ方向を向き学んでいこうという仲間、ともに愛に帰ろうと学んでいる仲間、この集まりの中に参加できて嬉しいなという思いが湧きました。人と比較する思いも競争する思いも全く消

えていることに気づきました。

パソコンにうとい私を一所懸命サポートしてくれる仲間、今まで感じることのなかった輪、学びの仲間の輪を感じ、とても頼もしく嬉しく感じました。UTAの輪に移行しても、淡々と同じ方向を向き、田池留吉の宇宙へ向けて歩む仲間達の存在を心に感じ、嬉しく思いました。

自分のすべてをつくして今世を全うする、それが喜び、喜びですと心の中から伝わってきます。

セミナーも、食事の時間も、お部屋で過ごす時間もとても楽しく、ありがとう、本当にあります。がとうという思いだけです。



台風が騒がれているさなかの榎原ロイヤルホテル
(青空が広がっている。)

◇メッセージ

私達は、次元移行に向けて学んでいます。いいですか、しっかりとメッセージを受けてください。どんなときも、田池留吉はいつもあなたにメッセージを送っております。

どうですか、今のあなたは、まだまだ、私のメッセージをしっかりと受け取っていませんが、どうぞ、これからも継続して、メッセージを受けていってください。

◇感想

超大型の台風19号が、セミナー参加日と重なって日本列島縦断する。天気予報から判断し、前日から出発することにした。それにしても凄い。榎原セミナーに集い、学ぶことの凄さを感じる。お天気のニュースで、十三日は終日雨の

ように報じていたので、移動に支障がない間にと、早めに宿を出て榎原神宮駅まで移動することにした。小雨程度で傘を差す程でもなかった。風も強くない。榎原神宮駅まで五分程度列車に揺られ、ホームに着いた時、ぱあーと晴れてきた。「こんなこともあるんだ」と不思議を感じながら、セミナーが行われるロイヤルホテルに無事到着した。セミナー期間中は台風19号の影響を感じることもなく学びに集中できました。

学びのレベルアップを自らに課して申し込んだ今回のチャネリングセミナー。

私自身、田池留吉の意識を受けているという確信はなかったけれど、ハードルを上げての申し込みでした。だから参加が決まってからセミナーが実施されるまでの間は、毎日の瞑想、反省等にも前向きになりました。

セミナー二日目、田池留吉の意識を受ける実

実践は、とても緊張しました。感じる波動に心を

向け言葉に変換していく。キーを打つ手は震えていました。ドーンと伝わってくる波動の凄さを体感し、ああ、やはり参加してよかった。まだまだの自分も確認でき、課題も分かったから、体験したことを励みにして、これからの自分の学びを進めていこう。自分が自分に伝えた課題。真面目に取り組んでいこう。今、どれだけのことを伝えていただいているのか。肉の私は、よく分かっていないけれど、瞑想を通して心に体感していることは確かだから、この道を歩いていくだけ。迷いはない。

パツ・パツの実践では、私が田池留吉と想つてのオーリングの硬さと、田池先生がフツとエネルギーを入れた時の硬さに大きな違いがありました。とてもとても硬いのです。波動の凄さも伝わってきて、心の中に喜びが広がっていく。愛のエネルギーは、本当に喜びの仕事をするということ

改めて確認しました。貴重な体験です。

「宇宙のパワーよ」と、過去からずーっと、ずーっと求めてきた私。途轍もないエネルギーを溜め込んでいる。だから学びに繋がったのだと思っているけれど、それも頭では分からない。田池留吉を思う瞑想を通し、段々とエネルギーを体感し始めている。響き始めた。だんだん強く、大きくなっている。やはり、心で体感してこそ確信できる。田池留吉を思うことの凄さが心に響く。

そして、瞑想の3の実践です。セミナーの場でないとしてこれがないようなエネルギーを今回体験しました。実践中は、何度も何度も、「底の底、奥底」と思いながら、集中してエネルギーを吐き出していきました。

「宇宙に君臨してきたけれど、今、こうして浮き上がってくることができた。温もりに包ま

れていく。嬉しい。嬉しい。ありがたい。ありがたい。「の思いを感じていました。

苦しくなかった。ああ、出会えてよかった。聞出しは喜び。喜びを伝えてくれました。私の中で意識の変換が起きている。

「苦しいぞ、くそ田池、田池がなんじゃ」
ずーっと、この思いで聞出ししてきた。聞出しは苦しみ。苦しい心の中の自分を確認し続けてきた。重くて重くて、喜びに変換していけない。そんな時期も長かった。だから今の自分の心の変化が嬉しい。田池留吉が伝え続けてくれた真実が、ようやく私の心の中に響き始めた。

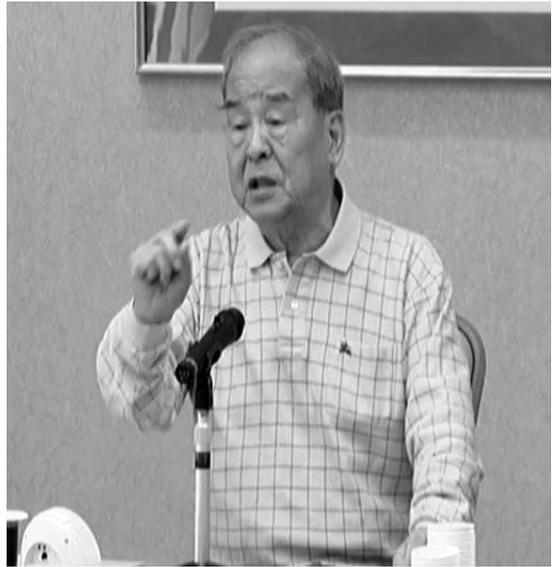
UTA会のセミナーが、十二月で終わります。

お世話をしてくださる皆様方、本当にありがとうございます。UTA会セミナーがなければ、また、このような少人数セミナーがなければ、

田池留吉が伝える真実、愛は、私には分からなかった。頭で理解している段階でした。

「愛というのは難しい。愛というのは分からないですよ」と講話がありました。

愛は波動でしか伝えることができない。波動でしか分からない。その愛の波動が分からなくなった私達に、命を懸けて伝え続けてくれる愛に、応えていきたいと思えます。



◇メッセージ

あなたは愛です。あなたが今感じた思いをすべて愛に戻して下さい。

私達は喜びの中で何も恐れる事はありません。間違つて来た自分の思いを大きな愛の財産と

して勇氣を持つて前に一歩進んで下さい。

ありがとう、ありがとうお母さん、ありがとう、ごめんなさい、すべて間違つてきました。

お母さん、私は約束した事を思い出し、ふるさとに必ず帰ります。

田池留吉、有り難うございます。

◇感想

大きな果てしない愛の計らいの中で始まったセミナー。

底の奥底にある自分の培ったエネルギーを覗き、絞り出す思いで、次から次へと出すことが出来ました。

また大きな愛の温もりの中に包まれている私達であったことを喜び、真実の道を歩む仲間である事を嬉しく思い、大きな愛の存在を感じ、また一歩信じていく勇氣を頂きました。

◇メッセージ

私はあなたの心の中にあります。どうぞ、しっかりと私の方に心を向けてください。あなたの中の田池留吉に、あなたの心をしっかりと向けてください。あなたの中から、愛の波動をお伝えします。あなたは愛ですとお伝えします。この波動、愛の波動をしっかりと心に感じられるようになってください。

間違い狂い続けてきたあなたを受け入れてくれるのは、あなたの中の愛だけです。真実を忘れ、ぬくもりを捨ててきたあなたを受け入れていけるのは、この愛の波動だけなんです。だから、私は愛を伝えています。愛を信じてくださいと伝えています。あなたは愛ですと伝えています。これが私の仕事です。あなたはあなたの愛に目覚めてください。それがあなたの人生、あなたの仕事です。それがあなたの中の約束です。

◇感想

今回のセミナーに参加することが決まってから、それこそいろんな思いが自分の中に詰まっていることが心から感じられました。

優越感も劣等感も、特別意識も選民意識も、恐怖も不安も、チャネリングセミナーという名前に反応して、いっぱい出てきました。

セミナー前日に檀原セミナーに思いを向けたとき、選民意識も特別意識も、寂しさも苦しみもみんな一緒にご参加くださいという思いを感じました。丸ごと受け入れてもらっているのを感じました。丸ごと受け入れてくれたお母さんを思いました。みんなともに帰りましょうって、たかさんの自分とともに参加すればいいんだと思いました。

だけど、着いたその日から、今まで著名人の意識を受けたり、ともに帰ろうと歌を歌ったり、思いを向けたり、自分ではいい勉強をしている

と思つてきたことすべてが、全部違つたつてことに気づきました。

私から愛を流したい。私こそが愛、私こそが神。我に心を向けよ。我に従え……。この思ひから意識を受けたり、意識に語りかけたりしてたんだと気付いて、今までいい勉強をしていると思つてきたことが一瞬で空っぽになつたよ
うな、ああもうどうしようという思いしかありませんでした。そしてそのことがまだよく分らないままセミナーの勉強が始まりました。

チャネリングが始まると、キーボードを叩くうと思つても、指が震えました。ものすごく緊張しました。ただの緊張だと思つたけど、後から過去に巫女だつた時の恐怖だつたと気付きました。

それこそ優越感と劣等感の中で、選民意識と特別意識の中で、凄まじい戦いと比較競争の中で、意識を受ける、神の声を聞くことにもすごいエネルギーを使つてたこと、その時の失敗

できない恐怖のエネルギー、そんな過去の苦しみが、いっぱい、いっぱい、私の中にあつて、そんな自分とともに参加したセミナーだつたんだと思ひました。ものすごいことだつたんだと思ひました。檀原という地に変更されたことも、私には意味があつたんだと思ひました。だから今世の私にとつても、私の中の生きる苦しい巫女たちにとつても、こんなチャンスはないと思ひました。ともに帰ろうと思ひを向けていける、こんなチャンスは本当にないと思ひました。

三日目の勉強の時間、自分の底の底の底にあるエネルギーに心を向ける瞑想で、どんなに偉い自分だつたか、自分が作り上げたどこそこの神様よりも、田池留吉よりも、誰よりも偉い、偉い、偉い自分の真つ黒な重苦しいエネルギーを感じました。全ては私のためにあるという思ひでした。この学びは私のためにある。田池留吉は私のためにある。私の星、私の宇宙。意識の流れは私の流れ。次元移行は私のために

……。私、私、私……。私が全て。全ては私のために。私以外の意識に何の価値もない。この宇宙に私だけ、私だけ、私だけ。そんな思いが私の中にドカーンとありました。これが田池留吉を無視、否定するエネルギーなのかと、ああこれだったのかと、いろいろと分かったような気がします。私の行い、言葉、発するエネルギー、全てここからなんだと思うと、全部、全部、間違いでしかなかったと思いました。肉ですることと言うことは大して何も変わらない。土台がこれだから、根本がこれだから、だから、本当に本当に、田池留吉に向かなければ、向け先が田池留吉じゃなければ、もう何をやっても間違いでしかないこと、どうにもこうにもならないこと、全ての始まりは田池留吉を思うこと、信じること、心を合わせられること、それしかない。本当にもうそれしかそれしかないって、こんなにはつきり感じられたことはありませんでした。田池留吉に、心を合わせることが、すべて

の大前提。それ以外はみんなこの「我は神なり。我に従え。」でしかないことも分かっています。た。

まだまだ頭でつかちの反省ばかりですが、これから瞑想を重ねて、心で感じられる勉強を真剣にやっけていきたいと思っています。このようなチャンスを受けて、先生方、スタッフの方々、地域の勉強会を支えてくれている方々、そして留守番してくれた家族のみんな、本当にありがとうございました。

◇メッセージ

私たちは、愛です。初めから、愛の中にあり
ました。

嬉しいです、嬉しいです。本当に本当に嬉し
くて仕方ありません。私、田池留吉と出会って
くれて本当にうれしいです。待っていました。
あなたを信じて待っていました。本当に待って
いたんですよ。私はあなたとは、肉の接点はあ
りません。それでも、私はあなたを信じて待っ
ていました。

ありがとう、ありがとう、ありがとう。私は、
あなたに感謝しています。私、田池留吉の証人
になってくださいました。共に、共にこれから
も学びを進めていってください。本当にありが
とう。

◇感想

学びに出会って、六年、セミナー参加十五回
の私です。核、塩川香世さんの目覚めがあつた
からこそ、この学びに集う事ができました。

即ち、核と連動するエネルギーが勝手にこの
学びを進めてくれたと私は思っています。肉の
私は本当に愚かです。でも、しかし、この愚か
な肉のおかげで今の私があります。核の目覚め
により、私は肉の苦しみがどうしようもないと
ころまで現象化し、学びと出会い、今世、目覚
めの時を迎える事になりました。

圧巻です。シナリオ通りとはいえ本当に意識
の流れは正確です。私は、肉では核、塩川香
世さんとの接点はありません。もちろん、田
池先生との繋がりもありませんでした。話し
た事もあります。現象の場で、二回チャネ
リングを受けただけです。内一回は、スカイ
プ瞑想会です。

しかし、私が、学びを進めて来れたのは田池留吉、アルバートの色々な試みがあったからです。その中には、塩川香世さんのホームページ、UTAブックの存在もありました。本当に本当にありがとうございます。

私は田池留吉に心を向け、合わせ、母の温もりの中で様々なメッセージを受け、自分で自分の声を聞きながら、ここまで学びを進めて来ました。学びは進化している……そう感じた方はそうなのでしょう。私達は、初めから自分一人の世界の住人です……全てが自分自身ですから。自宅で学んで、そして、セミナーでその成果を検証、確認していく。そして、喜びを発信していく。これからも、その学びの姿勢は変わりありません。

私は、この学びの本を読み、心の使い方がきかないと幸せには決してなれません……というその文に、「はい、私は真っ黒です」と、まっすぐに手を挙げ田池留吉の指し示す手順通りに

学びを進めて来ました。

お母さんのお腹の中で感じた温もりで、自分の培ってきたエネルギーを抱きしめる作業は、初めはとても困難な事と、私も皆さん同様に思いました。でも、私は紙を一枚一枚積み重ねる作業を毎時、毎分、毎秒と積んできました。

それには、今世、私に肉をくれた母の存在がありました。お母さんが居なかつたら、私は私に出会う事はありませんでした。

あーあ、あーあ、お母さん、お母さん、お母さん、あなたは波乱万丈の人生を歩んで下さいました。あーあ、あーあ、お母さん、お母さん、お母さん、ありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございます。全ては私でした。

例え、肉持つ一人の人生を立派に生き抜いたとしても、苦しみ、苦しみでした。肉持つ一人の最高の幸せで、苦しみは包めませんでした。しかし、田池留吉を思えば、○・一秒の世界で肉の苦しみ、イヤ、肉の幸せを包むことが出来

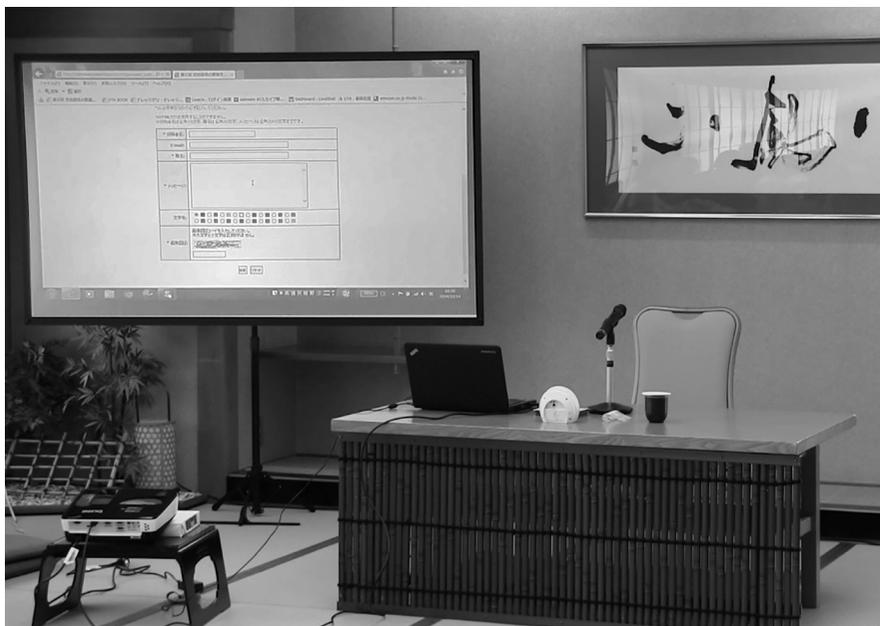
るのです。その様は凄いです。嬉しいですよ。

吹けば飛ぶ埃の世界、肉の人生を全うしたとて、それは、本当に小さな小さな世界に自分をぎゅうぎゅう詰めしているに過ぎなかった……だから、苦しかったのです。

私はあなた、あなたは私、ひとつの世界に帰れる今、やっと、やっと解放の時を迎えています。世界は私、地球は私、宇宙は私、無限大、ビツクバン、ビツクバン……と広がり続けます。嬉しいですよ、嬉しいですよ、嬉しいですよ。

私達は初めから、神でした。肉持つ一人の間だと思ふ時、限界を感じ、神の存在が必要でした。しかし、私達は無限大の存在です。だから、神なんです。私達は初めから、愛でした。幸せです。嬉しいですよ。

必ず、必ず、全ての宇宙と共に田池留吉、アルバート、母なる宇宙に帰ります。更なる次元を超えて……更なる次元を超えて……本当に、本当にありがとうございます。



◇メッセージ

心をしっかりと私のほうへ向けてください。

あなたの心は今どこへ向いていますか。

もっともっと私を思ってください。

心を大きく大きく広げていくのです。自分を

信じて心を広げていくのです。愛はあなたの心の中に溢れています。

田池留吉を信じる心が、あなたの心を押し広げていきます。

喜びです。すべてが喜びです。どんなことも喜びにつながっていくのです。

田池留吉はすべての方々の心に流れています。存在しています。嬉しいですね。嬉しいですね。この真実を、皆さんの心に伝えていくために、私は肉を持ちました。

もっともっと私を信じてください。私を信じて信じて、あなたの心を広げていくのです。

肉のことはもういいのです。ただただ私に心

を向ける、一途に思う、日々、出会ってください。共に歩いていきましょう。共に歩いていきましょう。共にあることを心より信じて、心より喜んでいけるあなたであってください。

田池留吉です。

◇感想

オーリングテストで最初のグループに名前を呼んでいただき、私の心をあぶり出していただきました。少し感じたからと、出来てきたような気になっていた甘い甘い己偉い私を確認することができました。

いつも手を差し伸べてもらってきました。手を差し伸べてもらって当たり前でした。自分からくらい付いていく、飛び込んでいく素直さ、謙虚さがありませんでした。本当の自分に帰りたいという心からの思いを、私が堰き止めていました。

必死の思いでお母さんに産んでいただいたのに、己一番をやっているのは、いつまでたつても前へ進むことはできません。私の中のたくさんの凄まじい闇達と共に、真剣に一心から心を見てまいります。共に共に愛へ帰ろうと伝えてまいります。

同室の方との瞑想で、私の中から伝わってきた思いです。

イエス・キリスト、ブツダ、高橋信次に向けた心……。素晴らしい美しい立派な自分でありたかった。周囲に、素晴らしい自分を認めさせなかった。

自分は特別だと思っておりました。間違っておりました。序列をつけた心、間違っておりました。高橋信次、間違っておりました。イエス・キリスト、間違っておりました。

田池留吉一筋、ただそれだけです。ありがとうございます。ありがとうございます。間違っておりました。

二日目。みんなで一斉に田池留吉へ思いを向け、意識を受ける勉強で、キーボードを打ち始

めると、手が震えて困りました。緊張しているからだと思っていたのですが、打ち終えて席へ戻ると、身体が小刻みに震え、歯がガタガタし始めました。驚きました。

身体を通して響いてきたエネルギー。何か心地よく、心が反応します。鼻水が流れます。やがて、お母さん、お母さん、お母さんと、心の中から湧き上がってきました。忘れられない体験となりました。ありがとうございます。

田池留吉に心が向いているか、向けようとしているか、それだけを確認することを伝えていただきました。いつも田池留吉を思い、田池留吉と共に歩いていける私でありたいと切に思います。

田池先生、本当にありがとうございました。このような学びの機会をありがとうございます。塩川香世さん、共に学んだ皆さん、お世話になった皆さん、共に学べたことが嬉しいです。ありがとうございます。

◇メッセージ

喜びです。優しさです。温もりです。あなたの心に響いてきたものを信じてください。あなたの肉は何も出来ません。あなたはただ私田池留吉に心を向けるだけでいいのです。お母さんの温もりを思い出してください。お母さんをただだと思うのです。そしてあなたの中の苦しい思いを包んでいく、共に帰ろうと呼び掛けていく、その作業を日々淡々と喜んで進めていってください。

あなたは、そのための時間をたくさん用意しています。そのことを喜んで喜んで、ただひたすら瞑想の中で感じた温もり、お母さんに伝えてもらっていた喜びを信じていってください。あなたが今そこにいることが、どれだけ幸せなことなのか、どれだけあなたが望んできたことなのか、どうぞ何度もあなたの約束を思い出していってください。

あなたのこれまでの人生を振り返りながら、そのすべてがたったひとつの方向を示していたことを感じながら、あなたの出してきた凄まじいエネルギーと共に、愛へ帰る道を歩いて行こうと呼び掛けていってください。

◇感想

すごいスピードで進化している学びの中で、こうして初めての試みの場に参加させていただき、ありがとうございます。

予断を許さない気象のはずでしたが、雨にさえも出会うことなく、まるで別世界の出来事のようにでした。パソコンには慣れていますが、前夜少し不安になり予行演習をしてみました。

ところが指はキーボードに置いたまま全く動かず、受験勉強のような予習は何の役にも立たないのだと感じました。

二日目、いよいよ本番となり「落ち着いて、落ち着いて」と、自分に言い聞かせながら「ゴーサインを待ちました。」

「はい」の合図がある数秒前から、自分自身が何とも言えない温もりと優しさには包まれている感覚となって、タイピングどころではないことに少し慌てました。とにかくその時に感じた「喜び、優しさ、温もり」から打ち始めたのですが、数行打つと、もう肉に戻って、得意の作文に切り替わり始めたのが自分でも分かりました。

その時、本当の思いはどんな言葉でも表現出来ない、表現しようと思つた途端に肉に戻ってしまうこと（特に私のように文才を誇っていた人間は）思いを文字に表わす難しさを実感し、後になって、塩川さんは本当に凄いことが出来る人なんだなあと改めて思いました。

頭を回してばかりの経験ではありましたが、その時に出た思い、あの時の優しい波動、それ

はそれは貴重な体験をさせていただきました。

三日目の、心の底の底にあるエネルギーの確認のお勉強を、共に、セミナーで体験させていただいたことをしっかりと反復、実践していきます。

田池先生、塩川さんには申し上げるまでもありませんが、UTAブックの皆さま、本当にありがとうございました。二日目午後一番でチャネリングの冊子を受け取った時、まさに頭が下がる思いでした。

◇メッセージ

いつもいつも私に心を合わせてください。それがすべてです。それがすべてなのです。それ以外は何もありません。合わせて私とあなたは一つだということを知ってってください。

私は愛、あなたも愛、共に一つ、永遠に一つ。いつも私に合わせてください。過去も、現在も、未来もすべて一つとなって私に合わせてください。そして私のもとへ帰ってきてください。私は待っています。永遠に待っています。これからも待っています。帰ってくるのを今か、今かと待っています。

宇宙に心を向けてください。宇宙は本当の故郷。宇宙が、故郷が待っています。心で待っていてくれる宇宙を知ってください。今か、今かと待っていてくれる故郷を知ってください。今か、今か。私は愛、あなたも愛、信じてこの学びを進めてください。

◇感想

二日目に頂いた資料を、自由時間がかなりあったので何度も繰り返し読むことができました。

自分が受けた内容が、もっとも自分に響いてきました。何度も繰り返し読んでみると、それはまさに田池先生からの遺言のように感じたからです。

受けていた時は、ただひたすら受ける事に集中し、内容云々に関してあまり気にかけることがなかったのだと思います。

ひたすら受けた内容を、これから実行していきます。そうすることがワンポイントの課題をこなしていく事になると気がついたからです。

◇メッセージ

あなたの思いを信じてください。
心に響いてくる思いを大切にしてください。

◇感想

普段の生活の中では、瞑想をしたときに響いてくる思いをノートに書いています。それが田池留吉のメッセージかどうかは分からないけど、自分の中に伝わってくる思いはあります。

でもそれが「一定」ではない、とも感じていました。

参加させていただいて感じたのは、「常に、田池留吉に心に向けていなかった」ということでした。

三日間を通して教えていただいた「パップ」でも感じましたが、「田池留吉を思う」ことを私は自分の勝手な基準で留めてしまっていました。向ければ、響いてくる思いが、もともとある。私は、そんなメッセージを自分自身に送ったのではないかと思います。

また一から自分と向き合っていきます。

なつていく……。

正直シヨックでした。これからどうしていけばいいのか？

「意識の世界をあとどつてはいけません」「他力のエネルギーは凄まじいです」

と、何度も目に耳にしていたのに、あとどつていました。

他力のエネルギーの凄まじさを感じました。

三日目、田池先生から「自分の中の底の底にまだ凄いのがある。そのエネルギーに心を向けてみてください。それを確認して愛に返してください。そうしないとその闇にみんな振り回されている」そう言つて頂き、まだまだ序の口ではあります、奥のほうからの闇を出させて頂きました。ごつついのが確かにいる！ でももつともつと優しくならないと出てこれられないんだ。

そして帰宅してからの瞑想の中で、寂しく固まっています、何としても気づいて欲しかった闇

のエネルギーのその心に触れたとき、本当に本当にご免なさいでした。

心からの懺悔でした。今までの反省とは質が違っていました。

それほどまでに偉く冷たい自分が居たと気づきました。

偽の田池留吉を語つても心を向けて欲しかったその思いに触れた時、いとおしくて、いとおしくて「ごめんなさい。ごめんなさい。冷たい自分でごめんなさい」と出てきました。「帰ろう、一緒に帰ろう。愛へ帰ろう。ごめんね。ごめんね。なんて冷たかつたんだろう。本当にごめんなさい。」

底の方から喜びと共に突きあがってくる闇のエネルギー。まだまだ沢山の闇のエネルギーがある。祈りの思いがある。 ああでも嬉しい本当に嬉しい。

その事に気づけた事が嬉しい。これが自分を学ぶという事だったのか……と思う。

ありがとうございます、ありがとうございます、田池留吉、本当にありがとうございます。

愛でした。愛しありませんでした。ありがとうございました。ありがとうございました。

これからです。これからはずーっと、ずーっと自分を学んで行きます。

そして、ともに愛に帰ります。お母さん、お母さん、ありがとうございます。

最後にセミナーを開催して下さいました、U TAブックさん、いつもセミナーをお手伝いして下さいっている皆様、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

◇メッセージ

母の温もりを感じてください。それがあなたです。母の温もりは愛です。あなたの闇を優しく包んでください。愛は永遠です。愛しありません。それを信じていだけです。

心一杯に愛を広げてください。あなたの愛を小さく捉えないでください。あなたがいつもアルバートを思えるように瞑想の時間を取ってください。瞑想の時間は大切です。すればするほどアルバートに向いて行きます。

愛しありません。あなたは愛です。心の中に愛があることを信じてください。田池留吉はあなたです。アルバートもしかりです。来世に繋いでください。来世アルバートに出会い、しっかりとアルバートの道を歩いてください。私は待っています。

私の波動を感じてください。あなたは私です。一つです。今まで苦しんできたあなたの間に愛を伝えてください。愛は待っています。あなたがふるさとに帰ることを待っています。

あなたは愛です。しっかりと愛に向け、メッセージを受けてください。メッセージを受けることは喜びです。宇宙は愛です。愛しかありません。喜んでください。私とともに四次元移行を果たしてください。

あなたは私です。しっかりと愛に向けてください。愛は永遠です。あなたの心がどこに向いているかそれを確認してください。愛に違いはありません。一つです。愛の波動をしっかりと受けてください。

あなたの心に愛があります。それを信じてく

ださい。それだけです。愛しかありません。あなたは愛です。愛なのです。愛であることは皆同じです。あなたは私です。アルバートはあなたです。一つです。愛は真実です。あなたを信じてください。

◇感想

肉体細胞に向けた瞑想で感じたこと

肉体に向ける瞑想で、今まで肉体細胞に向けた時と違って、嬉しい思いがますますありました。嬉しくて嬉しくて、肉体があることが嬉しくて、生んでもらったことがこんなに嬉しいのかと思いました。そして肉体の気になる箇所に向けた時、過去世で肉体にひどいことをされた苦しい過去世がいっぱい出ました。それが今世このような肉体の気になる状態に（そんなにひどい状態じゃないけれど）なったり、症状が悪くなっ

たりするのだと思いました。肉体細胞に現れる症状は心の状態、マイナスのエネルギーがそういう形になるとは、思っていました。こんな過去世で苦しい心を使ってきたのかと思うほど、マイナスのエネルギーを使っていました。今世だけのマイナスのエネルギーの問題ではないのが良く分かりました。

修行も肉体細胞を酷使してきたマイナスのエネルギーです。今世私は健康でそんなに体に出てきてないと思っていました。咳一つ、頭痛一つが心の表れということが分かりました。だから肉の次元で薬や手術で治ったように見えても（一般的な人の話です）、また現れたり、違った箇所が悪くなったりする、ということを感じました。心と体の因果関係がとても鮮明に症状に現れる、それが愛でした。だから心を見る事がとても大切でした。今世肉体が無ければ、田池留吉に出会えなかったし、心も見られなかつ

たのです。肉体を持つことが愛の中に生かされているということでした。肉体細胞は愛を流していました。しかし、なかなか心が原因だと納得できないのは、その愛のエネルギーを遮っている自分のエゴが心を見えなくしていました。心を見るといふことの大切さ、そして愛を流している肉体細胞に、ありがとう、ごめんなさい、ありがとうという思いは、大切だと思いました。肉体細胞の愛に沿って愛を流せる私になれるよう、反省をして行きます。

◇メッセージ

あなたのお母さんを思ってください。いつもいつもあなたのことを待っているお母さんをもっと思ってください。あなたの心がもっともつと広がっていくでしょう。もっともつと心を広げていきましょう。

あなたはずっとずっと愛されてきたことを知ってください。あなたはずっとずっと待ってもらっていたということを知ってください。あなたの心の中で、ずっとずっと、今もこれからも、ずっとずっとお母さんは待っています。

そのことを心で分かってください。

お母さん、ありがとうと言え、あなたになっ
てください。

◇感想

とても嬉しい二泊三日でした。このような貴重なセミナーに参加させて頂きありがとうございます。ありがとうございました。

田池留吉のメッセージを受ける時間

先生のピーっという笛の音が鳴り、思いを向け、何となく感じた思いを打ち込んでいると、家でメッセージを受ける時とは違ってそのメッセージの一つ一つが心に入ってきました。

本当にお母さんが、いつもこれからもずっと私の心の中にいて、私を待ってくれているという感じができて涙があふれました。

お母さんと、ただ叫んでいた小さい頃を思い出しました。終わった後もしばらくの間、心が穏やかで温かくて常に心が落ち着いています。何度か自分のメッセージを読み直してみると、あの時と同じように嬉しくなって、「間違ってきた、お母さん、産んでくれて、田池留吉に出会わせてくれてありがとうございます」とい

う思いが出てきました。自分のメッセージは田池留吉のメッセージかどうかは分かりませんが、心で感じた思いは大切にしていこうと思いました。

田池留吉を思ってから水道水に思いを向ける実験の時間

田池先生が反転された水と自分の反転した水を比較してもらおう機会を頂きました。先生の力をオーリングテストしてみると、指にとても力が入ったような感じがして、指と指がガチガチにくっついて離れない感じでした。家に紙コップを持ち帰ってオーリングテストをして、がちがちでした。まだまだ自分の信は弱い、もつと信が強くなるように努力が必要だということが確認できてよかったです。

闇出しの時間

何度も闇出しをさせてもらおう時間を頂き、自

分の凄いエネルギーで疲れました。しかし、ふと、「お母さんは、このエネルギーをいつも引き出してくれていた」と思いました。家に帰って、その感じたことを思い、瞑想していると、「こんな凄まじいエネルギーを持った私を受け入れてもらって、生んでいただいて心を見せてもらっていた、それだけでよかった、それだけでもう十分だった」と嬉しい思いになりました。

私は人生の目的、自分が何者かも日々確認せず、いつも自分を正当化し、お母さんの肉ばかりを見て責め裁いていました。

私は長い間、何も学んでこなかった、私は全く意識の転回が進んでおりませんでした。どこまでもどこまでも聳え立っていた愚かな自分でした。しかし、そんな自分が許され、こうしてこのような学びの勉強に集わせてもらっていました。

◇メッセージ

もつとあなたの中を信じていって下さい。あなたの中の田池留吉を信じていって下さい。あなたは偉大なのです。あなたの中は偉大なのです。外ではありません。あなたの意識、中の存在を信じていって下さい。本当の自分が確実にあなたの中に存在しています。

長い年月の中、外に心を向ける事しかしてこなかったあなたは、本当の自分を忘れ去ってしまったいました。そうではないのです、真実はすべて自分のなかに存在しているのです。あなたの中に本当の愛、田池留吉は存在しているのです。信じて、信じて、信じ続けて下さい。

◇感想

私は毎日瞑想を続けています。田池留吉の

メッセージを受け、心も敏感、そして肉は健康、日々の生活は順風満帆です。

その中で「人と比較するのは間違っている」「誰もできている人はいない」と頭では分かっても、自分はできている、人よりも進んでいるという思い、人と比較をし、自分が上に立つ思いは本当に根強いことを、今回の勉強会で確認できました。

田池先生とのパツ・パツの実験、そして最後の自分の奥にある闇の確認で「できている」という思いは、身を持って根底から覆りました。まだまだ自分の中には、こんなにも見てこなかったエネルギーが蓄積しているのだと、本当に己偉く、自分に冷たい思いを再確認。

その確認の中、受けた田池留吉のメッセージは「自分は偉大です。外ではなく、中。自分を信じていってください」。

そうだ、外をみて比べるのではなく、大切な

の中。

皆一つ。肉ではそれぞれ上下はあっても、そんなことはほんの僅かな、どうでもいいこと。中は無数の意識達が無限大の愛へ帰っていきこうとしている思い。

肉と意識、比べていたけど、本当はまったく比べ物にならない。そして落ち込んでいる暇はない。本当の自分、偉大な自分に帰る為にはこんな生半可な思いでは駄目だ。自分との誓いを思い出して前へ、前へ進んでいくしかない。

自分の今の意識の状態、そして自分の進むべき道をはつきりと確認させて頂いたセミナーでした。



◇メッセージ

田池です。

己を誇る思いを見ていってください。己を誇り、自分を表そうとすることを人類は延々とやり続け、自ら落ちていってしまいました。己を誇る思い、エネルギーを膨らまし続ける限り、人類は帰ってはこれません。真実は絶対に分かりません。

母親の温もりですと肉の田池留吉は伝えました。そうです、母の温もりだけが、真実に帰る道です。母の温もりを思い出し、母の温もりをその心の中によみがえらせていったとき、真実への道が心の中に見えてきます。

どうぞ、母の温もりを思い出していってください。誰と競争するのでもなく、自分の心ですべてが分かってきます。あなたは愛、あなたは私、私はあなた、一つということがあなたの心で分かっていきます。そして、その心の中に愛

のエネルギーが膨らんでいきます。どこまでもどこまでも膨らんでいき、苦しみ、さまよい続けた宇宙に真実の愛が伝わっていきます。

今という時を大切に過ごしてください。肉では分かりません。今という時の大切さ、凄さはあなたが頭で思っているよりも、想像を絶するほど物凄いことです。

どうぞ、一歩一歩、田池留吉が指示した道を歩いていってください。肉は愚かで良いです。しかし、肉がなければ真実は分かりません。

己を誇る、真実から遠い遠いエネルギーであるということ、そしてその思いを修正し、その思いと共に帰ってきてくれることを、私は待ち続けています。どこまでもどこまでも待ち続けています。

◇感想

なんとという物凄いセミナーに出席させていた

だけたことかと心から思います。ありがとうございます。ございました。

私自身、ここ数年でもらったワンポイントメッセージは、己が偉い、自分はできている、できてきた、己を誇るエネルギーが膨らんでいる、母親の反省を徹底的に、現状四〇点であるというものでした。

心の底の底の底にあるエネルギーを出す瞑想のとき、こんなにも凄まじい猛烈なエネルギーを作ってきたと思いました。

しかし、同時に、母親の温もりが心の底からスーッと込み上げてきました。

こんなにも物凄いエネルギーを許し、すべてを受け入れ、産んでくれたエネルギー、それが母の温もりだと思いました。

母は産んでくれただけですべてが完結していました。産んでくれるということは、凄まじい大闇を受け入れ、生かすということでした。それですべてでした。

あとは母親の温もりを忘れずに、苦しみと共に愛へ帰ってきなさいということでした。そのためにだけに与えられた肉の時間でした。

心を見つめ、母親の温もりを思い出し、必ず帰ってきなさいということでした。猛り狂う壮絶なエネルギーが自分を翻弄し、苦しみのうちまわってきました。

莫大な闇のエネルギー。しかし、この物凄いエネルギーと共に愛へ帰り、大爆発、大噴火と共に次元を超えていきます。

大闇を思えば思うほど、自分を誇り続けたエネルギーを思えば思うほど、喜びが爆発してきます。淋しさに泣き、怒り狂い続けた自分、思えば思うほど喜んでいく、共に共に帰ろう、愛へ帰ろう、怒りと共に帰ろう。

「我は神なり」は、母なる故郷へ帰りたい、大爆発と共に帰っていきける（ということ）。物凄い喜びが爆発していきます。

◇メッセージ

あなたの心をいつもどんな時も田池留吉に向け、合わせることをしていくことが大切なのです。

私は、あなたの心の中に存在している田池留吉です。

あなたが私を思うとき、私はあなたにいつもメッセージを送っています。

◇感想

パソコンの前に座った時は緊張で、田池留吉に心を向けてから始まりましたが、キーボードを押すのも手が震えていて、心に響いてきたメッセージを打たせてもらいました。その時に心に田池留吉の温もりが広がっているかなどは感じる余裕もなかったです。

終わったあとが何とも言えない心地良い思いを感じました。

パツ・パツのオーリングで、心にも肉にも響いてきた愛のエネルギーは、凄いの一言でした。「愛」の言葉を田池留吉氏が発せられるたびに、心が反応して喜んでいるし、私の肉体もそれに反応してだんだんと軽くなっていく、本当にすごいエネルギーを体感しました。

今もキーボードを打っていると、あの時の思いを思い出します。心が喜んでいる、ありがとうだけです。

自分の心の底の底の、底にあるエネルギーを体験と実感する瞑想の時間を頂きました。自分の中から吹き上がってくるすさまじいエネルギーに驚きながらも、こんなものでないもつとすごいものが自分の中にあるのも実感しました。あの場にいたから思いきり出させてもらえたんだと。

今回の、二泊三日のセミナーで、セミナー会

場だけでなくお部屋でも、いっぱい心の体験をさせてもらいました。てんこ盛りの課題、私の肉は何もできないんだと、つくづく実感しました。

そして、私の意識が必死にこの馬鹿な肉に訴えてくれている思いを、ひしひしと感じさせてもらい、知るセミナーでした。

嬉しい、嬉しいセミナーでした。

最後に、田池先生、塩川香世さん、お世話をしていただいたスタッフの皆様に、感謝です。

本当にありがとうございます。

◇メッセージ

「ありがとう」の思いを大切にしてください。あなたの中に沢山沢山詰まっています。今まで言えなかったんです。今まで田池留吉を知らなかったから、あなたは田池留吉に「ありがとう」と言えませんでした。

今世、出会えました。だから言うてください。その思いを出してください。あなたの中にたくさんたくさん詰まっている「ありがとう」の思いを田池留吉に向けて出してください。

お母さんありがとう、産んでくれてありがとうございます。その思いも同じです。一緒です。

あなたが今まで出してきた「ありがとう」はすべて偽物です。本当の「ありがとう」の思いを、これからどんどん出してってください。使ってください。

◇感想

今回はパソコンを持参して田池留吉のメッセージを一齐に受けるといふ、初めての試みに参加させていただきました。

普段肉には一人でこもってする作業です。今回はガヤガヤと周囲に人がいる中で設定を確認したりしながら行ったので、周りを気にしないようににかく集中。接続がスタンバイできなかった階でパッパッと田池留吉に、そしてパソコンに思いを向けました。

「ありがとう」という単語が心にポワツと浮かんだのでそこに思いを向けてみました。

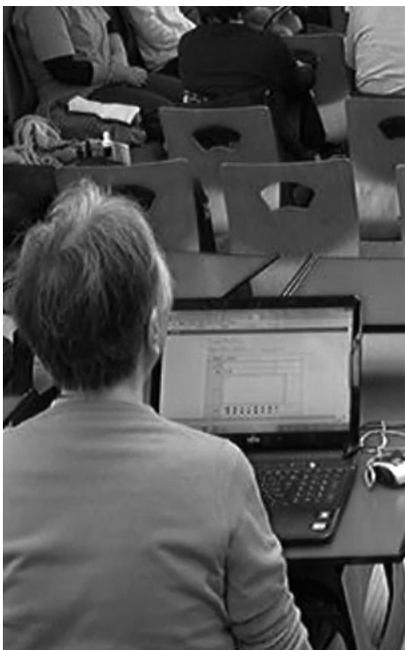
『田池留吉に出会えたから田池留吉にありがとうと言える、過去世は知らなかったから言えなかった、今世ようやく出会った、だから言える。田池留吉ありがとう。そしてお母さんの温』

もりありがとう。そのありがたいの思いをもっともつと大切にしていってください』

……田池留吉に思いを向け自分が感じたその思い、波動を出来るだけ肉の思いを挟まずに文章化しました。受けていて「ああ、そうなのか、そうなんだ」とそのメッセージに感動して、涙をボロボロこぼしながらパソコンのキーを叩いてしまいました。自分出来る精一杯のことをやったと後悔はありません。

結果、翌日の先生のお話で「全員が田池留吉のメッセージではない」とのこと。予想はしていたのでショックは受けませんでした。あらためてA君の例え話を思い出しました。回答に間違いの線を引かれても、また持つて行く。間違っていると分かってもやり続ける……。

間違っているからやらなくては、その思い、そのエネルギーを確認しながら、本当の田池留吉に出会える時まで、ともにともにの思い



で、またこれからも田池留吉と称するメッセージを受け続けてみようと思っていました。貴重な体験を、本当にありがとうございました。

◇メッセージ

この地球になぜに生まれてきたのですか？
生まれてきた思いが突き上げてきます。
思いを受け止めることができますか。
はい。受け止めました。

◇メッセージ

おかあさんのぬくもりに帰って行きましょう。田池留吉はあなたの中で、ずっとずっと語り続けています。田池留吉に思いをむけ、お母さんをお呼びください。素直にただただ思ってください。

ずっとずっと、寂しかったあなた、愛を忘れたあなた。これから、それを包む本当の人生を、あなたの足で一歩また一歩と歩んでいきましょう。

◇感想

凄まじい闇を出して、それを包む作業が出来る元気な肉体があり、嬉しいです。全ての肉体細胞が、私に愛を流してくれている。「あなたは私。あなたは愛。一つです。」と言う波動と

共に、凄まじい闇を包んでくれる。そんな肉体細胞に、私は、「言う事を聞け！私がこの肉体の主だ。」と言う冷たい思いを、ずっと気づかず流し続けて来ました。本当にお粗末です。

肉体細胞の流す優しい波動をかき消す、肉基盤の私。それでも、一生懸命に、淡々と仕事をしてくれる肉体細胞。本当にごめんなさい。ありがとう。やっと、共に共に、本来の仕事が出来る喜びがあります。その事に気づかせて頂いた今世。本当に大事な時を迎えているんですね。嬉しいです。

二日目の午前中、田池留吉に思いを向け、自分なりに受けたメッセージを、パソコンに打ち込みました。

三日目の最後、心の底の底の、鎮座する神に思いを向けた時、次々に田池留吉に反発する思い、「くそつたれ！」が飛び出しました。しかし、四〇秒、一分三〇秒、三分と瞑想をするうちに、「ずっとずっとずっと帰りたいかった。ずっと

とずっとずっと帰る場所を求めて来た」と、愛を忘れた自分の悲痛な思いを感じ出しました。まだまだ凝り固まった闇には到達はしていませんが、「闇がみんなみんな待っている」という、愛おしい思いがでてきました。

今まで、見ないように見ないように、肉を崩すまいと、押し殺した思い。心の奥底で、闇は寂しがっていたんだ。愛に包まれた、セミナーと言う空間の中で、出てくる闇は、安堵と喜びでした。「包んでくれる。やっとホッとする場所を見つけた。私はここに帰りたかった。田池留吉、帰りたい。お母さんのぬくもりに帰って行きたい」と言う思いが自分の中から噴き出て、「帰りなさい。お母さんのぬくもりはあなたの中にあります」と言う、二日目を感じたメッセージが、またどんどん心に浸透するように響いて来ました。出てきた闇に、何度も何度も繰り返して伝える作業。それが嬉しくてたまりませんでした。

「お母さん、この時を私にくれてありがとう。お母さん、お母さん、帰る場所を見つけたよ。お母さん、自分の足でしっかりと歩いていきなさい。」

まだまだ、頭を動かしてしまふけれど、自分の受けたメッセージが、本当に本物の田池留吉からのメッセージなのかどうかは、自分で実践し、自分で証明していきます。もし、違うのであれば、必ず自分に間違いを伝えてくれる。もう狂わないように、心の向け先を間違わないように、自分に真摯に、焦らず、弛まず、一歩ずつ。自分の中の、お母さんのぬくもりに帰れるように、これからの人生を歩んでいきます。

勉強会の輪が、自分自身、家族、そして地域の学びの仲間達、さらに増える学びの友を通じて広がりに、共に学ばせていただいています。ふるさとの歌詞のように、自分の中にいる沢山の友と、肉を通して一緒に学ばせて頂いている友と、共に共に、真実に繋がっていく事を楽しみ

ながら、日々自己確立に向け、正しい瞑想を心掛けて行きます。

今回、「田池留吉の意識を一斉に受ける」という試みに参加でき、本当に貴重な体験をさせて頂いたこと、嬉しく思います。
本当にありがとうございました。



橿原ロイヤルホテルから見る二上山

◇メッセージ

自分を知ってください。本当のあなたを知ってください。自分の中の愛を知ってください。自分の中のぬくもりを知ってください。ただただあなたの中をどんどん知ってください。

私は愛、あなたは愛、ひとつ。ただそれだけです。いつもいつも待ち続けてきたあなたに出会ってってください。

生まれたいから生まれてきました。愛に帰りたいから生まれてきました。ぬくもりに帰りたいから生まれてきました。あなたの声を聞いてってください。待ち続けてくれたあなたを知ってください。

◇感想

一斉に田池留吉のメッセージを受けるお勉強の時間、パソコンの前に座って田池留吉に心を合わせた時、まず伝わってきたのは、「自分を知ってください。」というメッセージでした。これは本当の自分、愛の中にひとつを心で知ってくださいというメッセージであると同時に、自分の現状、宇宙の底の底の奥底で凝り固まったあなたを知ってくださいというメッセージなのだと感じました。

セミナーに来る前より、「クソ田池、田池がなんじゃ、田池死ね、田池殺してやる」という思いがボコッ、ボコッ、ボコッと出てきて、心の中がざわつくというか、落ち着かない状態でした。

暗黒の宇宙の底の底の奥底で凝り固まっている意識たちに、何としてもお母さんのぬくもりを伝えていきたいという思いがあります。田池留吉を信じる信が強くなればなる程、愛が自然に流れていくのだということを、水の実験や、

お部屋の仲間とのオーリングテストで、改めて実感させていただきました。

セミナーの後半は、底の底の底に握ってきた神・仏に心を向ける現象が何回もありました。数十秒出しただけでもヘトヘトになるのですが、先生が「次は三分いきますよ」と言われた時、中から嘖き上がってきたのは、「ああ、嬉しい、嬉しい、三分も出していけるんだー」という思いでした。本当に私の中の意識たちは、この時を待ち続けていたのだと感じました。愛の中に自分のエネルギーを放出していくことが喜びでした。体はヘトヘトになるけれども、心は嬉しくて、嬉しくて、次から次へと「田池死ね、田池殺してやる、お前がなんじゃ」と嘖き出してきました。まず、肉体を使って出すことが大切でした。出さないままでは、愛を伝えたい、ぬくもりを伝えたいというのは、ズルイというか、順番が間違っています。

だから、こうして生まれてきました。自分の

中のエネルギーを、自分の肉体を通して存分に出していける今という時を、私は待ち続けてきました。出てきてくれた意識たちに、ともに帰ろう、狂って、苦しみ続けてきたけれども、ともにぬくもりへ帰ろうと伝えていくだけでした。

田池留吉をどれだけ信じているか、いつも自分と向き合いながら確認していきたいと思いました。

当日はパソコンを同時に何台も繋いだのに、エラーが出なかったことにびっくりしました。スタッフの皆さん、本当にありがとうございます。

◇メッセージ

お母さんはあなたを待っています。

あなたの心の中であなたを待っています。

どうぞお母さんの信に伝えてください。

心を田池留吉に向けてください。

やさしい温かいお母さんの温もりを心に広げてください。

あなたの苦しい心をやさしい思いで包んでいけるあなたとなってください。

◇感想

愛に帰ろうという思いを感じて嬉しかった

今回のセミナーも、本当に嬉しい嬉しいセミナーでした。

セミナー二日目、みんなで一斉に田池留吉に向けてメッセージを受けたとき、本当にうれし

かった。

あんなにも喜びの思いの中でメッセージを受けたのは初めてでした。

メッセージをパソコンに打ち込んだ後も瞑想をしていて本当に嬉しかった。

ただただうれしかった。

お母さんありがとう、田池先生ありがとうと思いました。

嬉しかった、ただただ私は嬉しかった、受けたメッセージが本当の田池留吉のメッセージでなくても、ともうれしかった。

それで十分でした。

チャネリングということについては、この学びに集って間もないころからいろいろ悩んだり疑問を持ちたりしてきました。

自分ではAさんの意識だと思って受けていても、本当にAさんの意識であるか、確証が持てないところに悩みがありました。

田池留吉のメッセージも同様です。

そして、ある時期から自分の受けるメッセージは本当の田池留吉のメッセージではないという事に気付き、それでもメッセージを受ける意味はどこにあるのだろうかと思っていました。

チャネリングセミナーに参加すればその疑問が解けるのではないかという期待もありました。

参加して、メッセージを受けることは本来喜びで、その点では、田池留吉に心を向けて瞑想することと同じなのだと思いました。

目を閉じて田池留吉と思っても、今の自分の段階では本当の田池留吉に向くことは難しい。

でも、少しでも向けばとてもうれしい。

だから、常に自分の状態を検証することは大切だけど、本物でないからどうしようとかあまり悩まずに瞑想しています。

メッセージを受けることもそれと同じでよいのだと思いました。

今の段階の自分が受けるメッセージは、愛に帰りたい自分が肉の自分に送っている思いなんだと感じました。

とてもうれしくなりました。

だから、メッセージの文言がUTAブックの本や田池先生の講話と照らし合わせて、内容に大きな誤りがなければ、そのメッセージを大切に、自分なりに実行していこう、それが自分に対する誠意だと思いました。

セミナー中にスタッフの方々が配ってくださったホチキス止めのメッセージ集を手にし、全体を一読し終わった時、愛に帰ろうという思いを感じて本当にうれしくなりました。

三日目の田池先生の講話にあるとおり、すべて田池留吉のメッセージではないけれど、それでも私はうれしかった。

ホチキス止めのメッセージ集が、愛に帰る流

れの中にあるように感じられました。

その中に肉を持って参加できたことが本当にうれしかった。

大きな台風が来ているときに、何の支障もなく開始から終了までセミナーに参加できたことに、愛を感じていきましようというお話が田池先生からありましたが、本当にその通りだと思います。

自分の中を振り返れば、心の底の底まで他力のエネルギーがいっぱい詰まっているのに、間違いだらけの自分なのに、一斉にメッセージを受けましようというセミナーに参加できた、本物ではないけれどメッセージを受けて、真実の方向に向いていこうという流れの中になりました。

どんなに間違っつていても、愛の中になりました。愛に帰る流れの中にみんなみんなありました。

学びに集う人たちは、ともに愛に帰る大切な

大切な仲間でした。私はそれを感じられたことが嬉しかったのです。

何度もみんなでふるさとの替え歌を歌いました。愛に帰ろうという思いの現れのように感じました。

本当にうれしかった。

優しい温かい波動も何度も感じました。

嬉しい嬉しいセミナーでした。

参加させていただけで本当に嬉しかった。

田池先生、スタッフのみなさん、一緒に参加してくださった皆さん、本当にありがとうございます。

セミナーで感じたことを大切にしていきたいと思います。



ワン・ポイントメッセージと愛の体験



お母さんの反省をなさってください

《ワンポイントメッセージ》

お母さんの反省をなさってください。母の温もりをもっと心に広げてください。あなたは変わってまいります。温もりの中にあつた自分をもっともつと蘇らせてください。

《先生のコメント》

分かったやろ。お母さんやで。肉のお母さん見てたらあかんで。見ながら瞑想する。ゼロ歳の瞑想。で、お母さんを思ってくる、あなたのお母さんは数えきれないほどいてるんです。そこに共通したものがあかん。それがお母さんの温もり。それを勉強せなあかん。頭を大きくしたらダメ。それを勉強する。分かった？

《ワンポイント・メッセージへの思い》

セミナーでワンポイントメッセージをいただ

くチャンスがあつたら、絶対に出よう、そう決めていました。番号を呼んでいただいて前に出たとき、どんなメッセージでも真正面から受け止めようと思っていました。塩川さんと先生が前に来られた時、ふわーっと自分の目の前が明るく、広くなった感じがして心を向けました。

メッセージをいただき、その日から初心に戻って瞑想日誌にもう一度母の反省を始めました。反省をノートに書き、その後で母を思う瞑想を毎日、繰り返ししています。母に対する思いを書き出し、お母さんの温もりに心を向ける。そのことを繰り返しています。

最近、瞑想が変わってきました。私がお母さんに使ってきた心、エネルギーはそれは凄まじいものです。人間として最低と言えるほど、凄まじい思いです。見れば見るほど、どんどん底なしとも言えるほどの闇が見えてきます。しかし、それを許し、ずっとずっと待ち続けてくれていた温もりがありました。瞑想をしながら、

塩川さんが書かれた故郷の歌詞が浮かび、何とも言えない思い、温もり、優しさを感じることも多くなってきました。

今日、田池留吉に向け、母を思い、瞑想をして伝わってきたメッセージは、待っています。いつまでも待っています。今までも待っています。早く帰っておいで。故郷に帰っておいで。というものでした。お母さんは私を生み、この世に送り出してくれた時に、ここに帰っておいで、帰ってくる場所はここだよと教えてくれました。私はただ、そのことを思い出してそこに帰れば良かった。

母の温もりが少しずつ感じられるようになり、心の底からさらに深いブラックのエネルギーが出てくるようになってきました。これが先生の言われた噴出ではないかと感じています。出てきてもいいよ、ともに帰ろうと思いながら、ブラックのエネルギーを噴出していると、ふっと

温もりが感じられるときがあり、一瞬のうちにそのエネルギーが変わることも少しずつですが、確認させていただいています。肉の私ができることは何もなく、ただ、田池留吉に心の針を合わせる、お母さんの温もりに心を向ける、本当にそれだけでいいんだなと感じています。

これからも楽しみながら、喜びながら母の反省と瞑想を続けていきます。貴重なメッセージをありがとうございました。

「寂しい心、認められたい心」を
見つめてください。

寂しい心と認められたい心は、子供の頃から母に出し続けてきた思いです。そして、今も日々の生活の中で私の中から飛び出てくる思いです。認められたい思いは誰にでも出し続けてきた思いです。今までの自分を振り返れば、寂しい心、認められたい心は根深く根深く心の底の底の奥底に根を張っていたことを教えてくれました。

そのような中で、ワンポイント・メッセージを頂きました。

ワンポイント・メッセージを頂いた時から、寂しい心と認められたい心は私の中の他力の根源のエネルギーなのだと思います。私の肉はいつもいつも日々の生活の中でこのエネルギーに突き動かされていたのだと思ってきました。

寂しいエネルギーと認められたいエネルギーに突き動かされての転生だった。そう思いました。

寂しい心とともに帰ろう。認められたい心とともに帰ろう。「愛、心のふるさと」の歌を歌うたびに涙が溢れて、ともに帰ろうと思えることがただただ嬉しくて、ともに帰ろうと繰り返しすたびに、私の中に愛があったんだと思ってきました、私の中の愛を信じていこうと心から思ってきました。嬉しいです。自分を信じられることが嬉しくて、今は、日々の生活の中で、寂しいと落ち込む時、認められたいと怒り狂う時、愛心のふるさとを歌います。心が素直になつていくのが分かります。こうして変つていけるんだと思ってきました。

嬉しいときに思います。ワンポイント・メッセージで頂いた寂しい心とも、認められたい心とも、ともに帰る約束をしてきたんだと思ってきました。私の中の愛を遮っていたのは、寂し

い心と認められたい心だったのだと素直に思えてきました。たくさんの間違いを繰り返して、他方のエネルギーを大きく膨らませ、その根源にあったのが、寂しい心と認められたい、心だった。ともに帰れる喜びを、心を見る実践の中で日々広げていこう。ともに帰れる喜びを日々の生活の中で広げていこう。ワンポイント・メッセージ、ありがとうございます。



瞑想の時間を
もっともっと持ってください

ワンポイント・メッセージ

あなたは瞑想の時間をもっともっと持ってください。中身の濃い瞑想の時間を持つてください。母を思う瞑想、田池留吉を思う瞑想、宇宙を思う瞑想。あなたはどんどん変わってまいります。

先生のコメント

三つの瞑想、濃い瞑想をやってください。あなたは変わってくるんです。今のままでは変わらない。これだけやね。分るでしょう。

母を思う瞑想、田池留吉を思う瞑想、宇宙を思う瞑想。中身の濃い瞑想をと伝えていただきました。そして今のままでは変わらない、やれば変わってくるこの言葉に勇気づけられ、よし、

やっていこう、自分でも驚くような前向きで力強いエネルギーがほとばしり出てくるのです。夫も学んでいるし学ぶ環境は整っています。自分がやろうと思えばどこでも出来ます。田池先生は命がけでセミナーをしてくださっています。枝葉は切り捨て、自分に厳しく真剣に素直に自分を知っていこう、学んでいこう、その硬い決意というか強い覚悟をしています。たつたひとつの真実、やつとやつと出会ったんです。田池留吉ありがとう。お母さん、私を産んでくれて本当にありがとう。ただただ田池留吉に心を向けて一生懸命やるだけです。至れり尽くせりしてもらって、田池留吉の愛の中で、愛へ帰る学びを肉を持って学べるのが本当に嬉しいと思いました。そして、今、私は素直に実践をしています。田池先生、核ありがとうございました。

“あなたは、鉄板を背負っています”

私のワンポイントメッセージはと自分に尋ねてみました。

“あなたは、鉄板を背負っています”でした。

*一番 一番 私は、一番。

*他力の世界に沈んでいるあなたです。しっかりと心を見てその苦しい心に出会ってください。

*お母さんの反省 聳える心を知ってください。

その一言から、繋がる学びのメッセージは、永遠に、底知れず存在しています。

私は、すべて田池留吉に心を合わせることから始まると感じ始めました。

どんなにすぐくてもよかった。今に繋がって本当によかったです。

どんなにすごいエネルギーで存在し続けてきたか、心と出会うたびに納得です。

必要な人は、私の前に現れてくれる。心を見るために私が用意してきたとうなずけます。

時間もたつぷり使って、学びができる環境が用意されています。進められていると感じます。

他力の中に居た私は、傍にも寄り付けないほどきつい波動で周りと戦っていました。

いいえ、責め裁き、殺し続けてきました。

主人や子供たちには、本当に申し訳なかつたです。

「素晴らしい」と「誇り」、いつも一番でした。恐ろしい世界を作って、その中で存在し続けていました。

どこまでも聳え立ち、このエネルギーは、鉄

板となって私にメッセージを伝えてくれていました。

背負い続けてきた鉄板は、私に伝えてくれました。

どうぞ心を見てください、そして苦しい心に気づいてください。

私は、いつもメッセージを送ってもらって
いました。

“ともにともに帰ろう”と歌うたびに、鉄板
を思っています。

ごめんなさい、ありがとうございます、気付いていきま
す、ありがとうございます。

歌いながら、鉄板に温もりを伝えられる私に
なっています。

鉄板は、私にとって、道しるべでした。

喜びに帰るために、私が用意した道しるべ
でした。

優しい思いを伝えてくれます。大切な私の友
でした。

必要でないものは存在しないだとはんとう
に納得です。

先生のお話の、一言、一言が、私の気づきの
中で、そうだ そうだったと、針の先の違いも
ありません。

ありがとうございます。

これからも瞑想の気づきの中で、このことを
言われていた言葉だったと蘇るでしょう。嬉し
いです。

私は、長く学ばせていただいて本当に幸せで
した。

大切に、大切に、これからの時間を使ってい
きます。

心で待っていてくれる多くの私と共に、とも
に帰っていきます。

田池留吉の世界に帰っていきます。

ありがとうございます。

“この学び UTA会”と思つたら、何とも
言えない優しい温もりが伝わってきました。

その中にすっぽり包まれました。

私は、こんな中で学ばせてもらっていたんで
すね。凄い世界に集わせてもらっていたと驚き
です。

ありがとうございました。

お母さんの温もりを、もっともっと
自分の心に広げてください

メッセージ

お母さんの反省です。あなたもお母さんの反省です。お母さんの温もりをもっと、もっと、もっと自分の心に広げてください。変わってまいります。間違いなく変わってまいります。

メッセージへの思い

お母さんありがとう。本当に本当にありがとう。喜ぶことを知らない私に、本当の喜びを教えてくださいました。



他力信仰の反省

平成二年十二月、八尾の日帰りセミナーから五年余り続けたセミナーですが、夫から反対され中斷。その後、十七年ぶりにこの学びに戻ってきました。そして二年半、先生がいつもおっしゃっていた言葉。

「みなさん、ホームページを見ていますか？」

はい、確かに見ていました。でもそれは目撃文字を追っていたにすぎなかったのです。インターネットに制限があり、録画映像は三日で三時間くらいしか見れないことに気づきませんでした。調子が悪いとして気を入れてなかったのです。その後、娘がプロバイダーを変更してくれて無制限になりました。それから九月まで全てを見て勉強しようと、朝から晩までひきつけられるようにパソコンに向かいました。

先生にお手紙書いたこと、UTAの役員さんたちに尋ねたことなど、本当にご迷惑をかけて

しまったと反省しました。ホームページを見たり、録画を見れば、全て教えて下さっていたのだとはつきり思いました。

再出発して初めての琵琶湖セミナーで、ある人から、「出なさいよ、勉強になるから」と促され、その時のワンポイントは「他力の反省」でした。

そして五月、久保ハウスオープンの日、田池先生の「質問がある人は？」に「瞑想をしても何の変化も無いのですが、先生を足蹴にしてもるわけではなく尊敬しているのですが」に塩川さんのワンポイントと共に、先生が他力の神々が邪魔をして中から出てこない、というようなことをお話下さいました。

他力の神々……。本当に人の何倍も何倍も他力をしてきた私がいきました。

今、私は六十五歳。三十年前に亡くなった母。その母が、私の誕生を待ち続けてくれたこの世で只一人の人でした。祖母との三人暮らし。祖

母は世間体を気にしながら、小さくなつて私を受け入れてくれたのです。

当時は未婚の母とは、みじめな存在。そんな中、小学校に勤めていた母は、「墮ろしてしまえ」と言う厳格な父に従うことなく、父と縁を切り、たった一人で育ててくれました。祖父はすでに亡くなつており、私が四歳の時に、それまで育ててくれた祖母が亡くなりました。

戦死した母の弟や、先祖の法事や親戚の行事全てを母一人が取り仕切り、「鶴の一声」で皆を集める力がある……と言われていました。

そんな母でしたから、私は親戚中の人から愛され、母の愛はもつと大きく、母の愛のもとでゆつたりと育ちました。只、母は私の出産後「ぜんそく」が持病となつてしまいました。そのため、あちこちのお寺参りやおまじないを始めました。どこへでもついて行つた私です。

中学生のときには、母が頼り切つていた易者さん（元高校教師）にも一緒に行きました。そ

こで愛染明王あいぜんみやうおうと虚空蔵菩薩こくうざうぼさつのご加護による密教の言葉、「オンバザラアラタンノウオンタラタラソワカ」「ノウマクサンマンダーバザラダンカン」を唱えることとしてお札を頂き、守護神として祀り始めました。

私が高校に進学したところから、道徳科学（最高道徳）の座談会に出席し始めました。そして、二人で会員に入会。この教えは、宗教でなく、どんな神仏を崇拜してもよく、先祖からの徳で縁につながり、これからは徳を積むことに精進しなさい。宿命を良い運命に変えるためにと、母はれい子の将来の為に自分が変えて行かなくてはと、熱心に学び始めました。幸福への頂上には、行く道がたくさんあるけれど、方向が違えばとんでもないところへ、確かな道を行かなくては……と教えられました。

自分の考えだけでなく、先輩のアドバイスを受けながら、母は心丈夫だったと思います。

高校三年の十月、薬学部で研究したいと望ん

でいた私を連れて、大先輩を訪問しました。

「このままではお母さんと同じ道をたどることになる。女性は結婚して家庭に入るのが幸せの道、早く結婚させなさい。進学資金は孫に出してあげなさい」の言葉でした。帰り道、私を大切に育ててくれた母に、親孝行もしたい、恋愛もしたいし青春も謳歌したい。でも早く温かい家庭を持つて孫を抱かせてあげたい。こんな境遇の私には、自分で選択できませんでした。母を早く安心させたい。でもなかなか、進学は諦められませんでした。

その後、モラロジの講演会で大感銘を受けた体験談の影響で進学は止めて、大会社に就職しました。(就職にあたり、父親が認知されていないと不利になるからと、やっとのこと十八歳で認知されました。財産は要求しませんと一筆添えて。)

社会に出て半年後、モラロジ青年の主張の弁論大会を明日に控えた出勤途中、交通事故に

遭い、一か月の入院でその後自宅療養。半年後に出社でした。生と死を考えさせられた苦痛と悩みと様々な心が交差した日々でした。

「人間とは？ 生きるとは？」

高校生の頃に考え続けた疑問は、事故により自分なりに結論を出しました。生かされている命、自分では左右できない。命がある限り人間として悔いのない生き方で、人に優しく、親に安心させて生きていくこと。喜び幸せは自然についてくるから。

物質はみんな、原子からなっている。では心も元は原子なのかな？ 机も何もかも、みんな生きてなくても心があるんだ。そんなことを考えていた青春。今、やっとなんと本当の真実に触れたように思います。あの交通事故も計画されて起こったこと。分かりもしない私が青年の主張なんて止めておけ、本当のことはこれから学んでいくんだよと……。

それから二十歳過ぎで二回お見合い。でも

しつくりきませせん。母は、「嫌なら断つてもいいのよ。れい子が納得したら返事するから……」と母の知人の紹介でしたが「せっかく話を持ってきたのに何様だと思ってるんだ」と言われ、そのまま母の顔を潰してしまいました。

恋愛しても、仲を取り持つてあげると動いて下さった人から、「どこの馬の骨なんか分からんものを嫁にできん！」と、親から反対されている」との事を聞かされ、私には夢はありませんでした。ショックでした。

母子と、新築した家と共に家族になつてくれる人をと望んでいたのです。

二十一歳で異母兄弟の兄が紹介してくれた人と縁があり、結婚したのが今の夫です。

人は見かけによらないとはこのこと。本当に優しくて男らしくて誠実な印象の人でした。私の為に今まで生きていてくれたんだと、一回のデートで確信したのです。帰宅後、近所の人がお見合いの話を持ってきてくれたと。でも私は

今、会つてきた彼にすると。では易者さんに聞いてみようか……。

「どう言われるか分からないから、この人を信じていくわ」とのことで初めて母の言葉を遮つたのです。

その半年後、結婚しました。人々から祝福されました。結婚式では親戚や他人様まで泣いて喜んでくれました。この人と四十四年、本当にいろんなことが通り過ぎました。私がつと男性を知つておけば、すぐに決めることもなかつたように思うのですが、父親も知らず、交際も余りなかつた中で、悔いが残りました。

でも今となつては、大切な教材だと教えられて、勉強することだけです。

新生活が始まり、モラロジー青年部に入つて、主人は家庭座談会の体験談前講を務めることになりました。勤務から帰宅して、月に二回ですが、七時半から間に合うように出かけます。でも、夫は出かける時になると、なぜか気が短

くなるのです。何のための勉強なのかしら……と、私も不満で、間違っていると薄々感じていました。モラロジアンどっふりの生活でした。母も、ぜんそくが治癒したかのように元気でした。結婚して男児と女児ができ、三番目にまた男児。何もかもが夢のように過ぎていききました。普通の家庭が持てたことが私には幸せでした。

子供の頃は、他力は「氏神様」と「阿弥陀様」だったようです。ところが、モラロジの教えでは、伊勢神宮にお参りして天照皇大神をお祭りすること。そのため、お社と掛け軸も購入し、お大麻を社の中に入れ、家の中心であるお床さんに鎮座。そして毎朝、毎晩、お参りを始めたのです。淡路のいざなぎ神宮、奈良の橿原神宮も一年に一回、大祭に出席しました。

お神楽を奉納して皇室のご安泰を祈願します。自分のことや家内安全は祈願しません。ところが、ドンドン他力信仰へと入っていくこと

になりました。

三番目の子、秀行は、二週間目でダウン症と分かったのです。ダウン？　すべてがダウン？　私たちは奈落の底に突き落とされた感じでした。心臓疾患もあり、生まれた時から体が弱く、病院通いが始まりました。

夫婦仲が駄目だと、子供に弊害が出るとは聞いていたので、まさしくその通りでした。秀行は私たちの為に誕生してきたのだと思いました。

命を取り留めた二歳になるまでは、心の葛藤が続き、苦しい日々でした。この子と共に、別の世界で暮らしたい、このまま、死んだ方が障害児で生まれたなんて思われなくて済むし、将来のことも考えなくて済む。でも、母は、どうするの？　他の子供はどうするの？　母に親不孝をしてしまったという思いで締め付けられました。けれど、母は、私をいたわって、特になんでもないように甲斐甲斐しく動きまわりました。そんな母にまた感謝でした。

心臓に穴があき、お乳の飲みも悪く、いつもチアノーゼで紫色。いつ死んでも不思議でない、か弱い我が子。夜中の授乳も時間がかかり、四歳、二歳と乳児の三人の育児で眠くてへトへトでした。

二月の凍りつくほど寒い冬の夜、三人を寝かせた後、干しているおむつが、瞬間、北風でピツと薄板になるのです。冷たさで手先は痛く、しびれの感覚と未来のない子供を思いながら、ベランダでひとりむせび泣いたこともありました。成長の遅い秀行は、笑顔だけはとても愛らしく、その笑顔に励まされて過ごすことができました。

二歳で死線をさまよいながらも、息を吹き返して、元気な我が子の笑顔と共に、私もまた明るく生き返ったのです。「何カ月？」と聞かれるたびに心を小さくしてきました。なるべく人前から遠ざけたかったのは本心でした。

でも今では、人になんと言われようと私の可

愛い子供です。「二歳です」と堂々と答えましよう。我が家の天使なの。私たちのもとに来たくて、舞い降りてきてくれた大切な宝です。絶対に離したくありません。三歳九カ月で歩き始め、障害児通園施設の運動会にも出ることができました。

園の先生方や運転手さんにも可愛がられ、本当に園の人気者になりました。がんばれ！ががんばれ！の声援に喜んでヨチヨチと歩いてゴールした時の笑顔が今でも忘れられません。元気になりました。でも、ここまでどんなに他力信仰に頼ってきたことでしょうか。

よく熱を出しました。ご皇室のご安泰なんてどこころではありません。この子が元気になりますように。

高野山の麓の学文路かむろ大師が良いと聞けば、すぐに行ってお参り。そして弘法大師の像を買って祀りました。お加持で水を頂くのです。病気で伏している秀行の代りに下着にお水を受け、

湧水を頂いて帰りました。熱にうなされ、医師に見放された時には、伊勢神宮の桐箱の大麻に入っている紙を小さく切って飲ませたら良いと聞き、なんでもしました。救ってください。助けて下さいと……。

朝晩、お参りから一日が始まり一日が終わります。

また、二歳過ぎの子をおんぶして、ダウン症児の会や、障害児の幼児たちの発達の為の園にも電車に乗って、よく出かけました。

まだ歩けなかった秀行ですが、三歳からは障害児の通園施設（百舌鳥学園）に私から離れて通うようになりました。心臓の手術は五歳か六歳ごろにと言われていたので、無理のないように通いました。

社会の底辺に追いやられている人たちと共にお仕事に励んでいる職員の方々は、とても良い人ばかりでした。本当に頭の下がる思いです。秀行はそんな社会も見せてくれました。

私たち家族は、秀行を中心に本当に幸せでした。上の子供たちも優しい良い子に育っていました。

今を楽しんで喜んで生きる。未来は考えない。夢は追い求めない。今の今、精一杯生きることしか、その時は考えていませんでした。

元気だった秋の運動会のあと、また冬がやってきて、秀行は体調を崩します。冬が一番苦手なのです。

翌年、三月十日、四歳一カ月。一カ月の入院生活で、肺炎をこじらせ亡くなってしまいました。

可愛い我が子の魂はどこへ行ってしまったのかと、魂を追い求めました。四十九日の間、ずっと傍にいて、仏教の本を読んだり、般若心経を覚えたりしました。急に家族は気が抜けたようになりました。

他力信仰が良くないということは、母の体験からも理解できます。母が四十五歳の頃からは、

ぜんそく発作は無縁になっていました。五十過ぎてモラロジーに入会し五十八歳で退職した母は、モラロジーの知人に誘われ、車で四国八十八か所参りに喜んで出かけました。西国三十三か所参りも満願しました。

その後、一緒に乗って行った他の六人は、お歳のせいもあつたのでしようが、二年後にはみなさん亡くなっていました。そして六十三歳ごろから、ぜんそくで苦しむことになったのです。発作が起こった時は、絶対安静で動かさせません。「このまま一時間耐えていたら治るから心配しないで……」と。でも紫色の顔からは、今にも息が止まって死にそうに感じられます。額からは冷や汗がタラタラこぼれおち、汗びっしょり。でも、こんなことを繰り返しているうちに、一時間で必ずまた元気になってくれると安心していたのです。

発作が起きることを心配して、その後、母とは遠出をした思いはありません。常に病氣と

の闘いでした。そんな母の病氣祈願に、また学問路がむちまで出かけました。そして、リュックにペットボトルに入れたお水を頂いて帰るので。お寺からの坂道を下って帰るときには、重い荷物もなんのその、苦しかった思いが、雄大な紀ノ川の流れと共に安堵の気持ちに変わっていったことは確かです。

一か月に一度、一時間半かけて車や電車で行きました。

秀行が亡くなって二年後、三男が誕生。入院中の産院へも見舞いに来れない母でした。また、育児を手伝ってあげたいと思ってくれます。体が思うようにならない分、頭と口の方は、良く動き、我が儘にもなりました。

ローンが嫌いで全て現金払い。家を新築し、車も家の税金から交際費まで助けてくれます。厳しい厳格な、強い母でした。孫たちにも遺産を残してくれました。もつと頼ってくれる老人

らしい母なら、もつと優しい言葉をかけてあげられるのに……。

幼いころは、あんなに優しくかったのに、あのころの母は、どこへ行ってしまったのかと洗濯機をまわしながら泣けてきました。大好きな母が大嫌いな母へと変貌していくのです。

この感情は母が変わったのでなく、朝晩祈り続けることが、どんなにマイナスのエネルギーなのかを示しているのに、母を遠ざけたのは私だったのに、全く全く気づきませんでした。お母さん、ごめんなさい！ ごめんなさい。

三男が三歳近くになったある日、突然の発作で、母は、救急車で運ばれ亡くなりました。

「いつもと違う、病院へ連れて行って」の言葉に車を用意して母のもとに行くのと、「れ・い・こ！」と叫んだのでしょうか。

もたれ掛かったまま、真っ赤な顔で息が絶えていました。びっくりして救急車を呼び、それこそ私が心臓麻痺を起すかと思うほどでした。

運動場で体育をしていた孫たちは、救急車が通って行くのを見た……と。祖母は孫たちに救急車の中からお別れをしたのだと思います。

突然の母の死。私は三十五歳でした。とうとう一人になってしまった。私の周りに関わってくれていた両親、愛する子供、兄弟、おじ、おば、親友たち……。三十歳過ぎまでにたくさんの方が亡くなりました。こんなに周りから消えていくなんて……。

寂しい、寂しい心をいっぱい抱えていました。その分、また寂しさを紛らわして祈りました。

薬師寺でお写経もしました。お香の香りと荘厳な空気の中で、心を鎮めることが好きでした。誰も私の寂しさなんて分からない。でもこの写経道場は、落ち着きました。何回か行きました。心に寂しさを貯めこんでいったようです。

見かけは三人の子育てママであり、家事と学習塾の仕事をこなし、社交的で人から信頼され寂しさなんて縁遠い性格でした。下の子が生ま

れてから、体調に異変を起こし、年に数回、突然に貧血状態になります。貧血ではないのですが、急に腹痛と吐き気。普通の腹痛でなくて、トイレでも、廊下でも、そのまま息が絶えてしまいかと思えるほどで、「南無大師遍照金剛」と唱え続けないと不安なのです。祈りが足らなかったのかと思い、「ごめんなさい。もう少し生かして下さい。子供たちには私がまだ必要なのです。お願いします……」と、心を小さく小さくしていました。

ある日、亡き秀行の日記「小さな天使の記録」を十年ぶりに、供養にと一〇〇部を自費出版しました。

そして縁あった人に贈ったのです。それがきっかけで、この学びの道に導かれました。やはり秀行は天の使いです。千載一遇のチャンスに出会わせてくれました。

平成三年三月十日。秀行の祥月命日にチャネリングを受けました。年末の八尾セミナー以来、

テープや本を毎晩読み続け、不思議な感覚でおりました。そこで神仏のことだけが受け入れられなかったのです。

「私が他力としてきた神仏と、ここで言われる神はどう違うのですか？」と質問。

チャネリング後、田池先生は優しく時間をかけて答えて下さいました。それでもなかなか納得しづらい私でした。

チャネリングは、私の心など誰も分かるはずがないと思っていたのですが、亡き母の言葉、死後の母の様子、それらはまさしく母でした。生前の母そのままが死後、体を丸めて小さくなつて、それでも気持ちだけは、「あれもこれもしなくては」の母の性格そのものでした。「さつ、れい子もさつさと動きなさいよ」の調子で……。私の心は「寂しい、寂しい。どうしてこう、みんな、私から去っていくの。その寂しさを抱えて、私はその地を訪れました」とチャネラーからの言葉です。驚きでした。

それからという日々、毎日、読書にテープ。母の七回忌の年でしたので、その法事を最後に仏壇を閉めました。年末には恐れながらも伊勢神宮の自宅の社、お大麻、神、仏、全て焼きました。度胸がいりました。「罰が当たるのでは……」と恐ろしくもありました。その夜、感じたことのない目眩めまいで天井がクルクル回りました。ごめんなさい。今までごめんなさい。私と一緒に勉強していきましょう……。

そして、五年位学びましたが、子供を甘やかしすぎると、夫から学ぶことを反対されて、仙台セミナーを最後に離れました。

学び始めてからは、一度も貧血のような状態にはなりません。あれ以来、本当に健康で病気がらずです。小さな心を、大きくすることを学び、喜んで心を解放することを知ったのです。旅行にも友人たちとよく出かけました。不思議に私が動く日は、雨に遭うことはないのです。なんだか、いつも思い通りになってきます。先

生がおっしゃってた「全てが思うようになってきます」が真に思えます。

そして、二年半前、ビデオの時代が消えるのでDVDにダビングしている時、初めてのチャネリングに再び出会えました。懐かしくて本当の勉強がまたしたくなりました。三男のことも心配でしたし、夫に反対されても自分の収入で動くのだから、余生は自分のしたいようにしよう……と。

十一回セミナーに出席した後、光が当たってきたのでしよう、夜中十二時前、泥酔の主人が階段から転がり落ち、救急車で運ばれました。自転車で転んだり、手が荒れたりする夫。そして、会社経営不振の三男。夫婦仲は悪く、また夫が「良くないことばかりだ。セミナーは止めておけ」と言ってくるのですが、夫の考えに付いていけずに、もう無視して自分の道を歩こうと思っています。

今、我が家に噴出と崩壊が起こってきている

のを感じます。この膿^{うみ}を出し切らないと、いつまでも痛みが続くでしょう。夫婦で出席しない人は、学びに来なくて良いと言われますが、私はついていきます。夫にも、息子にもセミナーは、良いから行こうと誘うのですが、「絶対に嫌だ」と言います。

私の愛が流れたら、自然に学んでくれるのでしようね。秀行の本が縁で、熱海セミナーの祥月命日にチャネリングを受け、他力に気づけたこと。局長だったプライド、そして八方美人で自治会長、「こんな優しい人はいないね」と思われながら、内弁慶で、家の中では権力を振りかざしている夫との四十四年の月日。

夫は自分の姿、鏡に映る自分だと言われても、納得しづらく、これからまた勉強です。守護神の易者さんが亡くなってからは、母の歩いた四柱推命の易者さんにまた他力をしていました。「良く当たるから」とかでなくて、尊敬してい

ました。これもみんな計画されて生きてきたのでしよう。今、この愛の学びにより、私たちはみんな一つの愛のエネルギー体から出てきた意識であり愛へ帰るための修行の場。いつも愛に包まれていたのに、それに気付かなかったこと。今、気づきました。

今では、死は怖くない。死ぬ時期が来たら命を終えていくのでしよう。母の死の年まで四年です。

親戚の法事に出席、お墓参り、お葬式……。ふと気付きました。南無阿弥陀仏でなくて「田池留吉」と自然に唱えて手を合わせていました。そうだわ、全てが田池留吉の愛の中……。これで行こう。

「天変地異が愛」なんて、どうしても思えなかつたけれど、無限の宇宙に漂う、この地球上の天変地異は、大きな愛のエネルギーの微動に過ぎない。すべてが愛で、気付きを与えるエネルギーもまた自然の愛。



私は愛。私は田池留吉。田池先生、教えて下さって、本当に、本当にありがとうございます。夫も息子も、少しですが変化があるように思えます。また今日から、頑張ります。
ありがとうございます。

二〇一四年十月九日

(交通事故に遭遇した日でした)

田池留吉のワンポイントメッセージ

言葉では、私は地の底の底。

心は温かくて、温もりだけ、嬉しいだけ。

これが本当の私。愛が本当の私。この温もりと喜びを信じて歩いてゆけばいいんだと思いました。

家に帰ってから、田池留吉に対しての反発、反逆がどんどん出てきます。

瞑想をして、私は愛ですの思いが出てくると嬉しいのです。今まで私は愛ですと思うと

なぜかとてもぎこちなく、不自然で無理があるなあーと思っていたので、自然に私は愛ですの思いが出てくると嬉しいのです。

ふるさとの歌詞、愛は今も心に、嬉しくなります。

田池留吉のワンポイントメッセージは波動でした。ワンポイントメッセージを大切に大事に一步一步、歩いてゆきたいと思いました。

他力に打ち込んできた心を、
解放してください

周りばかり見て目先のことだけで、うつつをぬかしていた自分の思いを、ズバリ伝えて頂いて本当にありがとうございました。

やっぱりか、認めたくないがこれが現実。

自分を捨て自分を信じることなく他力の思いで、神頼み、人頼みしてきた心を、しっかり認め受け入れていきます。

今までの長い年月、何もしてこなかった反動は大きいのです。周りの人、家族からの言動により、田池に向いていない程遠い現実。

何を後生大事に掴んでいるか、自分と向き合って心を見て、頭を回すことなく感じたことを信じていきます。

ありがとうございました。

肉体細胞に思いを向けて
生活していますか

高くなるよ。

と言ってもらいました。

ワンポイントメッセージ

私の思い

肉体細胞に思いを向けて生活していますか。
あなたの心の中の肉体細胞をしっかりと心に感
じてください。

優しい優しい波動を感じてください。肉体細
胞と共に瞑想をお願いします。

心の底から笑えない自分でした。肉が自分と
思う他力の心が、人のせいにして責め裁く心、
見下す心を使い続けてきました。いつも肉体細
胞は、間違っていることを伝え続けてくれてい
ました。

(田池先生) あんた、血圧高い？

現象が厳しいととらえてきたけれど、とても
優しい優しい促しとして、あなたは間違ってい

(私) 少し高いです。

ますよというメッセージでした。肉体細胞にあ

の思いを使っている。人を責め裁いて、見下し
ているやろ。

止めて、もっと明るく笑ってごらん。

(顔を見て) 笑ってごらん。

(私) 笑っていきます。

(田池先生) 笑っていきや。でないと、血圧

間違った宇宙を広げてきました

私は、前回のセミナーでワンポイントメッセージを貰いました。

間違った宇宙を広げてきました。他力、他力です……と。

そして、田池先生に「しっかりと心を見ていさんとあかんよ。狂うかもしれないよ、」と。

先生の厳しい眼差しが突き刺さりました。

「狂う」なんて、言われた事がなかったし……

今までは、他人事だと思ってたのです。

とても、恐ろしくなり、恐怖を覚えました。

そして、ハッと気付かされたのです。

今まで、いかにいい加減な気持ちで勉強してたのか……と、

いや、決して学んでいるとは言えない状態でした。

己偉かった。間違ってた。

その思いが湧き上がってきたのです。

帰っておいで我が家に

どんな時も待つてる……

ふるさとの歌が、喜びを感じさせてくれたの

です!!

スゴイ! スゴイ! 愛でした。

ここが君のふるさと

愛へ帰ろふるさと

嬉しい! ありがとう! が溢れました。

夫婦仲良く

今までセミナーでいただいたワンポイントメッセージを思えば、いろいろな体験がありました。ずっと昔、先生からいつも、いつも言っていた下さった言葉は「夫婦仲良く」でした。

私たちはいつも喧嘩ばかりしてきた最悪の夫婦でした。ニュージャーシーのセミナーの時、先生から「二匹の怪物があばれている」とまて言われました。本当に愚かな二人でした。

肉のことばかりにいつも心を向けていた三十四代。そして、何もかもなくして途方にくれた四十代。

この学びも、どんどんはつきりとエネルギーの確認ができるようになってきて、やっと自分の出してきたエネルギーが大きく間違ってきたことに気が付き、狂った自分と出会った私がありました。

本当に、長い長い転生を繰り返してきたのに、

何も自分を救えなかったことを、今世の肉でも体験してから、必死で方向転換していこうと思えた時、本当にありがとうと思えるワンポイントメッセージを、そのころにいただきました。それは先生からの一言でした。

「あんたお金に向いたらまた狂うで」と言っていた、苦しかった時期の一言でした。

今やつと夫婦仲良くが生活の中に根づいて楽しく過ごしています。でも、まだまだ金に向く一瞬がありますので、反転しながらの毎日を送っています。

夫も本当に優しくなって、いろいろ手伝ってくれます。以前の私達からは想像も出来ないことです。そして今、何より一番、私の心が解放してきたのは嫉妬の思いです。この苦しみにどれだけの時間を費やしてきたことか。振り返れば、本当にかわいそうな自分と過去世たちであつたのだなあと思っています。

一緒に供養どころか、同通して苦しみ続けて

きた私は、本当に馬鹿だったなあと思います。

今、心がだんだん広がっていく喜びがあります。私からこんな苦しみが消えていくなど、想像もしなかった昔でした。もう死にたいと思つた、狂つていた苦しいころの嫉妬。その心が消えているのです。それが本当に嬉しく、またワンポイントをいただき、やってきたことが嬉しくて、本当に喜び、喜びの自分があったことが嬉しくてメールさせていただきました。

共に共に学んでいける、いろいろな方々のご協力を大切に心して、これから学んでまいります。本当にありがとうございます。

他力が根をはっている

私はセミナーでいただいたメッセージ「他力が根をはっている」でした。しかし、その他力がなかなか見えなかったのですが、意識を受け

させていただいたりした時に、なんとか伝えたことの思いが強くなってきます。過去世の教祖の思いです。

だから、自分が過去から他力で祈り祭りしてきて、やっと今の肉をいただいたと心で思えます。周りの環境、家族構成、すべて他力の強い中にいます。私は、自分が一人頑張ってきたように思っていたけれど、そうじゃない。肉は消えるけれど、意識はそのままなら、この環境で学ぶシナリオをクリアしていかなければ、自分の中は救われれないと思っています。

肉に心を向ける、そして落ち込む……が、私の心癖ですが、自分の思いだけ、出る思いだけ、見て愛に帰っていかうと、間違ってきた自分に「愛に帰るんだよ」と、どんどん愛に心を向けてやってまいります。

ありがとうございました。

他力の中から自分の心を

解き放してください

二〇一四年七月のワンポイントメッセージは「他力の中から自分の心を解き放してください」ということでした。

これまで伝えてもらったメッセージは文字にして何度も読み返して、「どうしたら修正できるのだろうか」と自分なりに試行錯誤して学んできました。

それが今、私の心から出てくる思いは、あたっている、あたっていないというものです。まさかそんな思いで聞いていたなんて、心から出てきた思いに驚いています。

二〇一二年九月のワンポイントメッセージで「意識の転回を、しっかりと自分の中で^{はかど}拂らなければ叶わぬ夢なんです」と言われました。

頭を使っていくから学んでも分からない。田池留吉を思い瞑想して、自分から出てくる思いを

知っていくことがなくては学びは進めていくことは出来ないことを、今回の体験を通して知りました。

学びに集って十五年がすぎました。その間、何度も他力の修正を伝えてもらっています。私には今世しかない、今世を外せば二五〇年後はないと思ってきましたし、一度だけ田池先生に電話した時に「そうですよ」と淡々と言われたこともあります。

だから肉では頑張ってきました、やるしかないと思ってきました。その思いの底にある恐怖の思いが浮かび上がってきています。

学びにすがりついて、助かりたくて学んできました。「なんとかしろ」と叫び、「頑張っていました。」「自分を認める」と叫び、「どうにもならない」と自分を落としていました。

宇宙パワーを求めて家庭がバラバラになり、夫の心は離れてしまい離婚という結果になりましたが、その後も、また違う指導員の所へ行っ

たことを軽く考えていました。それほど根深く根強いものなのだ、簡単にはいかない自分の心をようやく認めて見つめていく覚悟が出来ました。

私は他力のエネルギーを嫌っていました。「前のせいだ」と排除しようとしてきました。冷たかったです、その思いは「帰りたい」と叫んでいました。

その思いがあるから、間違えて、学びに集えて、そして「ありがとう」って言ってくれます。

田池留吉へ心に向けていくことは、苦しんでいる自分に出会うことでした。

温もりの中にあるから、闇が出てきてくれる、その思いに心が触れたとき、私は今世の田池先生との出会いが、どれほどのものなのか、心が伝えてくれていると知りました。うれしかったです、本当に幸せだと感じました。

わずかな可能性を信じて、この道を歩みます。信じて待つてもらっている思いに、これまで背

を向けていましたが、こうしてお母さんに生んでもらって今の肉体があります。その思いを、もう裏切りません、お母さん、ありがとうございます。

田池先生、塩川香世さん、身近にいて心を見せてくれる人達、学べる環境、本当にありがとうございます。

寂しい心を見ていってください

「お母さんの反省をする中で、寂しい心を見ていってください。あなたの中には寂しい心がいっぱい詰まっています。そこからあなたの学びを始めてください。」というメッセージをもらいました。

私は、確かに周りの人たちから見れば、あんまり母親にかまってもらえなかった幼少時代を、過ごしたかもしれない。けれど思い出すにつれて、私のために母親がしてくれたことは、他の姉妹達と変わらないのです。

それに加えて私は、一番長く母の傍においてもらいました。その分、母親に出してきた思いは、半端じゃありません。厳しいし、優しくなかった自分だと思えます。

「お前は、本当に学んでたんか」と自分に言うしかないです。今でもテーブル越しに私の事をじっと見ていた年老いた母の目を、あの当時

は、「いややなあ」と感じた自分が、何で今になって優しく思えるんか自分に聞きたいぐらいです。何か失敗すると、母は、すかさずそんな私に言いました。

『ほら見てみ。なんか、お前は、ほかの事考えて、心ここにあらず、そんな事になると思うたわ』と。

寂しい私について

きつと今までに、聞き知った知識を寄せ集めれば、いかにも分かった答えが出せるはずですが。けれど、それでは、あまりにも寂しい私の心に響くもんがないんです。

以前、母親の反省をして思ったことですが、寂しい母が寂しい私を産み、今度は、寂しい私が寂しい夫を選んだと、思えてしまう。「なんでや」と、自分に聞けば、「私の中には、ずっとずっと前から、その寂しい私が、居るんぢがうか？ ほんで、その寂しい私は、何でさびし

いんか、きつと考えても分からんままやったんや」という答えです。

今世の母親と交わした約束だけでも思い出さなければ、地獄に文句なしのまっしぐらです。私は、お母ちゃんに甘える事が出来なかつた。何で甘えられないと思つたのか、そうやって一つ一つ、自分に聞いていきます。

有難う。このメッセージから、はじめていく事が出来る今が、嬉しいです。



他力信仰に使った心を見てください

今回の二十二回セミナーは絶望を抱えての参加でした。

今までの年月、母の反省、他力の反省を私なりにしてきたと思ってきましたが、甘かったです。

毎日の瞑想の中で、田池留吉に意識を向けた瞬間あまりにも凄まじいエネルギーが飛び出てくる、反転を伝えます。愛に帰ろうと伝えます。喜びを温もりを感じますが、すぐに凄まじいエネルギーにすっ飛ばされてしまいます。

何度か同じ繰り返しをしていると、お母さん、お母さんの思いが上がって、嬉しく温かさを感じますが、又、お母さん私は愛を捨ててきた、温もりを捨て去ってきたと泣き叫んでいる私もでてきます、ごめんなさい、ごめんなさい、狂い続けてきた、間違い続けてきたと泣き叫ぶ私、たくさんの私がでてきます。

こんな状態の瞑想の中で凄まじいエネルギー

ギー、大きなまっ黒い塊りを感じ、母の温もりの小ささを確認です。

今までの反省ノートを読み返し、私は反省をしている、温もりも少しは感じている、認める田池、この私を認める、一番をめざせ、誰にも負けるものか、がんばれ、がんばれの反省をしてきたのでした。

「ワンポイント・メッセージ」は、「他力信仰に使った心を見てください、まだまだ浅いです。もっともっと根深い心を見てください」のメッセージを頂きました。

先生のコメントは「この心をとく方法は、お母さんの温もりだけです」と言われていました。「はい、そうです、その通りです」と円陣の中で答えている素直な私がいきました。

今回、ワンポイント・メッセージを頂けてとても嬉しかったです、何かが吹っ切れた感じですよ。このワンポイント・メッセージを大切に母の温もりを信じ始めからやっていきます。

肉体細胞に思いを向けてください

肉体細胞に思いを向けてください。

あなたは冷たいんです。あなたの肉体細胞は叫んでいます。

どうぞ、その叫びを聞いてください。

ワンポイント・メッセージをとっても楽しみにしていました。いただいたら、今世、メッセージを大切にして、それに沿って生きていこうと思っておりました。

肉体細胞のことでした。「ありがとう、ごめんなさい」とやっていても、心がこもらないの気がなっておりました。

「何故なんだろう、どうしてやさしくなれないんだろう」と思っておりました。そうやって頭をまわしていました。ひとつという思いじゃ

なかつた。「難しい、なかなかできない」と思う心が冷たかつた。素直に思いを向けていきます。焦点を合わせて生きていきます。

肉体細胞あればこそ、本来の生き方も仕事もできます。ありがたくうれしいメッセージを大事にして、これから生きてまいります。

ありがとうございました。

今という時は待ち望んできた
チャンスでした

最近のワンポイントメッセージではないのですが、以前、HPに載っていた「あなたの意識です」というワンポイントメッセージについての思いを書かせていただきます。

メッセージ

しかし、その前に私はまだ自分のやるべきことがあります。今世私がやるべきことがあります。それは、私の中のアマテラスの心をしつかりと見ていくことです。心の中に蓄えてきたアマテラスの思い、アマテラスのエネルギー、しつかりと見つめていくことです。それをしなければ、私の未来はとても苦しい、辛い、悲しい、そんな感じがします。

今、私がしていかなければならないことは、二五〇年後に思いを馳せ、喜びの自分を感じな

がら、このアマテラスの心を見ていくことだと感じています。心を見ていきます。

このワンポイントメッセージをもらった時は、アマテラスという大きな大きなエネルギーをどうやって見ていけばいいのかわからず、目の前に聳え立つ高い高いハードルのように感じていました。これを越えていかなければ先へは進めないと思っても、どうしていけばいいのかわかりませんでした。

それからセミナーの中で、反転や大噴出・総崩壊のお勉強が始まりました。その時も「アマテラスの心をしつかりと見ていく。」というメッセージが心の中に浮かんできて、自分の肉体を通してアマテラスのエネルギーが大噴出してきました。自分では「反転」としているつもりでも、私の反転は「早くアマテラスが無くならな

いかな。このハードルを越えて、一歩前へ進みたい。」という自分勝手な反転でした。お母さ

んのぬくもりで包み込んで、ともに帰ろうではなく、「消え失せろ。お前が邪魔だ。」の冷たい冷たい反転でした。そんな中で、いまひとつ反転に手ごたえを感じていませんでした。

二〇一三年の夏に二回行われた「愛のセミナー」の後、やはり、あの時のワンポイントメッセージを思い出し、今度こそ真剣にアマテラスの思いを見ていこう、今やらなかったら一体いつやるのだという強い思いが湧いてきました。自分が掴んできたアマテラスの世界を何とかしないことには先はないのだと強く感じました。「我はずばらしい、我を認めよ、我は一番、我は特別、アマテラスのパワーを我がものに。」出してても出してても、後から後からエネルギーが噴き出してきました。

瞑想の中で、ともにお母さんを呼んでいこうと語りかけました。アマテラスが自分の中にかすかに灯ったお母さんのぬくもりを感じた時、「私はこんなに苦しみ、苦しみ、苦しみの中に自分を落

とし込めてきたのだと初めて感じました」と返してくれたことが本当に嬉しかったです。「アマテラスも自分が苦しいって分からなかったんだな。分からなくて、我は素晴らしい、我は神なりとやっていたんだな。私と一緒にだ」と思いました。その時、アマテラスがはるか遠くにあるのではなくて、自分と同じ、ひとつなのだ実感しました。

アマテラスとともにお母さんを思う瞑想は、自分の中でたくさんの気付きがありました。「お母さんのぬくもりの中で、冷たく冷たく固まってしまった心がじわーっと解けていく……そんな感じがします。私は覚えていたのですね。懐かしい……、懐かしいです。何の不安もない、ただこの心を全部ゆだねていけばよかった。このぬくもりの中で解放していけることが本当に嬉しいです。」
「今、私も自分の中で大噴出・総崩壊をしております。素晴らしいと誇ってきた世界が崩れ去っていく様を、嬉しいと感じ始めています。」「お母さん、お母さん、お母さん……。この思いだけが私

の固まってしまった心に響いてきました。もう、お母さんすら忘れ去ってしまったほど、私の中は冷たかった。それでもぬくもりを、安らぎを感じます。そちらに思いを向けていきたい。そのように心が叫んでいます。」

アマテラスの思いが心にまつすぐに届いているような感じでした。

私は、真実を自分に伝えなかった。苦しんで、苦しんで、苦しみ抜いて、地獄の底の底の奥底で固まるしかなかった私を知っています。そんな自分に本当に伝えたい思いがありました。でも、真実が分からなかった。伝えたいと思っても、伝える真実が分からなかった。本当に歯がゆくて、なんで、なんで、こんなはずではないという思いの中で、神を恨み、自分を呪い、何度も何度も死んでいきました。

冷たく冷たく固まってしまった世界、たったひとつそこへ思いを届けることができるのは、お母さんのぬくもりでした。兎にも角にもお母

さんのぬくもりが大切でした。田池先生は、初めからずっとそのことを伝えてくれていました。アマテラスの反省の中で、本当にその通りだった、それしかないのだと心で納得しました。

今世、アマテラスの心をたくさん見せてくれる肉の環境がありました。そのように自分が選んで生まれてきました。アマテラスはブラックではなく、愛へ帰るかけがえのない仲間でした。ひとつでした。愛しい、愛しい存在でした。アマテラスを目の前に簪え立つハードルのようだと感じていたのは、私の作り上げた思いでした。本当は何もなかったのに、壁は自分が作っていました。

宇宙の底の底の、ぬくもりの届かないたさんの意識たちと、肉体があっても無くても、とにもお母さんを思っしていきたいです。それが私の仕事なのだと思いました。

ワンポイントメッセージ、本当にズバツとポイントを突いた、大切なメッセージでした。ありがとうございました。

私は神様が大好き

第十六回セミナー、初日、最終時間の現象の場で初のチャネリングを受けました。

セミナー九回目の参加の時でした。現象の場に入ったのは、二回目でした。ただただ優しい柔らかな温もりの波動の中に居ました。異語が勝手に飛び出ていました。私は心を田池留吉に向けなさいと言われずとも、既にいつも共にある日常を送っている、意識の転回が始まっている事を感じました。

「私は神様が大好き、神を祀ってきました、神を祀ってきました。神様が大好き、私は、神様が大好き、神と共にありました。神と共にあつたんです。この私を見て下さい。私は素晴らしいでしょ。神と共にありました。だけど、私は狂い続けてきました。狂い続けてきました。あーもう苦しみの中にあります。私は私を語り

たくない。

「だけど、私は神と共にありました。苦しい苦しい神と共にありました。」

私は、チャネリングの最中は、ただただ優しい柔らかな波動を感じていました。その時、私が耳にしたのは、「苦しい、苦しい神と共にありました」という最後の一節だけでした。

「あります」なのか、「ありました」なのかに注目していました。そして、席に戻り、姉に他に何か云われていないのかと尋ねました。

「それだけだったよ」と……これからの課題は言われなかったのか、それは、どういう事なのかと……頭をクルクルと回しました。そして、「苦しい、苦しい神と共にありました」という事だったので、私は巫女と自覚して、反転、抱(不明)つこと実践していきました。

数日後、セミナーが録画配信された時、びっくりしました。こんなに沢山のメッセージを受

けていたのに、あつという間に感じていたのですから……この配信がなかったら、私にはこのメッセージは届かなかったのです。もちろん、意識は喜び、喜びで受けていました。

だって、私は優しい柔らかな波動の中にあつたんです。そして、何度も何度も聴き直し、ノートに書き留めました。そして、やはり巫女の自分に謝り続けました。

「私は素晴らしいでしょう」の下りは、現象中に、私は、意識と語れると思いを出し、鳴咽おえつが二回出たシーンであると、己を表した自分に真実を伝えました。「あー、もう苦しみの中にあります」という自分に、学び始めて四年半経とうとしているのに気付かず、「ごめんね」と謝り続けました、許しを請いました、真実を伝え続けました。

セミナーから、二か月程して、現象の場で飛び出た異語が自宅の瞑想中に飛び出て来ました。宇宙でした。

田池留吉に向かって既に飛び出ていたのでした。びっくりしました。そして、いつの日にか、私は、あの波動に常にありたいと思いました。



もう一度、一からお母さんの反省をしてください

「もう一度、一からお母さんの反省をしてください。あなたは変わってまいります。お母さんの温もりを心に広げていってください」とワンポイントメッセージをもらいました。

本当に嬉しかった。

お母さんの温もりに帰るために生まれてきたことが心に伝わってきて、本当にうれしかった。温かい、優しい、力強いメッセージが心に響きました。

同時に自分の間違いをはっきりと知りました。己偉い思いで生きてきて、母親を何度も殺し、田池留吉を殺し続けてきた自分が、許されて今世産んでいただいて、この学びにつながる事ができました。

この学びに出会い、お母さんの反省をノート

に書くことから始めましたが、二十年以上学びに集っても、自分を変えていくことは本当に困難でした。

己が偉いことに気づかなかつたから、そして、気付いても己偉い自分を崩していくことができなかつたからです。

でも、ワンポイントメッセージで「お母さんの反省をしてください」と言われ、自分が生まれてきて一番やらなければならぬことをまっすぐに伝えてもらって、とてもうれしかったし、勇気づけられました。

お母さんの反省を積んでいけば、自分を変えていくことができる、そう思うと勇気がわいてきました。

お母さんを思っています。

お母さんに使った心を繰り返し見ていきます。

そしてまたお母さんを思っています。

産んでもらったことを本当に心から感謝できる自分にならなうていきます。

お母さんを思えることがうれしうです。

産んでくれて、育ててくれて、最期までともにいてくれた母でした。

お母さん、ありがとう。

お母さん、ありがとう。

お母さんに産んでいただいて、心を見る機会をいただき、何よりもこの学びにつながるこゝができました。

田池先生に出会って、本当のこゝを知りました。

ただただ、「お母さん、ありがとう」しかありません。

必ず自分を変えていきます。



パワーを求めてきた思いを…

最近、私がいただいた、ワンポイントメッセージは、「パワーを求めてきた思いを、もつともつと見ていってください」というものでした。

十五年程前に初めていただいた、メッセージと同じでした。

何も変わっていない。愕然としました。未だにパワーを求める思いで、学びに集っているのかと。

正直、もつと、いいメッセージを期待してました。私はこれだけ感じている。喜びを、この学びに集えた喜びも、これだけ感じている。厚かましくも、真っ直ぐに学んでいるとさえ、思っていたのです……。

そうなんです。認めて欲しかった。あなたは進んでいると、できていると、認めて欲しかったんです。

先生に、塩川さんに、皆に、認められて、素晴らしい自分を表したかったです。

少しでも、喜びを、温もりを感じたならば、直ぐに私は感じた。私は出来た。悟ったと思ってきました。

素晴らしい自分になるために、この学びにも、パワーを求めてきました。

ああ、本当に、心の中は苦しいです。この苦しみをなんとかなくしたい。この学びのパワー、お母さんの温もりも、パワーを求める思いで、求めてきました。だから、本当の温もりは分かりませんでした。

まだまだ、まだまだ、いただいたワンポイントメッセージの通り、自分を見れてはいませんが、本当に、今になって、このメッセージが、私にとって一番の、メッセージなんだと、ありがたく、本当にありがたく思っています。

全ては欲の思いで学んでいる。学んできた。愛の噴霧器も、愛の円盤も、全ては他力の延長

だったんです。

動機の修正は、本当に必要不可欠なんだと思います。他力の中では、何も分からない。変わらない。それすらも分からない。

何の為に学んでいるのか。自分は学びに集って、何をしたかったのか。

動機の修正を命懸けで進めない限り、一歩も前に進めない。その通りなんだと思います。

動機を間違えて、この学びに集ってきたけれど、それでも何とか、この学びに繋がることできました。

田池留吉、お母さん、ありがとうございます。

まだまだ、まだまだ道遠ですが、他力で雁字搦めの自分を、お母さんの温もりの中へ、帰っておいでと、解き放していきたい。

いただいたメッセージを、いつも肝に銘じ、本当の学びの目的を遂行できる自分になつていきたい。なつていかなければならないと、強く

思います。

本当に、私にとって、最高に優しい、ありがたい、ワンポイントメッセージでした。本当にありがとうございます。

このワンポイントメッセージなくして、自分はないんだと思います。

そして、こうして、ワンポイントメッセージを、振り返る機会をいただきましたこと、本当にありがとうございます。

優しい自分に蘇っていく

ワンポイント・メッセージをいただいたのは七月二十八日UTA榎原勉強会の二日目でした。受けている意識達を、もっと、もっと優しく包んでいく、優しい自分に蘇っていく……つまり、もっと、もっとやさしい自分を、愛をよみがえらせていくという事でした。

このワンポイントはすんなりと受け入れることができませんでした。それまでの数週間、受けながらどこかが、なにかが欠けていると気がついたからです。ただそれが何かということが不明でした。優しさが欠けていた……冷たい自分が受けていくのが申し訳ないという思いもありました。

にも拘らず必死でやってきたのは、受ける事が自分の死後の供養に繋がると教えていただいたからでした。

さて言われて納得はしたものの、言うは易く

行方は難しに思われました。

どうすれば優しくなれるのか、愛に蘇るのか、掴みどころがないように思われました。

このワンポイントは、人生の課題そのものではないのか？ ワンポイントとはもっと的を絞った課題のはずでは……などと思い、漠然としていました。

真剣に考えました。田池留吉を思う瞑想をしていない……お母さんの瞑想をしていない……基本に戻ろう……

八月十日、ライブラリー3を数十回見ました。意識を受けるのを停止、基本をしていく事になりました。

田池留吉をもっともつとと思う、向ける……瞑想……心を見る……沢山の課題がある……自分に温もりがあるという事を信じていなかった……気がつかなかった……この状態が今日まで続いた……今日、榎原セミナー三日目、最後の闇に向ける瞑想があった。有史以前の闇が出て来るかも

知れないと先生に言われた……終わって家に帰り、食事に妻と出かけた……その間、ずっと終了したセミナーの真つ赤に燃える闇が突き上げてきて苦しい……何度も田池留吉を思いながら「共に帰ろうといってもだめだった……お母さんを思いながら共に帰ろう」と言ってもだめだった……どうしたらいいか思案にくれる……こんなに苦しい思いをぶつけてくる意識達……皆愛しい自分の過去世……愛しい……皆愛しい……という思いが、エネルギーが流れて始めた……愛しい……皆愛しい意識達……これだ！この愛しいと思うだけでよかったのだ……

自分の中に存在しているこの思いを伝えていけばいいのだ……その瞬間、あんなに苦しかった思いがすつと消えた……

やさしい自分に蘇るといふ自分のワンポイントの課題のこなしていける可能性を感じた日でした。ワンポイントをこなす過程においてライブラリーの存在価値が非常に大きいです。必要

と思われる個所をいくらでも繰り返し見る事ができる……波動を感じる……これは本当に素晴らしい事だと思います。

ここ数か月間、学びを維持できたのは、ひとえにライブラリーが活用できたからであり、まさに命綱です。

記憶の中で覚えていたのは、
メッセージの半分だけ

ワンポイントメッセージ……

これを機会に、また改めて、メッセージをいただいたビデオを見直してみました。何と、記憶の中で覚えていたのは、メッセージの半分だけであった事が、判明し、改めて、びっくりしました。始めの部分をすっかり忘れていました。『田池留吉を思う瞑想を続けているが、他力のエネルギーの渦巻く中でその反転の難しさを感じている』という所でした。全くその通りでした。今、母と一緒に住んでいて、小さい頃、お寺でよく遊んでいたと言われました。そんな事、知りませんでした。小さい頃、三歳くらいの事でしょうか……自分は、仏教とは縁がないと思っていました。毎日お寺で遊んでいたらしいのです。これが先生の言われている事だったのかと、啞然としました。

そして、最後の部分、『私の感じている世界は小さい、その小さい世界を大きいとしているが、もつともつと無限大に広がっていく世界に心を広げていって下さい』という所、小さいとだけ覚えていて、無限大に広がっていかださい、という事を忘れていました。ああ、この機会、ありがとうございます。本当に思い込みが強いわたしであったと、改めて自分の小さな世界、それを大きいとして生きている自分を見せつけられたようでした。

そして、この前のチェネリングセミナーのとき、四〇点の話にあつた様に、まだまだ上がある、もつともつと信じる信を深めていく、自身の進化が待たれている、それは、皆同じという事を知らされました。先生のぱっぱの世界と、私達のぱっぱの世界の程度の差です。本当に、まだまだです。しかし、これを続けていく以外にありません。私は、この最後の一年に賭けるつもりで、日本に帰って来ました。飛行機

の事を心配しなくてもセミナーに行ける様にするためです。しかし、まだまだ内面の充実が待たれていると感じます。今慣れない日本の生活に戸惑いながらも、いつでもセミナーに行ける環境にある事が、本当に嬉しい事です。頑張ります。時差もない、同時進行出来る事が嬉しい事です。

このチャンス、原稿を書く事で、改めて、自分に与えられたメッセージを見直せた事に、とてもとても感謝です。ありがとうございました。

《私の思い》

私は、田池留吉を思う瞑想をしています、他力の神々のエネルギーがまだまだ凄い凄いパワーで私に迫って来ます。

このエネルギーを田池留吉の中に帰していく難しさを私は、心に感じ始めて来ました。

《あなたの他力の思い、

それに心をしっかり向けて下さい》

現象……

《私（田池留吉）からのメッセージ》

三枝京子さん、あなたの田池留吉の世界はまだまだ小さなものです。その小さなものをあなたは大きく大きく思っておられます。田池留吉の世界はそんな小さなものではありません。

田池留吉を思う瞑想を続けて下さい。どんどんあなたの中で広がって行って下さい。どんどんどんどん無限大に広がる世界を感じてみて下さい。

ありがとうございました。

心の中の黒い塊に…

四年前の二〇一〇年九月十七日（金）付けで田池先生から直接、文書でワンポイントメッセージをいただきました。

- ・頭で理解して、頭で勉強しようとしている。
- ・自分の中に、過去から培ってきた殺人者のような狂った思いが出るのを抑えている。
- ・心は未だ固い状態であるが、心の中の黒い塊に振り回されないような状態に一日も早く持つて行くんだと心で思っている。
- ・じっくりと心の中の声を聞いて、温かい思いを掛けて下さい。時間が掛かっても良いので、焦らずたゆまず心をさらけ出して、頭ではなく自分で自分のエネルギーを感じ、知っていつて下さい。お母さんに使ってきたすさまじい心を思い出し、ゆったりとした時間を持つて瞑想して下さい。
- ・知識は充分にあるでしょう。あとは心の中の

自分の狂った意識を思い、聞いていける優しいあなたを知っていくことです。優しい優しいぬくもりのあなたを、あなたの中の沢山のあなたが待っています。

これが私の心なのか、あまりにも惨めな心だ、認めたくないと思いました。無視したいと思いました。そのためかこの四年間が無駄ではないにしても、折角のワンポイントを無視とまでいなくても「軽視してきたな」と今は思います。「この資料をもつと真剣にやっつけていけば、今とは違う結果が得られたかもしれない、なんともつたいないことをしてきたのだろう」と、自分自身に残念な気持ちが一杯になりました。

最近、仕事に取られる時間が少なくなり、ようやくこの学びに掛ける時間が増えてきて、徐々に心を見る時間が増えてきたような気がします。狂ったような、喉から飛び出るような思いがあることは子供の頃から気付いていました。その

たびに罪悪感を覚え、出ないように出さないようにしてきましたが、時々出てしまいました。あることを隠さず、認めやさしい思いを掛けていこうと思います。なかなか思うようには出来ないのが現状ですが、やるしかないのです。これが今世の残された大きな仕事であると認識しています。出ようとする思いを見ることで気が付くことがあると思うようになりました。

お母さんに使った凄まじい心の一端——
もつと裕福で、何でも思うように出来る生活を送らせてくれと心で思っていました。そのためには何でもして欲しい、親なんだからと傲慢で横柄な思いをもって母を責めていました。その心を見ていきます。形でしか見ていなかった心を見ていきます。簡単には納得しない、不平不満の多い、ひねくれた、素直さのない思いを見っていきます。その心は暗くて、冷たくて、苦しかった。何故そのようなモノを掴んできたのか不思議であるが、手を切ることが出来なかった。

素直にハイと言えない、言つてはいけない、心の中にある、この淀んだ思いに嘘をついてしまうことになる。闇に対しては素直にやってきました。目標があまりにも低すぎたのか、ゴールは無限大に遠かった。目標の無限大に帰るには謙虚になるしか進めなかった。ようやく今世、目標となる意識と遭遇することが出来ました。ただただ素直に勉強を進めるだけです。ひよつとしたらと思ったときもありましたが、近道できるマジックはないようです。素直に一歩ずつやっていくだけです。示されているように素直に進んでいくことしか出来ない。それが一番の近道だと思えます。頭ではなく心で分かっている道を進んでいきたいと思えます。ただただ自分の心を見て、その奥の奥にある意識を見直していくだけでした。その結果は全て自分の意識に返ってくるだけでした。

無駄をなくして一直線に進んでいって何とか間に合うでしょうか？ やるだけです。

愛
體驗文集

愛の水素水、愛の円盤での体験

1. 姑の足での体験

透析を受けながら、それに伴い、いろいろ不調が出る姑。透析以外の病院通いも増えてきました。今回も足首が痛くて歩けないと言っているので、見るとくるぶしがパンパンにはれている。骨折したのかしらと思っただ瞬間に出た思いは……「また、病院か。骨折なら、介護はもつと大変になるのか。何をしたんだ。」心はイライラしていた。

この日は透析の日、安静にして明日は整形外科か……私の予定なんか無い。

いつも、この人に振り回されてきた。私は姑に付き添えば、皆は嫁としてほめてはくれるが、心は本当に冷たいです。

とりあえず、足首を固定だ。包帯、シップを

出しながら、ふと、水素水を思った。あつ、愛のタオルもある、愛の円盤もある。だんだん、わくわくしていた。

お義母さんにしてあげよ、それがいい。

「お義母さん、あした病院いくまで、これで足に巻いとこう」と、半ば強引でしたが、患部に水素水をスプレーして、愛のタオルをクロスして足首にまいて、それから包帯で固定しました。巳年の姑に、愛の円盤。

さすがにこれは、目をまんまるとして見えた。「これは、草書体の愛という字。いま、愛を思うお勉強してるのよ。お義母さんにもあげるわ。痛めた足首を思っつて、『ごめんね、ありがとう』って思っつてみて。」

姑は、「そんな、あほな」、そんな、会話が楽しかったです。

翌日、朝から動き回る姑にイライラがでた。姑は「ほぼ、治ってるわ」というが、「骨折ならどうするつもり、また助けるといいうくせに

……また、のど元過ぎれば、忘れたように無茶して」と、怒りしかない。

整形外科で、診察の結果、案じた骨折はなく、偽痛風による、関節炎ですね」驚きました。痛風に偽？注射一本して帰りました。「あんたは、たいそうにしすぎ」という姑。

私は全身の力が抜けていく。まちがっていたのは私か……

愛の水素水を信じていなかった。愛を信じていない、忘れ去っていた。喜べばよかったんだ。姑の足を見て、怒りしかなかった。言いたいことはあるけれど、まず、私に喜びはなかったこと。このことに気づかせていただきました。

2. ゆで卵に水素水をかけたら……

夕食の準備に、ゆで卵の殻をむいていたときのことです。殻を割りながら、「これは難関だ。

剥けない卵にあたってしまった。もう……料理が台無しだ」白身もくつついて、ぼろぼろになっていく。卵にまで怒りが噴出か……そんなときに犬まで、ごほんの時間で吠え出すと、犬にも「うるさい、だまれ」という思い。些細な日常で、私はこんな思いを流していることに、ハツとしました。

三個目の卵を見たとき、私これではダメだな……ごめん。何気なくそう思いました。

そしたら、以外に剥けやすいと気づきました。こんなこと、あるのか？

偶然か？

四個目の卵は、愛の円盤にのせて、タイケトメキチにむけて、水素水をかけて剥きました。

おどろきです。なんの抵抗もなく、するすると気持ちよく剥けていくのです。

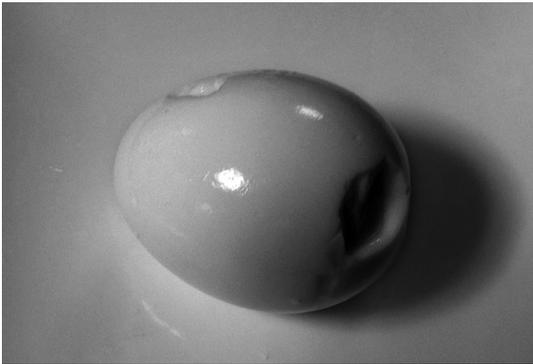
たまたまこんな卵だったのか？ いやいや……そんなこと。

こんなにも、結果が出るものなのか。

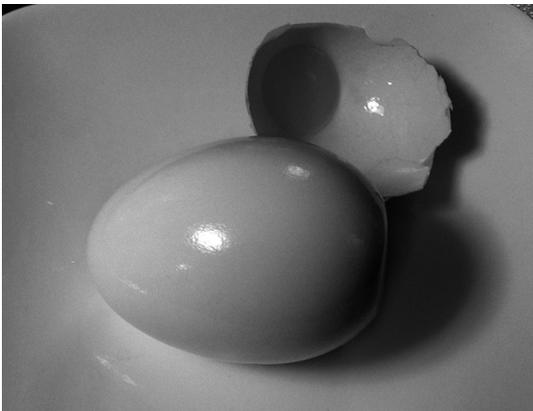
愛を思う、タイケトメキチを思うということ
はすごいと思いました。
この体験を自分にむけていこう、素直になる
とはどういうことか、自分で確認していきます。



イライラして剥いたゆで卵



自分に思いをむけて剥いたゆで卵



愛の水素水をかけて剥いたゆで卵

四十年ぶりの世界

私は先日、コンタクトレンズを落としてしまったため、新たに遠近両用のコンタクトレンズを買おうと思っていました。この話しを元治療家の学びの友に話したら、「コンタクトレンズをこれからも使いますか?」と言われ、

「もう使わず、裸眼で生活して行くと選択するというのは、どうですか?」と言われました。

その際は、「エッ?」と思ったのです。

視力が物凄く悪くて、眼鏡か、コンタクトレンズを装着しなければ、遠くのものが見えないし、生活に困ると思っていたのです。

「使うか、使わないかの選択ですよ。あなたが決めるのですよ」と気付かせてもらい、私は「裸眼で生活します。眼鏡もコンタクトレンズも使わない生活をします」と決心したのです。

「私は、今まで目で物を見ようとして来た……でも、これからは思いで観ようと決めたのです。」

そして、眼鏡もコンタクトレンズもいらない。目さんありがとう。眼鏡さん、コンタクトレンズさん、ありがとう」こう呟きました……

そして、内なるタイケトメキチにこころを向けて合わせて、重ねました。

目が観え難くなつて来た時に思いを向けてみました……

すると……感じた事は、「勉強ができないと、テストの点数が悪いと母が怒るのです。怒られたくないから、自ら勉強するようになりました。」

母に対して、どうして?という、反抗の気持ちもありました。寂しかったし、悲しかったのです。その時の思いに、思いを向けて、ぬくもりで包み込みました。

そして「今から、裸眼でやって行きます……
今迄、眼鏡さん、コンタクトレンズさん、あり
がとうございました」と言い、目に思いを向け
たのです。

不思議です。

手元は、眼鏡がなくなとも見えませんでした。

テレビのテロップも見えました。

全ては、選択出来るのです。

思いがすべてなのです。

「私は見えるのです」

人生観が変わってきました。

「選択すること」そして、「思いを向ける事」
の意味を実感しました。

眼鏡さん、コンタクトレンズさんには、「あ
りがとうございました……」

今迄ありがとうございました」とお別れしま

した。

今は、裸眼での生活を送っています。

考えてみれば、これまでは、目に異物を装着
とうか、入れていたのです。肉体細胞さん、
ごめんなさい。

目さん、大事に、大事にします。

今までありがとう。

この体験を通して思っています。

生きると言う事は、生きて行く、この肉を通
して……

意識、思いが、どれだけのパワーがあるのか、
エネルギーがあるのか？に気づくことが大事な
のではないか！

今、その思いを内に向ける事で、本当の真
実の喜び、幸せを感じ、その思いの向け方を
どうするかによって、より思いの大切さ、意味
を知ることが出来たと思います。

裸眼で物が観え、生活出来る事は、思いを向けた証です……

思いは、結果をもたらします！

眞実は、思いを内に向けるという事だったのです……

全て、産まれたての赤ちゃんの様に、無垢な状態に戻って行けるのです。

歳を重ねる事は、老いる事ではありません。

今まで出して来た思いに、思いが向けば、産まれたての無垢な状態に戻って行くのです。

付け加えて来た物を、外して行くのです。

学問、眼鏡、コンタクトレンズ、お金、神、権力、権威、地位名声……。

その為に、肉を重ねるのです。

歳を重ねるとは、背負った物を、掴んだ物を、離して行くのです……

その先にある思い、意識に近づく為に……。

そう思いました。

お母さん、一緒に帰ろう

やっとこの一言が言えました。

今朝のことです。

起きてみると、のどが腫れていました。これに気付いた学びの友から「一年前に、思いを向けて下さい!!」そして、右肩に意識を向けて、そして喉に思いを向けて 腫れに思いを向け続けて下さい!!

そして感じた思いに、こころを向け出てきた感情を包み込んで下さい!!

そして、ありがとうごめんさい

ありがとうです(^_-)

香世さんから「内に思いを向けて下さい!!」とメールがきました。

さらに、「昨夜、ふっと昨年 of 長浜を思い出した時に、十一月七日に、思いが行ったのです。

十一月七日に思いを向けて下さい!!」。

私はハツとしました。

十一月七日朝方に母が亡くなったのです。

もちろん、学びの友は母が亡くなった日などは知りません。

「十一月七日を思い出す為に、喉が教えてくれたのです……」

喉の腫れは、思い出してね〜と言っています……」と促しの言葉がありました。私は、十一月七日、その時の思いにこころを向けてみました。

不思議です。

母に思いを向けたら、喉の腫れがひいたのです。

本当です。

だ液を飲み込んでスムーズです。

先ほどは痛くて飲み込めなかったのです。

肉細胞は正直でした。

私は、最近仕事で、施設での死亡退去に思

いが向いていました。

でも母まで思いを向けていなかったのです。

私にまだ後ろめたい気持ちがありました

昨年十一月七日の朝、施設から意識がないと連絡あり、しばらくして役場の職員から亡くなったと連絡がきました。

その時、正直、施設にいられて、見捨ててきてしまったという思いから、解放されると思いましたが、ホツとしました。昨年六月に施設の手配をして、母を送るのも心苦しく、長浜に戻ることを言い訳に、妹に任せただのです。

母と話もせず、会話もせず、最期を迎えてしまいました。

長浜行きに思いが向くまでは、会話もあり、仲良くしていました。でも徐々に介護疲れ、精神的に逃れたいという思いになっていました。

そこから逃げたのです。

ごめんね。と思いながら、言えなかった。会に行けなかった。

ごめんなさい。

自分を正当化して、自分で折り合いをつけて
いました。苦しかったです。

母親の反省をしながらもがいていました。
心から謝れなかったのです。

自分のしたことに心から謝れませんでした。
ごめんなさい。

今朝の瞑想の時、初めて、ここから母に
「寂しい思いさせてごめんなさい。」

今まで間違ってきた。

お母さん、産んでくれてありがとう。

お母さんも私も同じ、一緒だよ。愛なのよ。
それを知るために、産んでもらった。これまで
の五十一年間もこれに気付くためだったの。

これからは前のようにいつも一緒だよ。

ふるさとと一緒に帰ろうね。

今、お母さん、私は幸せよ。

大いなる存在、タイケトメキチに出会え、出
会うために学びの友に出会え、今があり、永遠

の今、幸せな永遠の今があります。

お母さん、心からありがとう。」
と言えました。

母は笑ってくれました。

「いつも一緒にね。」

そう言っていました。

この思いはまさに私です。

私の肉の寂しさは、まさに母の寂しさ、叫び

だったのです。少し気付きました。

母が、喉が、肉細胞が教えてくれました。
ありがとう。

今回も促し、チャンスを逃すところでした。

喉が腫れている。

乾燥してるから、そんな理由をつけて、また
自分を見逃すところでした。学びの友に促して

もらいました。

ありがとうございます。

喜びでいっぱいです。母も喜んでいます。

環境、現象すべてが私そのものなのです。

気づくと、促しが、次から次へと教えてくれます。

実証できました。

自分に起こる事象は、全て愛であり、喜びです……

そこから、何を気づくか、ここを向けて行けば、自ずと促されて来ます……

反省は、大事です。

しかし、それ以上にここを向けて、その時感じた事に思いを向けて、そこから何を導くのか、気づくか、全て、意識の流れの道程です。

思いは次元移行に向かっています。

思いを向けることを避けた私

今日は、久しぶりにゆっくりと眠ることができました。

掃除をして、洗濯をして、瞑想をして過ごしました。秋らしい一日で、気持ちも落ち着きました。

本当に、埼玉に戻ってから、こんなにゆっくりしたことはなく、ホッとしました。嬉しかったです。

日向ぼっこしながら、瞑想しました。自分のところを観ました。

ハッとしました。

昨日は感情が先で、ところが見られなかった。そう、まず認めることができませんでした。

自分でここを観ることを避けていました。逃げようとしていたことに、気付きました。自分に冷たく、自分を見捨てるどころでした。

おごり高ぶる自分が見えたのです。思いを向けてぬくもりで包んであげるだけ良かったのです。でも、逃げようとしていたのです。

会社の取締役に思いを向け、その時のころも観ました。

過去の自分でした。

自分は正しい。誰が何と言おうと自分は今までやってきた、そんな

おごり高い、私でした。

出て来た自分を認め、思いを向けずに、昨日は逃げていたんです。

違いました。間違っていました。

自分に出会える現象があったのです。

これが愛なのです。

観せてくれたのです。

ありがとうございます。

今、感じているぬくもりで、包みました。

こんな思いだった、そう愛が教えてくれたの

です。ありがとうしかない。それを今日、気づきました。

「自分で自分を切り捨てようとした。

ごめんね。ありがとう。ここを観ることができた、ありがとう。」

そう思えました。

頭でどうする、こうすると考えることではなかつたんです。

思いを向けて、認めていく。

ぬくもりで包んであげるだけ。

そう思いました。

内なるタイケトメキチにここを向けて、合わせて、重ねて行く。

ぬくもりに思いを向ければ、一昨日感じたぬくもりに繋がり、嬉しく、あたたかくなりました。

仕事を通して出てきた、過去の私。一瞬一瞬

出て来る、思いや感情は、過去の集積でした。

内に思いを向けて、出てきた思いや感情に、

思いを向けることで、自分のぬくもりを確信して行く事が大事だった、そう気付きました。

仕事に対してもおごりがありました。

「私は知ってる。私はこうやる。」

仕事は一人ではできません。

存在感のない、認められていない、立ち位置ではできません。

目標を持つてできるよう、焦らず、ゆっくり進めてみようと思いました。

内に思い向けながら仕事をする。

そこからだと、思えました。

素直でもありませんでした。

思考回路が止まり、頭が真っ白の状態でした。自分で自分に問いかけ、内なるタイケトメキチに向き合うよう、自分で自分のところを観ていくことが大事ですね。

この週末は、自分で自分のところに思いを向

ける、内なるタイケトメキチに問いかける。ゆつたりと瞑想が出来ました。

ありがとう。

お母さん、ありがとう。

内なるタイケトメキチ、ありがとう。

大いなる意識、ありがとうございました。

喜びが溢れ出てきます。

やり直していきます

私は、冷たい、冷たい、冷たいと言われました。まったくそのとおりです、肉、肉、肉基準でした、頭をくるくる回して、セミナーに参加してきたと、思いました。

田池留吉を甘く見ていた、バカにしていた。己高く、偉く、聳え立たせて、小さな世界でふんぞりかえって、滑稽な姿が見えてきました、まさしく、冷たい、冷たい自分です、自分が自分を落とし込めていた、自作自演、自業自得、自己責任、納得です、

やり直していきます。肉じゃない意識に帰ると、肉が本当と信じてきた自分に伝えていきます。お母さんの温もりを信じていたあの時に帰ろう、何もなくてももしあわせ、安らぎ、嬉しかった、あのふるさとへ帰っていきます。

銀ちゃん

おはようございます。昨年、(猫の銀ちゃんが)避妊手術をした際、癌が見つかりました。

体力低下のため、一ヶ月後の再手術の予定でした。磁場反転掛け二ヶ月後、病院に連れて行ったら、消えていたんです。

跡形もなく、医者が不思議な顔をしていました。わたしは、磁場反転の威力、田池先生の凄さ、田池留吉の波動が仕事をするとという事を、まともや知ることになりました。

銀ちゃんはあれから機嫌が良いと反転してくれます。写真にスリスリして甘えています。猫は素直だなあと、自分の愚かさに苦笑しています。





愛の噴霧器
体験談



◇皆んな笑顔に

愛の噴霧器を送っていただき、家庭で使用しています。

体験談と言っても、取り立てて不思議な体験などはありません。

ただ、これを噴霧すると、皆んな笑顔になります。

愛犬も、嫌がりません。

◇自然と瞑想に入れました

噴霧器が九月のセミナーで貰える！楽しみーって思っていたら なになに！条件付きだが購入出来る！とUTAブックさんのHPに載っていた。

早く使いたいって思いと、むくむく欲の思いが飛び出た。一晩考えました。今まで色んな発

表募集。私でも参加出来るカレンダーの参加に出しそびれてしまい、カレンダーのときはとても残念に思いました。だから、勇気を出して前向きな自分になりたいと申し込みました。

お友達のご夫妻が、一回目の受取日に行くというので、私のもお願いしました。

次の日、取りにいきました。さっそく、シューツとしてもらいました。期待が膨れ上がって、セミナーで先生が、シューシューツとされると、みんなが反応されてたように、私も反応するのかなーという期待のほうに気持ち向いてしまい、しつかりと田池留吉に思いを向けていきました。

どこまでも、いつまでも、欲 欲 欲 ですが、家に帰って、先生がおっしゃったとおりに 水素水を作り、噴霧器に入れて、シューシューツと。先生が「これは私ですよ。これは波動ですよ」って、おしゃってる言葉が、私の中で繰り返し聞こえてきます。何度も何度も、シュー

シューツ、涙がこぼれてきました。とても穏やかで、自然と目を瞑り、瞑想に入れました。

そして、こんな事初めてなんですが、噴霧器を申し込んだ頃から、目の周りがかぶれ、腫れました。病院に行こうか迷ってたのですがシューシューツってやってみようと思い、次の日には……とはいきませんでした。三日ぐらいで良くなりました。

でも、治ったと思い、今までの化粧品を使うと、またかぶれ、またシューシューツと。

今のところはシューシューツと続けているので大丈夫です。

これまでも沢山のグッズに囲まれているのだけど、このシューシューツで、聞こえる音っていうのかなー、なんて表現すればいいかなー、気持ちがいいって感じ！ いつまでもポーッと眺めていたい。

欲から始まりの、ギリギリに送らせて頂く今日までの時間、シューシューツと、おしゃべり

してたように思いました。ちょっと意味不明！

噴霧器の体験談になってる？ すみません。ありがとうございました。

◇ 飼い犬の転換 e t c

・ 飼い犬にかけてみると、匂いがしばらくするとなくなっている感じ。

・ 犬がひと月に一、二回でんかんが起きるので、届いてすぐスプレーを二日に一度程度かけてから、今のところ一度もてんかんがおきていない。

・ テニス肘で痛くなるとき、スプレーすると、一瞬で痛みがなくなる。

・ 観葉植物に元気がない時、葉にかけると緑が鮮やかに生き生きした感じに見える。

・ あせものような皮膚のかゆみも、しばらくはおさまる。

不思議なことが目の前で起きてても…

1. 住んでいる賃貸マンションのお風呂場の換気扇。夏場に使用するとドブのような悪臭で困っていました。円盤でも匂いは一瞬に消えませんが、噴霧器でシュツとかけると同じくすぐに匂いは消えました。最近は毎回、シュツとしなくても臭わなくなり助かっています。

2. 先日、自主勉強会の帰り道にて。電車に乗ると強烈な汗臭さが充満していました。車両にはクラブ帰りとおぼしき少年が二十名ほど座っていました。次の駅で彼ら全員が降りたので、ためにしに車両に向けて三回ほど噴射してみたところ、あつという間に臭いがなくなりました。

3. 最近、ひどい便秘気味だったのでお風呂上りにお腹に向けて噴霧。噴霧した翌日は快調とはいわないまでも、自然に出てくれます。シュツ

としないと、ダメなようです。

また、右足のくるぶしから甲にかけて痛みがあります。特に寝起きは歩きづらいのですが、噴霧器をかけると翌朝、痛みがかなり和らいでいます。

田池先生の噴霧器の愛のパワーを信じられませんでした。噴霧器を自分で使って、証明してみたいと強く思い、応募しました。実際に使ってみて不思議なことが目の前で起きてても、感動しない、まだ信じられない自分に落ち込んでいました。使う私の心は、いつも結果を求めてばかりで欲しくなくて、素直に喜んだり、単純に楽しんだりすることができていませんでした。学ぶ姿勢も同じでした。間違っていたなあ、と実感しています。今、これを書いていて、私のところに来てくれた噴霧器がとても愛おしいです。ありがとうございます。

愛の噴霧器―スプレーされた虫は？

- ・子供の頭が汗臭かったので、愛の噴霧器をかけたら匂いが全くなかった。
- ・夏場のおむつを入れるゴミ箱が鼻が曲がるほど臭かったのが、愛の噴霧器でスプレーすると顔を近づけて匂いをかいても匂わなくなりました。
- ・数日後、ゴミの日におむつを捨てる時にゴミ箱を開けた瞬間、普段なら部屋中匂いが充満するのに、全く匂わなかった。ゴミ箱にも匂いが残っておらず、これにはびっくりした。
- ・朝起きて一番に各部屋に愛の噴霧器を吹きかける。部屋のこもった匂いがなくなる。今まで家事の中で一番苦手だった掃除機がけが嫌いでなくなり、朝一番に掃除機がけをするようになった。お家が綺麗になり、一日中快適に過ごせる。
- ・夫の部屋が匂っていたが、愛の噴霧器をかけ

ると匂いが気にならなくなった。愛の噴霧器を使った翌日、夫が自分の散らかっていた部屋を大掃除した。今もまだ綺麗。

- ・指をやけどした時、すぐに愛の噴霧器を吹きかけたらまったく痛みを感じなかった。冷やさなくても痕に残らなかった。後日、またやけどをした時に今度は愛の噴霧器を使わないで、冷やすだけしてみた。すると痛みはあるし、翌日水ぶくれになっていた。回復力も使わなかった時の方が時間がかかった。
- ・顔を洗って、愛の噴霧器を顔に吹きかける。それから化粧水をつける。化粧水だけだと顔が突っ張る感じがあるが、愛の噴霧器を吹きかけるとしつとりする。
- ・子供に愛の噴霧器を使ってお水をあげてみたら、自分から口をあけて欲しがるようになった。顔にも吹きかけてみたら、初めはびっくりして泣いたりしていたけれど、今は嫌がらなくなりました。たまに愛の噴霧器をかけると、大はしゃぎ

して喜んでくれる。

・愛の水素水を作る際に、三回目以降、水素の
出が悪い時に薬剤に一吹きかけたら、水素が良
く発生するようになった。

・ご飯を作る時、コーヒー、お味噌汁、炊飯器
のご飯、おかず、おやつ等に吹きかけると身体
にいい食べ物になる感じがする。味も美味しく
なるような感じがする。

・夫婦で愛の噴霧器をかけあう。今まで憎かつ
た夫が時に愛おしく感じられるようになった。
ありがとうと言う感謝の思いも出てくるようにな
った。

・風呂場に大きな虫がいて、窓から追い出そう
としても出なかつたので、愛の噴霧器をかけて
みた。死んでしまいかと思いきや、ますます元
気になって。ゆったりと外に出て行ってくれた。
こちらは「出てけー」と凄いエネルギーで吹き
かけていても、虫は穏やかに愛のエネルギーを
堪能しているかのように感じられた。自分の小

ささに反省させられた。

・愛の噴霧器を使って瞑想をし、ここ最近感じ
ることは、自分の心の針が大きくずれていたこ
と。いつも心が外に向きっぱなしだったこと。
自己確立がまだまだ出来ていなかったこと。田
池先生が言う田池留吉の波動と自分の感じてい
る喜びの小ささに歴然とした差があるというこ
と。また原点に戻って、本を読んだり、小冊子
を読んだり、自分の学びに対する姿勢を改める
きっかけをいただいた。これが何よりもの愛の
噴霧器を使って一番良かったお勉強でした。あ
りがとうございます。

◇七つの実験

愛の水素水、噴霧器をありがとうございます。
今回の実験項目は

1. この季節、臭う脇の下への噴霧
 2. 口臭が酷く、口の中への噴霧
 3. 朝と風呂上りの体への噴霧
 4. 車のボンネットへの噴霧
 5. 植物への噴霧
 6. 愛犬への噴霧
 7. 愛犬の糞を入れるごみ箱への噴霧
- この七つを毎日、実験させてもらいました。
- この中でも、顕著に変化が見られたのは、7の愛犬の糞入れのごみ箱の匂いでした。
- この季節は特に悪臭を放ちます。蓋を閉め、更に収納棚の蓋を閉めますが、近づくと臭いしました。
- ところが噴霧しはじめると直ぐに匂いがましになり、蓋を閉めての状態では勿論、ごみ箱を開けて鼻を吸っても苦にならないではないですか?! これは妻とともに驚きました。
- 1の脇の匂いはかなり軽減されています。

- 2の口臭は、噴霧して歯磨きを繰り返しましたが、長年歯医者にも行かず、歯垢がたまり過ぎていたのでしよう。
- 妻の確認では、変わらず臭うそうです。
- 3の体への噴霧は、噴霧した後、なにか体が生き生きとするといいますか、目が覚めるというか、元気になる感じがしました。
- そして、肌はツヤツヤとし、指に出来ていたイボもつるんとなくなっていました。
- 4の車への噴霧は、きっちりとは計ってはいませんが、燃費が少しいいような、そして、エンジンのかかりがいいように感じました。
- 普段、殆ど意識を向けない車さんが、なにか喜んでいような感じもしました。
- 5の植物への噴霧は、これも直ぐに変化が始め、生き生きと葉の緑も鮮やかになって、これも喜んでいられるかのようでした。
- 6の愛犬への噴霧は、うちの犬は毛が長いので、噴霧していると毛が柔らかくなり、匂いも

軽減しているようです。

更に、愛犬の歯を磨く時、ガーゼに噴霧して磨くと、いつも半ば無理やり、乱暴な私の磨き方が、少し優しくなるように感じました。

いずれの実験にも共通して感じた事があります。それは、自分の学び方が間違ってきた、間違っているという事です。

まだまだまだまだ、心から納得できませんが、自分は形の中で学んできました。という事ですか。

形の世界の中で、ああでもない、こうでもない、と試行錯誤してきました。そこから一步も出られない、という事です。

そんなことない、自分はまっとうに学んでいると思ってきました。

でも、振り返ると、全てが欲で、パワーを求めてきた思いで学びを進めてきた。

神、仏だけでは飽き足らず、宇宙にパワーを

求めて、狂ってきたんだと思います。

今回の噴霧器の実験も、噴霧するたびに、その欲の思いが出るのを確認しました。

私にとつては、この愛の水素水の噴霧器は、他力ぎっしりの自分を、どんどん知っていくための大切な道具でありました。

この噴霧を浴び、愛を感じ、喜びを感じ、この学びの真のパワーを手に入れ、出来た、進んだ、素晴らしい自分になるためでした。

でも、本当の愛は、そうではありませんでした。

どこまでも他力一色の、欲の塊の自分の心の状態を知っていきなさい。と優しく、優しく、伝えてくれているのです。

やがて、田池を超えてやる。お前なんか死にさらせ！

何年も前にチャネリングで出していた言葉、なかなか、なかなかですが、今更ながら、

納得し始めています。

こうして体験文を綴るうちに、改めてそのように感じます。

今回、このような実験、体験をさせていただける機会をいただきまして、本当に、ありがとうございます。

今後とも引き続き、愛の水素水の噴霧器を、愛の円盤とともに肌身離さず、使わせていただきたいと思えます。

ありがとうございます。

◇「ただの水素水」と「愛の水素水」

愛の噴霧器が届いてから、たくさんの嬉しい体験をしています。

特に学びの仲間との実験は楽しくとても嬉しいです。

一番驚いた体験は愛の噴霧器が届いて直ぐのころ、バラの剪定をしている時に毛虫に刺されて、見ている間に赤く腫れて、痒みと痛みがどんどん強くなっていきました。

急いで水素水を何回か噴霧しましたが「ほんの少し症状が軽くなったような気もするが……？」程度にしか効果がなくて、やっぱり薬を塗ろうと探している時に「愛の円盤」が目に入りました。

愛の文字を見た途端に水素水を「愛の水素水」にしないで使っていた事に気づきました。

噴霧器を「愛の円盤」の上に乗せ田池留吉に心に向けて「愛の水素水」に変えてから、田池留吉に心に向けながら噴霧しました。

時間をあけて三回目の噴霧をしたころには発赤は少し残っているものの腫れや痛みや痒みは無くなっていて、翌朝には毛虫しに刺された事が嘘のように跡形もなく治っていました。

この体験で、「ただの水素水」と「愛の水素水」

のエネルギーの違いをはつきりと知ることができきました。

苦しい瞑想中に、愛の水素水を噴霧してもらうとお腹の中から温かい思いが湧き上がってきて嬉しくなります。嬉しい時に噴霧してもらうと喜びが倍にも三倍にもなります。

どんな状況の中でも田池留吉に心を合わせる事が出来るように、自分の中の愛を信じて、田池留吉にしっかり心向けながら「愛の噴霧器」を使わせていただきます。

ありがとうございます。

◇ 剣道の防具

学校で部活指導をしている関係で、剣道をしています。剣道の防具はたいがい水洗いができませんので、長年使用していると、やはり臭いが非常にきついものになります。私が使用して

いるものも三年以上になりますので、特に夏場に使用したあとは、干して汗が乾いても、なかなか鼻をつくような臭いは消えません。

そこで今回の愛のスプレーで、臭いがどうなるかを試してみることになりました。さすがにこのきつい臭いまではどうにもならないだろう：という思いはありましたが、これまでの色々な実験を通して、愛のグッズの効果はすごいということを実感してきたので、何となく臭いがないことを予感しているような気もしました。

そして愛を思い、何かすぐくわくわくするよ
うな、新鮮な思いでスプレーを数回、面と小手
の中に吹きかけました。

一晩経ち、翌朝、臭いをかいでみました。鼻
をつくような嫌な感じの臭いは、やはりなくな
っていました。全くなくなったわけではあり
ませんが、嫌な感じの臭いはしませんでした。
干してもなかなかとれなかった臭いがとれてし

まうのは、やっぱりすごいなあ、と思いました。セミナーの中でも、「スプレーで臭いがなくなるよ」と先生が話しておられたのを思い出し、その通りだな、と効果を実感できました。嬉しかったです。

夏バテぎみで疲れがたまっているときに外で自分にスプレーすると、シャキツとします。

妻や子とスプレーし合うと、とても嬉しいです。自然と心が中に向き、反省が進んでいく実感があります。これからもぜひ継続していきたいです。

◇ あれ、お祓はらいをしている

噴霧器を頂いてから毎朝各部屋に愛の水素水をシューツとして、一日がスタートします。

一日目は嬉しくて涙がでました。締め切った

仏壇にも シューツ

「心に向けることもせずごめんなさい、こんな所に閉じ込めたままでごめんなさい」と思います。夫や子供の事もいろいろ思います。

三日目ごろ、シューツとしながら「あれ、お祓はらいをしている」

何時はらしか私の心癖がでていました。

余程心を見て意識していないと他力の道具になつてしまいます。

内なる田池留吉を思つてしなければ、自分でも気付かないまますぐ念をいれてしまいます。欲で求める心は ひつこくこびり付いています。

ただ喜び、ありがとうは私にとって大変むづかしいと思いました。

シューツとして目をつむりました。優しいです。

長い長い転生、間違い続け、苦しみ続けた私に、今こうして愛の道具を一杯頂き囲まれています。

「心見なさい」「気付きなさい」と母の意識に待つていただいています。

お母さん、有難う、必ず、約束通り帰ります。噴霧器から飛び散る水滴はお母さんです。

◇今日も実践、実践!!

愛の噴霧器を手に入れて、すぐに嬉しくて玄関の下駄箱にシュツとしてみた。こもったような何とも言えない匂いがすぐに全く消えて、気分まで爽快になる。それから各部屋にもシュツ。トイレにシュツ、台所にシュツ息子の部屋にシュツ。子供の部屋は一回で無臭というわけにはいかない。でもそうやってシュツ、シュツとやっている自分がどんどん楽しくて嬉しくなっ

ていく。試しに息子の洗濯物の靴下にシュツとしてみた。すぐに匂いが全くなくなる。これにはビックリ。それからは靴下やシャツなど気になるものに個別にシュツとし、全体にもシュツとしてからいつもより少なめの洗剤で洗濯機を回すようにしている。洗濯物の洗上がりもばっちり。自分の手の湿疹にもシュツとしてみた。愛の噴霧器でシュツとしてから薬のようなものを塗る。手の湿疹の状態も良くなったけれども、この件に関しては薬の方を第一番に置いている自分の思いがよく見えた。まだまだ肉が一番大事としている自分の心がちゃんと現れました。新しい水素水を入れ忘れ、前日の残りのままシュツとしてみたら効果がないことにも気づきました。この水ではダメかな、と思いつつらやったのが悪かったのか、水素が抜けてただの水になってしまったのが悪かったのか、よく分かりません。でも愛の円盤や愛の噴霧器が家にあることで思いを向けるということを実践さ

せてもらっています。今日も実践、実践でやっていきます。ありがとうございます。

◇愛の絶対評価

愛の円盤を使う中で、不思議な体験をたくさんしました。驚くような事もありました。でも、朝の果物が甘くなる時と、ならない時があったり、いつもいつも、コンスタントに愛のエネルギーが働くかというところでもないで、やっぱり、これは、私自身の問題だなあと思って、今回、書けるような体験ができるだろうかと、心配でしたが、九月のセミナーには行けないので、愛の噴霧器がほしくて申し込みました。

まず、最初の日に、皮膚に小さなできものができて、かゆかったので、それに噴霧してみました。治るかなと半信半疑でしたが、これは、

すぐに治ってびっくりしました。

でも、すぐ後に、違うところにまたできて、今度はすぐに治りません。

私は、去年、出てきた、自分の闇が怖くて、なかなか、それが認められなくて、ほったらかしにしていました。瞑想をして、その事が出てくると、躊躇して、深くできません。それと、死についてもなかなか、出てくるたびに、また、私は、振り回されてるのではないかと、瞑想が、義務的で、全然、喜びじゃありませんでした。それでも、やっているうちに内容が変わっていき、とりあえず、やるんだって感じで瞑想をしていたけれど、そういうのって、だめですよ。どんどん、外に心が向いていって、セミナーの録画を見るたびに焦る心が出てきました。

愛の噴霧器がきて、愛の噴霧器を自分にかけて、愛の「ふるさと」をうたって瞑想をするようにしたら、闇が出てくるのが少し嬉しくなりました。ほんの少し、嬉しいって気持ちでた

ら、また、やろうって嬉しくなりました。それで、手帳にちよこつとそれを書きました。それから、そのできものに心を向けて瞑想したら、去年、出てきた自分の闇が出てきました。あーやっぱり、これだ、これは認めたくなかった、私にはないと思いたかった、でも、これなんだなあと思ったら、自分の目標はこれを見ていくことなんだ、先生が絶対評価っていつてる、ずっと、同じところをぐるぐる回ってる、どれだけ、自分は愛だつて語ってきたも信じられない、自分の怠慢を棚に上げて焦っていたけれど、私はこれを見ていけばいいんだと思えば嬉しくなりました。

それと、私は、瞑想すると、弾丸みたいに言葉が出てくるので、怠慢もあるけれど、それをなかなか記録することができなくて、でも、瞑想が終わった後に、その時、気付いたことを一言、書いていこうと思って書き出しはじめたら、関係者セミナーで先生が瞑想日誌の事をおつ

しゃってて、真剣に向かい合ったら、自分が教えてくれるんだなと嬉しくなりました。

それと、子供はすぐ喜んで使っています。一応、「愛だよって思つて使つてね」とは言っています。

◇今年はずか、あせもが…

今年はずか、あせもが出来、そのかゆみに驚きました。眠っている間にかきむしり、ひどい状態になりました。赤く傷付いた首に薬をつけると尚更ひどくなり薬をつけるのをやめ、水素水を手の平に受けピタピタピタつけました。水素水をつけた方が痛みもかゆみも静まるので、一日に何度もつけました。愛の噴霧器を送っていたからからは、手軽にシュッシュッと顔から首から体まで今ではすっかりきれいな肌になりました。ありがとうございました。

◇愛のバラマキ中！

噴霧器を購入して、そろそろ一ヶ月がたとうとしていきます。体験談のメ切りぎりぎりです。

私は、セミナーに最近参加していません。ビデオでの勉強が主体です。

この勉強もHPのみで行っています。セミナーに行けない、いや、行かないのは、己偉い自分だと思えます。

誰かとの情報交換も、この学びを教えてください。昔から友人がひとりいるだけです。

自分の夫にもこの学びのことはうまく伝えきれいでいません。

こんな私が噴霧器を購入してタイケトメキチを思い、シュツシュツ試して、正直なること。

- 1 少しウキウキした気持ちになるかも
- 2 生ゴミの臭い匂いが消えたかも
- 3 前よりも夫が優しくなったかも
- 4 夫がグッズをみてもなにも言わないかも

体験談を語るよりも思い当たるところは、そんなところです。愛のシュツシュツだとおもい、部屋全体へバラマキ中です。

自分のペースで学び進めますけど、私には文章でいろいろ書けるような体験談はありません。

あゝこんな調子です。

◇愛のひまわり

セミナー参加の時、私は息子達に留守中の用事を頼むのですが、七月のセミナー時は、レジャーと仕事等々で無理だったので、主人(仕

事と実家の母の世話で忙しい）にお願いしました。

私が、セミナーから帰って来ると出迎えてくれたのは、玄関にある花壇の「ひまわり」二本の花でした。普段は、そんなシャレた事をする主人ではないので、びっくりしました。

「ありがとうございます」とお礼をいうと「ひまわりが、おかえりと出迎えてくれたやろ……」という返事で留守中にホームセンターで花のついた「ひまわり」を買って植えてくれたのです。

二、三日は、背丈は三十センチほどですが、しっかりとまんまるの花が咲いていました。

だんだんと花びらが萎れていき、少し残念と思ったのですが、みると茎には蕾が三つほどありました。家にあるスプレーに「水素水」をいれ蕾にシュツと、萎れた花には「タイケトメキチ」と思い「ありがとうございます」とハサミでカットしました。

そうしているうちに、ステンレスの「愛の噴

霧器」が我が家にもきました。

毎日、土にはたつぷりの水、茎と蕾には「愛の噴霧器」でシュツ、そばにあるやせ細った「ミニバラ」にもシュツとしていると「ひまわり」は次々と小さいですが、可愛い花が咲き続け、「ミニバラ」までが新しい葉と白、ピンク色の花を咲かせています。

私は植物には詳しくないのですが、植え始めから一か月以上たって、台風や大雨もあったのに、今だに花が咲きまだまだ蕾もたくさんあるのをみて、「愛の噴霧器」は凄いと、「ひまわり」を植えてくれた主人の優しさにありがとうございます。

（今度は実家の花壇から、根こそぎ何やら蕾のついた花をうちの花壇に……なんの花？）

私が「愛の噴霧器」を持って喜んでる姿をみて、主人は連鎖的になったそうです。

◇ 日焼けした肌

息子は普段、仕事で長袖の作業着とヘルメットを着用しています。

炎天下のなか、遊びに出かけ、顔と腕や背中を日焼けして帰って来ました。

学生以来の日焼けで真っ赤で、痛々しかったです。

私は何も言わず、「愛の噴霧器」を持ちシュツとふりかけました。

「何するねん……」と言いつつ、もう片方の腕もだしてしまいましたので、またシュツ。

その日は疲れ、早めの睡眠。翌日、一人暮らしをしているので、帰る際、「愛の噴霧器」を持ち、これは「水素水」が入っていて「愛の噴霧器」やでーと言いました。

そうしたら、片方ずつ腕をだすのでシュツ、シュツ。そんな息子をみて嬉しく思いました。

そして、どんな時も「タイケトメキチ」やでと言って送り出しました。

また翌週、帰ってきたのですが、ランニング

姿の背中と腕は、皮がむけて痛々しかったです。

そして、テーブル上にあつた「愛の噴霧器」を自分で手に取り、たっぷりとかけた様子でした。

ありがとうございました。

◇ 「愛の水素水」「愛の噴霧器」

噴霧器が届いた早々、愛の円盤にのせて作った水素水を同じ愛の円盤の上にのせた噴霧器に入れて、台所の生ごみで臭うゴミ袋に一噴きしてみました。何の変化もなく同じ臭いでした。今度はゴミ袋の中と外から二、三回噴きかけてみました。少し臭く無くなったのか半信半疑の状態でした。もう一度、ゴミ袋の上から田池留吉を思つて二、三回噴きかけてみました。全く消えてはいないけど、臭いが薄くなったので驚きました。

次に気になる口臭を消すのに使ってみました。歯磨きの後に二、三回噴きかけて、もう一度歯磨きすると臭いが薄くなりました。それと朝起きたときは口の中がネバネバして強烈に臭います。どうも口を開けて寝ているようで喉も赤くなっています。しかも口だけでなく胃からも臭ってくるようです。朝起きたらすぐに口の中に噴きかけて、喉のところも噴きかけて臭いを嗅いでみるとそんなに臭わなくなります。ほんとに不思議です。

次はあせもに噴きかけてみました。お風呂上がりには、あせものところに噴きかけると、翌朝、赤みも薄れて痒みもやわらいで、しばらく続くと治っています。皮膚の弱い私には噴霧器は絶品です。

その他には、朝夕、顔に髪に体にシューツ、台所にシューツ、トイレにも噴きかけて楽しんで遊んでいます。

水素水の効果は凄いです。「田池留吉を思う」

「愛を思う」ことをしなければ、ただの水素水。思えば「愛の水素水」「愛の噴霧器」になる。まだまだ信じられない私いますが、自分を信じていきたいです。

◇ 爽やかな靴に変身

この夏に東北地方を旅行しました。ほとんど高速道路を使つての高速運転だったので、車のダツシュボードに愛の円盤を置き、出発時にボンネットに愛の噴霧器で愛のシャワーをかけました。

ターボなので、いつもは一〇キロほどしか伸びないのに、なんと一四キロも走り燃費が驚くほど良くなりました。

強酸性のお風呂で皮膚がダメージを受けましたが、愛の噴霧器のおかげできれいになりました。

帰宅してからアジの南蛮漬けを作った時の臍物が翌朝あまりにも臭かったので、愛の噴霧器でシューツとしてみました。

これには本当に驚きました。一瞬にしてあの腐敗臭が消えました。続いて息子の臭い臭い靴にもひと吹きしたらこれも爽やかな靴に変身、浴室の壁のタイルの目地にもシューツとかけて磨くとカビも生えにくくなったように思います。あまりたくさん使っていないでこれだけしか書けませんでした、これからもいろいろ使ってみます。

改めて田池留吉を思うこと、愛を信じることのすごさを感じる毎日です。本当にいろいろなグッズをありがとうございました。

◇ 体験八種

愛の噴霧器が届いてから、日常生活の色々な

場面で愛の噴霧器が自然と溶け込んでいきました。実験と言えるかどうかは分かりませんが、二週間ほどやり続けてみた結果と、感想などです。

1. 夫婦で毎朝、おはようと言いながらシューツシューツとかけあう。

この時ばかりは主人の顔がゆるみました。夫婦の仲も少しは緩んだように感じています。これからも続けていこうと思っています。とても嬉しいです。

2. 野良猫のクロちゃんと、愛の噴霧器

野良猫の寿命は五年ほどと聞きましたが、もう十年以上も自由を謳歌しつつ、毎朝「おはよう」を言いに来てくれるのか、ご飯をねだりに来ているのか……、野良ネコのクロちゃんがいまいます。さすがに最近、急に元気がなくなりました。そろそろお別れかなと思っていましたが、

毎朝主人が愛の噴霧器でクロちゃんを拭いてあげるようになって、少し元気になりました。食欲も戻り、ヨロヨロしていた足元も、少し元気になったようです。

3. 毎日掃除機をかけた後に、部屋中に愛の噴霧器でシュッシュッ、その後も何度かシュッシュッ、瞑想の前にも必ずシュッ、シュッ、シュッとかけました。

これと言った変化はまだ感じていませんが、気持ちがいいのでこれからも続けていきます。

4. かいわれ大根と噴霧器

かいわれ大根を一パック買ってきて、四つ(A B C D)に分け、それぞれを紙コップに入れ、二個ずつ二グループに分け、一グループのA Bには愛の噴霧器を、もう一グループのC Dには水道水をかけ、これを繰り返しながら冷蔵庫で保管しました。一週間後、水道水のグループか

らは匂いがし始めました。二週間後、主人に元気だと思ふ順に並べてもらいました。

元気な順、A・B C(同位)・Dでした。

5. 筋肉痛と愛の噴霧器

換気扇の大掃除をした次の日の朝、身体を動かすと左脇腹に痛みがありました。筋肉痛だと思ひ愛の噴霧器で実験してみました。その日の夕方には完全に痛みは消えていました。それ以降まったく痛みはありませんでした。普段筋肉痛は二三日続くのに、これには驚きました。

6. 皮膚の変形と愛の噴霧器

主人の首の後ろと、立て肘をつく肘の部分に、皮膚が黒ずみタコのようになっている部分がありました。私は知らなかったのですが、コットンに愛の噴霧器を噴きかけ、毎日のようにその部分を拭いていたそうです。昨日その部分を見せられ、見事に皮膚がツルツルになって、首の

後ろに至っては、紫色になりケロイドのように皮膚が盛り上がりつつ変形していたのに、普通の皮膚に戻っているのを見てビックリしました。肘も黒ずみがなくなり、触るとツルツルしていました。主人が嬉しそうに話してくれて、私も嬉しかったです。

7. 犬の背中でのデキモノと、愛の噴霧器

犬の背中に四ヶ所、デキモノが出来ています。犬は痛くもかゆくもないようですが、少しずつ大きくなって（一番大きいもので8mm位）、膿が出て、かさぶたになってを繰り返しています。愛の噴霧器をし始めて、少しずつ小さくなって濃んでいたのがすっかりしてきました。まだ途中経過なので、これからも続けて様子を見ようと思っています。

8. 愛の噴霧器の実験を経た感想

本当の愛を知らず、自分を愛の人と思う。正

義も優しさもすべて同じ。真実を知らず、自分は正しいと聳え立ってきた自分に愛の実験は本当の愛を伝えようとしてくれていました。愛の道具を使う時、己が聳え立っているのは本当の愛は流れない。すべてにおいて己が聳え立っていることを教えて頂きました。これで夫婦がうまく行くはずがありません。愛を遮っているのは自分、そのほんの一端を垣間見させていただきました。

愛の実験、楽しみながらこれからも継続していかうと思っています。
ありがとうございます。

◇「絶対評価」という促し

セミナーで愛の噴霧器の体験をしてないので届くのが楽しみでした。手にしてさっそく噴霧

した瞬間、中から喜びが飛び出た時は『一体これは何なんだと』驚きでした。この自分の驚きに学びを小さくとらえ半信半疑でいる自分を知りました。たかが噴霧器が、そんな思いの自分がやはり居るのです。でも事実、自分に起きたこの現象、これは所詮頭では分からない。中から「絶対評価」と伝わってきました。絶対評価、なんと優しい促しだろう。これまで頭を回し、周囲と比較し、どれ程苦しんできたことか。自分に素直になろう。心に感じ響く世界を第一に自分と自分で気付いていこう。愛の噴霧器で生じる心の変化は頭で理解出来なくても、心がそうだと納得する。その後の自分に日々生じてくる心の変化、それは微かだけれど確かに響く微妙な変化。心が答えを伝えてくる。頭では分からないことを、あれもこれもそうなんだと心が頷く。愛の円盤、愛の噴霧器、楽しいです。微妙に生じる心の変化、何かワクワクして嬉しいです。

◇ 噴霧器体験エトセトラ

ヤモリ

小さい子供のヤモリが家の中の壁に現れ、ヤモリは私の気配に気づくと一生懸命逃げようとしていました。噴霧器をかけてみたらどうなるのだろうかと思ってかけたら、突然止まって、ペロペロと赤い舌を出して水滴をなめ始めました。喜んでなめているように見えてとてもかわいかつたです。家にいると餌がなくて死んでしまふと思って、一度捕まえて外に出してあげたのですが、それでもなぜか、またしばらくすると現れました。（うちのどこかに穴があるのかもしれません）その後は十時ころになると家に毎日のように現れます。近づく逃げようとするのですが、すぐに内なる田池留吉を想い噴霧器で愛の水素水をかけてあげると、まんざらでもなさそうにじっと止まってこっちを見て、

ぺろぺろと舌を出してなめています。試しに、反転されていない霧吹きに水を入れてヤモリにかけましたが、ぺろぺろなめませんでした。ヤモリも愛のエネルギーを感じて嬉しかったのかなあ、と思いました。本当にヤモリの子供はしぐさ一つ一つが愛おしくてうちのペットみたいになり、毎日出現するのを楽しみにしています。

アゲハの幼虫

アゲハの幼虫（庭で捕まえて飼っています）が元気がなかったたので、噴霧器をかけたら、水滴を吸い込んでいてそのあとよく動くようになりました。

パソコン

最近少しパソコンの調子が悪くて、パソコンがインターネットにすぐ接続できないことがよくありました。実験のチャンスだと思って、田池留吉と違って噴霧器をかけたら（キーボード

には水がかからないように）すぐインターネットにつながったので、愛のエネルギーが働いたんだと感じました。

物置

物置が埃臭かったのですが、噴霧器をかけたら匂いがなくなりました。

皮膚

・蚊に刺されたところにスプレーするとかゆみがなくするのが早い気がしました。
・皮がむけたところにスプレーしたらすぐに良くなりました。

頭痛

母が頭痛が痛いと言っていたので、田池留吉を思って噴霧器をかけたら、だいぶ痛みがなくなつたと言っていました。

瞑想

スプレーをかけてもらって瞑想をすると、急に闇の思いが出たり、アルバートと言いたくなったり、思いがでやすい気がしました。あの霧を思うと嬉しかったです。

前屈

田池先生に一度、噴霧器をかけていただいたときはとても嬉しくて、涙が止まりませんでした。優しい思いに包まれた感じがして、そのあと前屈を試してみたら、手のひら全部ついたのでびっくりしました。あんなに試したのは生まれて初めてでした。しばらくたって家に帰って、前屈をすると床に指がつくのがやっとでした。自分に噴霧器をかけてから前屈すると、手のひらの半分くらいまで床につきました。体は柔らかくなりましたが、まだまだ信が弱いんだなあと感じられました。田池先生、こうやって田池留吉を思うきつかけを与えてくださってあり

がとうございました。これからも噴霧器を使って田池留吉を常に、心から思えるように実践を積み重ねていこうと思えました。

◇下腹部の痛みと腱鞘炎

水素水の噴霧器を先日購入し、現在四週間ほど使っています。

一、下腹部の痛みが治ってきた。

いつも下腹部に鈍痛があり、ずっと、車に座っていたりして降りて歩く時など痛くて、少し足を引きずって歩く事があった。歩きはじめるとだんだん痛みは和らぐのだがそれでもやはり痛かった。

一度試してみたが、痛みが取れてきた。

三回くらい使ってみたとき、ほとんど痛みを感じないくらいになってきた。

しかし、痛みはそうすぐには治らないが、一ヶ

月くらいたったいまは、ずいぶん痛みがなくなってきた。

痛い時はあるが、痛くない時の方が多くなってきたという感じで、痛みも軽い痛みに代わってきた。

二、両手の腱鞘炎の痛みがなくなってきた。

もう何年も痛くて、だんだん痛みがきつくなってきたのだが、これも少しずつ痛みがなくなってきた。

「腱鞘炎は、腕をできるだけ使わないようにする事が、唯一の治療法です」と医者から言われてきたが、なかなか使わないというわけにもいかず、どうしても使うので、痛みが少しずつ増してくるといふ状態だった。

最近では、何もしなくてもズキンと痛くなる時があり、だんだん痛みの程度も範囲も広がってきているようだった。

痛みが、指の方にも広がってきているようで、

どんどん痛くなってきたらどうしようと心配であった。

これも、最初のひと吹きで、かなり痛みがなくなった。

それから、何回も吹きかけているが、やはり、一と同じように、だんだん痛みの範囲も程度も軽くなってきた。

本当に愛の噴霧器はすごいということが分かった。

今後も噴霧を続けて、治り具合を見ていこうと思つています。

◇愛の水素水を自分に向けてウワアー

朝起きて、愛の水素水を自分に向けてウワアーなんと気持ちがいい。

ひとつひとつの細胞にしみ込んでいく喜びを

瞬時に感じました。優しく、優しく。

「私は愛です、私達は愛ですよ」と、伝わってきました。

私は肉体細胞に、「ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」と優しく思いを向けました。

これからも肉体細胞と共に歩める喜びを感謝します。

◇愛の噴霧器 体験四例

1. 口の臭い

孫に「お婆ちゃん、口臭いテレビのコマーシャルでやってるクチュクチュしたらいいねん」と言われたり、友達にも言われたりして、色々試しましたが、なかなか臭いは取れませんでした。歯磨きをした後に水素水で口の中をゆすいだり、嗽うがいをしたりしています。この間、孫に「まだ臭うか」と聞きました。「だいぶましになった。

まだちよつと臭うけど」と言われました。

2. 腋臭わきがと加齢臭

風呂に入って綺麗に洗っているのに、なぜ臭いがとれないのかと、どうして臭いと言われるのかと悩んでいました。父が加齢臭におで臭っていた時、母にえらい臭いするなあと言われていました。そのとき母は「年老いたら内蔵も年老いてくるからや」と言っていました。自分も年老いて、自分の出した思いが自分に帰って来るんやなと思いました。たくさん人の心を傷つけてきました。ごめんなさい。

風呂上り夫婦二人で身体中愛の噴霧器でかけています。自分の部屋の臭いも毎日過ごしていたら、自分の臭いはなかなか分かりません。気が付いたときに浴槽、洗面、便所、台所、部屋に愛の噴霧器をかけて愛の部屋にしています。

3. 足の臭いついた絨毯

孫の足裏がすぐく臭います。自分も小学校のとき臭かったことを思い出します。その臭いが絨毯にこびりついたのです。消臭剤も二回ぐらい振りかけても、まだ少し臭いが残っていました。あまりかけすぎてもと思い、そのままにしておりました。そこへ愛の噴霧器をシュシュッと振りかけました。臭いが無くなりました。

4. 観葉植物

枯れそうで捨てようと思っていた観葉植物に、愛の噴霧器をかけていたら横から新しい芽が出てきました。

◇ 私の中の叫び

今まで愛の道具をたくさん出していただきました。それぞれ水道水が美味しくなったり、冷

蔵庫のにおいが消えてすがすがしく新鮮さが保たれたり、お風呂に円盤をいれるとやさしい、温かい気持ちのいいお湯になったりとか、でも心から信じていなかったと思いました。

先日とても暑い日に冷蔵庫が止まり、修理に来てもらうまで解けてしまうと思い、そうだと思つて円盤を中にいれて思いを向けました。見事に動きだしました。みんなの体験談を読んで本当？ と思つていたところもあつたので、動きだしたときは愛のエネルギーって凄いと思いました。それからずっと動いてくれています。

人間以外のものは素直です。

愛の水素水のスプレーも思いたと、作る時、スプレーする時、自分の思いを見て確認してします。

母が入院しているので病室にもつていつてスプレーすると他の人のおい、病院特有のにおいなどが消えて、すがすがしいさらっとした空

気になる気がします。同室の人もみんな元気そうになって「どこが悪いの？」って感じ、隣のおばあちゃんは、先日まで言葉にならない声を出していましたが、スプレーすると静かです。

母も食事が全然とれないのですが、入院時と比べて、顔色もよくつやつやしています。寝ているときは気持ちよさそうにしています。目を開くと「苦しい、苦しい」と言います。私の中の叫びだと思えます。今まで、すべて形だけで何も信じてこなかったと改めて思いました。

他力信仰の反省を真剣にしていかなければ、なにをしてもすべてそこにつながついていきません。正しい瞑想が出来るように全力を傾けていきます。

ありがとうございました。

◇ぎっくり腰になって四カ月

ぎっくり腰になって四カ月、脚が痛くて痛くて、骨が突き刺さっているような感じがして歩くのがやっとです。整形外科に通院してレントゲン、MRIを撮って貰いましたが、手術をするか薬で痛みを止めるかという事でした。取りあえず薬を飲んでみることにしました。一カ月ほど飲みましたが、痛みは飲む前と全然変わらず口内炎になりそうだったので止めました。

これはもう長く付き合っていくよりないと思っていました。そして愛の噴霧器の申し込みがありました。九月のセミナーまでは大分日数があるので待てないと思い申し込みました。噴霧器が着いたのは八月十日頃でした。これから二十五日までに何か変化があればと思いつながら、毎日朝と晩、田池留吉に思いを向け愛の噴霧器を腰、足等に噴射しました。

一週間ほど過ぎた頃、今まで毎朝、丹田呼吸をするとき立ってられないほど脚が痛かったのが楽になっていました。本当に驚きました。次の日も、次の日もどうだろうかと楽しみにして様子をみていました。歩いたりするときは今まで通りですが、丹田呼吸をする時には本当に痛みがやわらいで楽になりました。

そしてつい最近ですが、右肘の関節が痛くなり服の着替えも水素水の容器も振れないほど痛かったのが、今朝嘘のように無くなっていました。

◇ 下肢静脈瘤

愛の水素水を入れた愛の噴霧器を使って、愛のお部屋にしてオーリングをしました。噴霧器を使う前は柔らかかったけれど、噴霧器を使った後は硬くて開きませんでした。

台所臭が、愛の水素水を入れた愛の噴霧器でスプレーしたら、臭いがなくなり気持ちのいい台所になりました。

愛の水素水を入れた愛の噴霧器で化粧水がわりにスプレーすると、先生の言っていたとおり化粧水になり肌はすべすべです。

下肢静脈瘤でいつも医療のきついストッキングをはいていましたが、先生の体はしめつけず、ゆったり、との言葉で、私もしめつけるのをやめることにしました。そして、愛の水素水を入れた愛の噴霧器でスプレーをしていたら、足が柔らかくなり、お座りをして、違和感がなくて驚いています。

愛の水素水を入れた愛の噴霧器でスプレーしていた、観葉植物や胡蝶蘭の葉の色、つやがとってもきれいです。

◇過去も今も一つ、愛の中にいる

購入初日、早速使い始めました。何よりも使っている時、嬉しくなり場がなごみます。ワンちゃんや生ごみが臭くなくなります。硬かった体が柔らかくなります。私の場合、横に手がついたことが無かったのに、スプレーをかけられるとスーツと床に付いて驚き・感激でした。

最近の出来事での一番の驚きは、イチジクの実をいっぱい付けた幹が、お隣に大きくせり出し、迷惑にならないようにと切ろうとした時でした。手の二〇cm離れたところで実をついばんでいるメジロと目が合い、スーツと飛んで行き、申し訳ないなあと思った途端、長袖を着ていたにもかかわらず、跳び上がるほど腕が痛い・痒い・熱いという症状が出ました。

直ぐに愛のスプレーをシューっとひと吹き、少し良くなりましたが、すぐに痛みがぶり返し

ます。繰り返しスプレーしましたが、なかなか田池留吉に思いが向かず、治れ、早く治れという思いが出ます。近くにいた娘に、田池留吉に思いを向けてスプレーをしてもらいました。スーツと痛み・痒み・腫れが引きました。

その時どうしてか、幼い時のやつと歩けるくらい私が、祖母と畑で草むしりをした時のことが思い出されました。祖母がニコニコしながら、「それは実が成るから抜いちやだめよ」と優しく教えてくれました。そのそばの雑草には小さな花が付いていました。綺麗だと思ったことが思い出されます。その横は花だん。同じ花に見えます。じょうずに抜くことが出来ません。寂しい思いが残り、夕方から熱を出し、知恵熱だろうと言われ、翌朝元気になったこと等タイムスリップしたように、リアルに思え、何故か涙があふれてきました。

「ありがとう、ごめんなさい、ありがとう」と思いが出て、庭のイチジクの木に、ごめんねと

言つて枝を持つと、木の幹が塀の中に入り、驚き、感動、すごい、実感です。愛のエネルギー、樹、自然は、素直なんだと、脱帽です。こんなに愛に包まれているのに、申し訳ないと思いません。過去も今も一つ、愛の中にいる、そう感じさせてもらいました。

◇結果は乞うご期待

愛の円盤の上に薬剤をセットしたボトルを置いて、純水を入れた後、蓋を軽く閉め、最後にキュツと仕上げ、水素水を作ること五回、発生する水素の泡を見ながら、「愛」を思います。そして家族で出来た水素水を飲みます。その間、田池留吉を思う事十回。その水素水を愛のスプレーに入れて、故郷を歌うとき、匂いのある部分に、チョツと疲れた目に、お世話になつてい

る部屋にシュツシュ、家族と掛けたり掛けられるたり、何気なく田池留吉に想いを向ける事、日に数十回。ここにきて凄しい道具を用意して頂いたと感激しています。

体の劇的な変化も体験させてもらいました。私の場合、太もも内側や下腹など、皮膚の柔らかいところが毎年二〜三回、突然痛み出します。痛み出だすと断続的に数日続くのです。数分から数十分の間隔でしょうか。それはピリピリツという激痛に近い感覚で、夜も十分に寝られません。そして、それは八月に起こりました。寝不足のまなこで今日もシュツシュとしている時、「これって効くだろうか」と患部にシュツツとしてみました。痛くない時に思いを向けてスプレーしたのですが、一時間、二時間待てども痛みは出ません。そして夜も熟睡して翌朝、「ああーこれ効いたんだ」。

もう一つは家のイチジクの枝、妻が切り落とした枝を素手で小さく折って袋詰め作業をした後の事です。手や腕がジガジガかゆい、粘々しねばねば

ている、少々の水洗いでは収まらない症状です。「例のスプレーだ」と思いを向けて両腕にシュツとしてみました。チョツと良くなったかな。もう一度、今度は数秒、田池留吉に想いを向けてシュツ。「アツ、痒みが収まっている、粘々も小さくなっている」。

この二件の出来事は自分自身にとって劇的でした。感激と言うよりは驚きと表現した方がピッタリでした。ひよつとして、「治ってほしい」という思いが小さかったのが良かったのではないかと思つています。貴重な体験でした。

最後に、夫婦喧嘩の時、片方がシュツとしますが、これに関してはまだ劇的とはいえません。不承不承せいぜい拡大しないまでの効果でしょうか。これに関しては、九月の二本目を心待ちにしているところです。双方でシュツ、結果は乞うご期待です。

◇約二週間程度の実験

郵送だったので、到着したのが、八月十日だったと思います。

翌日か、その次の日かに、まず、水素水を入れて、反転して、愛を入れた状態で、母や自己や部屋の中に噴霧した。

わーっとか異語が出るとかには、ならなかったが、部屋のおいが取れたり、トイレのおいが取れたりした。

その後、七月終わりごろからの、風邪がなかなか治らないので、自分の口の中に、何回か噴霧した。

毎日のように噴霧していたので、十五日の金曜日や十六日の土曜日あたりからは、調子が少しずつ良くなってきた。

昨日あたりから、咳が出なくなったので、やっと、反転が効いてきたのではないかと、感謝し

ている状態です。

約二週間程度の実験だったので、トイレや部屋のおいや口臭などには、かなり効果が出たのではないかと、感じました。

あまり、驚くような劇的な効果は、まだ出ていませんが、継続して噴霧していけばよいと思っているところです。

◇愛の噴霧器で、毎日楽しく

・第二十一回UTA会セミナー終了後、さっそく家に有った水素水ボトルに愛の円盤の上で水素水を入れ、噴霧器を接続して、レバーを引き、試し吹きしてみました。

噴霧器から飛び出す水素水を見ているだけで、なんとも言えない嬉しさが込み上げてきました。

した。

嬉しくて嬉しくてそのまま数分間が経ち再度、噴霧器を自分の顔に向けて噴霧しました。さらに、嬉しくて涙が止まりませんでした。

意識を向ける向けないでは、全然違う世界を再度確認させて頂く体験でした。

常に、気がつけば、ふと思える「田池留吉の意識の世界」、一瞬で通じ合う世界を焦らず慌てず真面目に進めるように愛のグッズ等で、脇道にそれないようにしていきます。

「ともに帰ろうとふるさと」です。

海水浴で日焼けした皮膚に、噴霧して見ました。

赤くヒリヒリしていたのが、徐々に治まってきました。

その際に、肉体細胞に申し訳ない思いが込み上げてきました。

ベランダで栽培している、実が成らなかつた
プチトマトに毎朝、噴霧してみました。すると
実がついてきました。

愛の噴霧器で、毎日楽しくすごしています。

◇家の中の色々な匂い

夏場なので、家の中で色々な匂いを感じ、噴
霧器でシュツとまいて試してみました。

まず気になる台所の生ゴミの蓋を開けて
シュツとしたところ、すぐに匂いが抑えられま
した。

次に下駄箱の中もシュツと二回ぐらいくると
匂いがかかり抑えられ、ああ、本当に効くんだ
と瞬時に効き目があることを感じました。

じゃあトイレもとシュツシュツとすると瞬時
に匂いがなくなり効くことを実感しました。

そして気になっていたエアコンを回した時の
匂い、夏のはじめにあまり臭うので、主人が丁
寧に二回もエアコンを掃除してくれたのです
が、少しましになるくらいで、そのまま使用し
ていました。どれくらい効くかなあといい、エ
アコンから離れた距離から部屋にシュツシュツ
シュツとまいておきました。

この部屋のエアコンは寝る時だけつけるので
すが、匂いが無くなっていました。娘も「臭く
ない」と驚いていました。とつても良い体験
をさせて貰いました。これからも色々なことに
使っていこうと思います。

ありがとうございました。

◇忘れ果てていた思い

愛の水素水の体験①

まだ手元に噴霧器を持っていない時の事。宮

崎の田代さんから電話があり、愛の水素水の噴霧で「ごめんなさい」が出てきて嬉しかったという内容のお電話をいただきました。いろいろそれぞれの近況を話して電話を切った途端、夫が許せない思いが出てきて、「こいつめえ、こいつめ許すもんかあ」で、のた打ち回る一日で、首を絞めたい思いをかううじて理性で留めて一日を過ごしました。

翌日、その出来事を田代さんに電話してこんな思いが出てきて、また二人で良かったねえと喜び合いました。

愛の水素水の体験2

我が家にも噴霧器が届きました。夫に噴霧し、私にも愛と思って夫に噴霧してもらいました。そんな愛の掛け合いをしておりました。

夫に出した、もうすっかり忘れ果てていた私の思いが蘇りました。鹿児島市内から霧島に引越して間もない頃、夫は子供たちが遊びに

来ることを極端に嫌い始めました。来て帰るまで一言の口も効かない、不愉快さをもろに表して二、三年続きました。寂しいのだろうとそんな夫を理解はしましたが、心は憎しみの限りを積み重ねました。それは喧嘩になることを避ける手段でしかなかった。

私の心は忌々しい思いを蓄積しました。その後七、八年も経って、すっかり忘れ果てていた。もう無いかぐらい思えていた。それが、この愛の水素水の噴霧で引き出されました。

その思いを広げれば、事件になるくらいのことを仕出かさなない。

自己供養に繋げること伝えていただいた私たちは幸いです。もつと自分をしっかりと掘り下げていけば、みんな自分の心の中に在るということがよく分かりました。

愛の水素水、すごい効果です。でもそれが自然だったんだなあ。いかに自分が真実からかけ離れてきていたかを知らされています。ありが

とうございます。これからも愛用です。

◇思いつくことの大仕事

ホームページを見て申し込みをしました。

「水素水の噴霧器一本お願いします」とおくりました。

後で見直して、愛が抜けていたと思いました。

これは思いなんだということが、心に感じていないなど、手にする前から体験談書けるかなと心配になるしだいでした。

まず、これを書き始めてから、「誰々よりもいい体験談を書きたい」と競う思いは、素直な自分の思いを押し込めていることに気づきました。

愛の噴霧器からは少しずれたけれど、ひとつの闇と出会えました。

愛の噴霧器で主人が肩が痛いと言うので、二晩かけてあげました、あまり効果がなく、痛い

と言うので、主人は勉強に來ていないから、受ける方に伝わらないのかと思いました。

今度は主人ではなく主人の肉体細胞に向けて噴霧してみました。

主人の肉体細胞は愛に向いているからと、今は継続中です。

私は汗かきで、頭の中も、たくさん汗をかきます、時間がたつと匂ってきて、自分の頭をうごかすたびに匂います。そんなとき愛の噴霧器を噴射してタオルで地肌を拭いてやると、匂いがしません、そしてさらさらとします。

料理をしている時は、この霧がタイケトメキチだと思い、炊飯器でご飯を炊く時もシュツ、みそ汁にもシュツとふきかけて、おいしいなと感じました、お米はつやつやとしておいしいです。

足の水虫はぜんぜん痒くありません。

いろいろ試したのですが、ある日、プランターの花が強い日差しにカラカラとしていたので、

夕方噴霧器をもってシュツシュツとかけていました。するとカラカラだったプランターの花が、うまく言えないけど、その時まで噴霧器の霧にばかり思いが向いていたというか、その時わたしの思いは、タイケトメキチと思っていたのです。私の思いと、噴霧器の霧とプランターの花がひとつに感じられました。今は生き生きと咲いて毎日楽しませてくれます。

思うということの大事さを感じさせてくれた「愛の噴霧器」の体験です。

ありがとうございます。

◇セミナー会場と同じなんだ！

愛の噴霧器が届きました。早速、愛の水素水をつくりました。

七日朝、愛の水素水の入った愛の噴霧器で、家の中、庭、駐車場など家の周り全てにかけて

回りました。其のあとパソコンの前に座ってぼっとしていました。

ああ！セミナー会場と同じだ！セミナー会場と同じなんだ！と気付いたとたん、嬉しさがこみ上げてきて涙が噴き出してきました。

私の家も庭もセミナー会場と化していました。やっぱりそうなんだ、そうだったんだ。

私は、かねてから、大宝に住みたいなあ、住んでみたいと思っていました。きっとセミナー会場と同じではないかなど。

間違いなく大宝もセミナー会場と同じなんだ。

愛の水素水スプレーでこんな実験、体験をさせていただけると、何とも嬉しくて、嬉しくて！！思わず飛び上がり「田池留吉ありがとう！！おかささんありがとう！！田池先生ありがとう！！」なんとも言い難いけれどとてもとても嬉しくて、嬉しくて、ありがとう！！しか在りません。大感激、感無量でした。

申し分ない環境の中、心を見るチャンスを得ていた。

田池留吉、田池先生、ありがとうございます、こんな幸せな中で学ばせて頂いていたんですね。今までと全然違っていきます。

毎日が嬉しいです。勉強が楽しいです。本当にありがとうございます。

愛の噴霧器を頂いて、こんな嬉しい実験と体験をさせて頂き心から感謝です。最高に幸せです。ありがとうございます。

◇あんなに落ち着きがなかった犬が…

犬…：いつになく犬が落ち着かなくゲージの中を行ったり来たり、ただ何となく雲行きが悪くなりそうなくらいでした。

かなり長い時間、一度も座ることなく、吠えるわけでもなく、いつもならぐっすりいびきを

かいて寝ている時間なのだと思います、ふと噴霧器のことを思いタイケトメキチに心向け二、三回かけてみました。

びっくりです、あんなに落ち着きがなかった犬が、お座りして、しばらくするといつもの姿勢でぐっすり寝てしまいました。

イヌの臭い、おしっこの臭いを消せればと思っていたのですが、犬の精神状態まで変わるとは本当にびっくりしました。

いつもの餌は最近食いつきが悪く、煮干しや、野菜を載せないといつまでもたべなかつたのですが愛の噴霧器を二、三回噴霧すると、すぐ食べます。

ただあまりに吼えるので、とつさに噴霧しても駄目でした。当然のことタイケトメキチにも向けず自分の思いどおりしようとする心癖を改めて確認させられました。

老人臭 いつもではないのですが九十六歳に

なる姑の臭いがなくなりました。サロンパス等の張り薬の臭いもすぐ取れます。

その他、歯磨きの時に使うと、とても気持ちがいい。寝る前に喉の奥まで噴霧すると、喉の痛みも取れ、咳が和らぐ。お酒臭かった部屋の臭いが一瞬で消えるなど、いろんな場面で使わせていただいています。ただ噴霧器を持ったとき自分の心をタイケトメキチに合わせて噴霧するということが一番大事だなと思いました。

ありがとうございます。

◇愛を思い、愛に帰る道歩く

今年の一月二十三日、田池先生の水道水の実験がありました。十一時になり、コップにお水を入れて飲んだ瞬間、ワーッと涙が湧いてきました。お水を飲んで泣いた、私の心が愛に触れた感動でした。その後色々な愛のグ

ズを手にする度に、自宅で地域の勉強会で実験して、驚いたり納得したりしながら、とても嬉しく思っておりましたので、愛の噴霧器のお知らせを見て、すぐに申し込みをいたしました。到着を待っている間にも「愛の噴霧器、あの霧は、田池留吉です、田池留吉です」という思いが何度も出てきました。八月六日、愛の噴霧器の到着です。嬉しかったです。早速、愛の水素水を愛の噴霧器にいれました。初めに自分に向けて愛と思えばスプレーしました。愛の霧は温かくて驚きました。

愛の噴霧器の体験

1、お魚を調理して、きれいに後片付けをして
も、生臭い臭いが消えないので、キッチン
の空間に愛と違ってスプレーしました。生臭い
臭いも、きれいに消えて、私にも出来たと思
い、とても嬉しかったです。

2、糠みそを混ぜた手に臭いが残っていたので、

愛と違ってスプレーしました。完全とは言えませんが、ほぼ気にならない位に消えました。

3、乾きかけた野菜に、愛を思つてスプレーしました。段々と生き生きしてきて、新鮮な野菜になりました。

4、これは無理かも知れないと思つた下駄箱でしたが、愛を思つてスプレーしました。本当に臭いがきえました。

5、主人の頭皮に痒みのある湿疹（真菌性皮膚炎）が、五年ほど前から続いています。専門病院へ通つていましたがあまり効果がなく、最近では市販の薬を塗つておりました。主人に愛の噴霧器を進めてみましたら、そうか、と言つてすぐに使い始めました。一週間たつても他のものは使わずに、愛の噴霧器を使っていますので、聞いてみますと、どんな原理が分らないけれど効いているよ、といつて今も使い続けています。愛の噴霧器を自分の専用のようにしているのを見ると、よかつたなあ、

よかつたなあ、と思いつても嬉しいです。

6、おもに朝ですが、家の中のあちこちに、おはよう、おはよう、といつて愛を思い、愛のスプレーをシューシューして歩いていると、ふつと涙が浮かぶときがあります。おかあさんという思いがでてくる時もあります。静かな愛に包まれて私は愛を学ばせて頂いています。

先生が、伝えてくださった「愛の噴霧器の霧は、愛、愛は生かすエネルギー、愛にはこういう力のあることを分かつていくこと」、この事を、これからも学んでまいります。愛の噴霧器を見ていると反省することがあります。今も自分を崩したくない、心の底では崩されまいと構えている自分、そんな思いが浮かんできました。主人の湿疹をとおして、冷たい私の心の反省を促されていることを思いました。

先生に伝えていただいた本当の人生「愛を思

い、愛に帰る道を歩く、この道を、少しでも前へ前へと進めていくことを思っています。

ありがとうございます。

◇愛を噴霧し流してるんだ

愛の噴霧器が到着してから、今日の今まで我が家のそこら中に「シュツシュツ、シュツシュツ」して回っています。

植木、台所シンク、台所のゴミ、お風呂、洗濯室、洗面所、部屋のそこそこ、エアコンなどなど。

ほとんど快適になりましたが、エアコンだけ手こずっています。匂いがない、あまりない、匂うということの繰り返しでした。学んでいない主人も「水素水が良い」ということで噴霧器を使います。エアコンに関しては、主人が噴霧した方が快適になったりします。

また、私の左足に静脈瘤のようなものが手に触れたので、毎日シュツシュツとしています。日によって触れ方が違ってきます。これからも続けて行きます。

肉の思いをいっぱい出しながら、毎日、シュツシュツ、シュツシュツしています。単に水素水を噴霧してるのではなく、愛を噴霧し流してるんだと思えた時は本当にうれしくなりました。「愛が分からない、だから流せない」とずっと思っていました、自分で愛を遮断していたんですね。愛は自分が流すものだったんですね。ありがとうございます。

◇洗顔後の化粧水

愛の噴霧器は、主に洗顔後の化粧水として使っています。顔を洗った後に「シュツ！シュツ！シュツ！シュツ！」と正面から脇か

ら後ろから、たつぷりかけます。ちよつとダラダラになりますが、かけた後は、ほとんど拭きません。以前は純水でやっていましたが、水素水の噴霧器を使うと、さらに気持ちよく、細胞が喜んで感じる感じが内側から伝わってきます。セミナーで田池先生が「シュツ！シュツ！」とやっているのを思い出し、使うたびに嬉しくなります。

歳の割に若く見られるので、今後も「市販の化粧水は使わなくていいかな」と思っています。市販の化粧水は、ピンからキリまで、本当に色々な種類があり、値段もバカになりません。水素水と愛の噴霧器のお蔭で、そういったものを選ぶストレスからも解放されました。

肉の私はズボラで面倒くさがり屋で貧乏性なので、そういう点でも本当にありがたい逸品です。これからも身近に大切に使うていきたいです。

す。ありがとうございました。

◇ 体験談二題

体験談1

農作業中、お腹辺りが痒くなり、ボリボリ掻いていたところ尋麻疹じんましんが出始めました。妻が「顔が變形してきた、普通じゃないから医者に行ったらどうか」と言い出しました。顔にも尋麻疹が広がり水膨れで變形したのです。我ながら只事ではないと思ひ、車で皮膚科医院に向かいました。途中から身体が真つ赤になりだし、皮膚全体が燃えているような熱さになってきました。医院では「緑内障の傾向はあるか？」と問われ、「ある」ということで、アナフィラキシーショック用の注射はできないので、真つ赤になつた全身に抗ヒスタミン軟膏を塗布するから軟膏を調合することになりました。カーテン

で仕切られたところで待つている間、目を瞑って田池留吉に合わせました。少しして目を開けると腕や脚の赤みが引いてきて改善しているのです。が、目を開けていると、また赤みがぶり返す、これを繰り返しました。血液を採って至急検査にだすからと、太い血管に血があまり流れていず、採血に苦労しました。これは動脈の毛細血管が拡張されて血液が体表に留まっていた為、全身が鮮紅色となり、静脈血が減ってしまったためでした。幸い、それ以上のショック状態には進まず、軟膏を塗ってもらい二時間ほどで全症状は消えました。血液検査でも異常は見つかりませんでした。

現象としては以上です。その時、「症状が進んだらショック死するかも知れない、さっきまで元気だったのに、こんなに短時間に簡単に死ぬものだ」と思っていました。また、短時間の瞑想で改善したのには驚きました。その時は「助

けてくれ」の思いはそれほどなくて、只、「することがないので向けてみよう」程度の思いでしたから、その結果に尚更驚いたのです。

体験談2

胸の辺りが時々ポコツとするようになりました。何か意識が上がってきている現象だろうと思っていました。二日間続いていて、ふと自分で脈をとって見たところ十脈ごとに一脈分とぶのです。複数脈連続してとぶと気を失ったり、死に繋がることがあると以前聞いたことがあり、焦ってきました。車運転中に気を失ったら大変だとか、もつと症状が進んだら簡単に死ぬんだと、「死はこんなにも身近にある」と実感しました。医者に行かなければと思いましたが、その前に「草書体愛のTシャツ」を着てみました。すると、それまで十脈ごとにとんでいたものが、着た途端から、全くとばなくなり、以後このような症状はでなくなりました。

これらから、死は遠い存在ではなく、自分にとつても、とても身近であると、また、田池留吉に向くことがこれほどの結果をもたらすことに驚いています。体験1、2のどちらも「今ここで死ぬんだったら受け入れよう」という思いもあって、「助けてくれ」の思いは少なかつたように思います。全て委ねる思いもあつたので、それが良かったのかなとも思っています。

以上です。今回の体験談を提出するに際して、結果を求める欲や己偉い自分に嫌というほど直面しています。

「愛の噴霧器」の体験談になつておらず申し訳ありませんが、これが今の自分なんだと認め進んでいきます。ありがとうございます。

◇ 自分の愚かさを感じています

* 私の体験は、孫が首の下に汗疹ができ様子をみていたのですが、痒くて治りそうにないので愛の噴霧器を「ありがとう」って思いながら二回ほどかけたら、きれいに治りました。

* 娘が口内炎に悩まされていましたから、自分で心からありがとうって思つて口内炎にかけてあげてみてつて渡しました。洗面所の方から痛いって聞こえていましたがその後口内炎のことを口にしなくなりました。

愛の円盤の波動を感じ、自分の愚かさを感じています。愛の円盤は田池留吉です。強い信、温もり、愛が噴出していました。愛の噴霧器も優しいやさしい愛を伝えてくれます。まだまだ喜びが少ない私です。のろい歩みですけど確実に愛に近づいています。

◇体験談書くの苦手

愛の噴霧器ほしい。でも体験談書くの苦手だなあ。提出しないといけない。そんな中で書かせていただきました。

三十年以上使っている皮のソファ、もう皮に切れ目が沢山入ってしまっているのもう捨てるしかないと思いつつ、置いていました。

あっ、そうだ、愛の水素水で噴射。田池留吉に心に向けてシュツシュツ、細かい霧が優しくソファの切れ目を包み込んでくれる。お母さんが傷ついた我が子を優しく包み込んでくれるそんな思いが伝わって嬉しかった。

水素水を振る前は、なんとも草臥くたびれたソファだったのが、すごい艶つやがでてきて生き生きとしてきたんです。

くたびれたソファが生きかえった。わあ

……凄いい嬉しい。

今迄は当たり前前に座っていた、心に向けてこともなく冷たかった。ソファも意識、生きている。

愛の水素水のエネルギー波動のすごさを感じさせていただきました。

毎日、ソファは愛の水素水、霧、かけるのを待っていてくれるようです。

私も肉体は年老いて来ましたが、意識は生き生きとしていけるんだと教えてもらっています。ありがとうございます。

◇家全体がほんわかとした雰囲気

「愛の噴霧器」が八月から我が家にやってきました。私は、皮膚が弱いものですから、あちら

こちら痒いところがあり、特に痒いところが三箇所あるのですが、今まで薬をつけても今一步だったのが、まずは愛の円盤の上に置き、その上でその個所に噴霧すると痒みが治まるので、驚いております。ただ、円盤の上に置いた時に、田池留吉に、お母さんの温もりに思いを向けるのですが、その向け方の度合いによって痒みがピタッと治まったり、痒みが残っていたりトロメーターとなっています。

ただ、それもありますが、何といっても部屋に噴霧すると、何か家全体がほんわかとした雰囲気になるのが嬉しいです。それまでギスギスした雰囲気でも、噴霧すると少しでも和んでいくのが分かるのが嬉しいです。また、噴霧することで自分でも、あ、今こういう思いを出しているなどと心を覗いていくきっかけになるので、いいものが家に来てくれたと喜んでおります。ありがとうございます。

◇膀胱と尿道のあたりに違和感

連日の猛暑の中、クーラーを多用して冷えたのかもしれない。膀胱と尿道のあたりに違和感を覚えました。

痛みはなく、排尿もスムーズなので、膀胱炎まではいっていないかと思いましたが、放っておいてはいけないかと思い、愛の道具を使ってみました。

愛のハンカチを愛の水素水に浸し、尿道のあたりにあてて、二〜三分ほど田池留吉を思いましました。

その晩は、愛のタオルをお腹と尿道のあたりに充てて寝ました。

朝起きると、ほとんど異和感がなくなっていました。

日中活動していると、気になるときもありませんでしたので、その時は愛の噴霧器を使って、尿道のあたりに噴霧しました。

気になったら、田池留吉を思い、愛の噴霧器を使うという何を何回か繰り返しているうちに、一週間程で、ほとんど気にならない程度になりました。

ただ、やはり、多少の違和感が残っています。それは、自分の中の愛がまだまだの状態だからと理解して、日々肉体細胞に向けて瞑想するようにしています。

そのほか、食事をした後の汚れた食器に噴霧すると、油などの臭いが抜ける。部屋に噴霧すると嬉しくなると同時に臭いも消える。料理にさつとひと吹きするとおいしくなる。歯を磨くとき歯磨き粉をほんの少しつけた歯ブラシに噴霧して磨くと、歯を磨いた後の後味の悪いのがほとんどなくなる。湯船に一噴きして喜んで入浴する。洗濯機の洗いのものに一噴きすると洗いがりが優しくなる……等々いろいろ活用させていただいています。

うれしいです。ありがとうございます。

◇やさしい霧に触れながらの瞑想

瞑想するとき、いつもこの愛の噴霧器を使ってきました。愛の噴霧器から出てくるやさしい霧に触れながらの瞑想です。その時にいつも感じたことは、お母さんと呼べる、思いやすくなるということです。もちろん、田池留吉、と思いを向けるときも向けやすくなります。あまり自分の中に障害がないというか、素直に思えるのです。不思議でした。愛に触れているからなんだ、愛が注がれているからなんだ、肉でもそう認識しながら愛の噴霧器を使います。そしてまた、瞑想でもそのことが確認できます。

思うということがしやすくなる、お母さんの温もりは愛だから、愛に触れると、お母さんと素直に思えるのだと感じました。自分の中の愛

を信じて、またこのように愛に触れながら瞑想をしていく楽しさを感じました。

今回の体験から、これからの田池留吉を思う瞑想、宇宙を思う瞑想、死後の自分を思う瞑想、どの瞑想にも自分の中のお母さんの温もりを感じて、信じていることがとても大切なんだと感じました。愛がそのことを伝えてくれる、もつともつと温もりを信じていきなさい、そしてともに帰ろうと自分に伝えていこう、そんな思いが湧いてきます。

本当にたくさんさんの愛のグッズを頂いて、このように学ばせていただけることが嬉しいのです。また、今回このような機会を頂き、ありがとうございます。ございました。

◇ 冷蔵庫さん、ありがとう

トイレのにおいが気になり水素水を噴霧しま

したら、すっーつとする感じがしてにおいが消えました。とても不思議でした。

我が家は猫を飼っていて、トイレがにおうのですが、三回水素水を噴霧したら、イヤなおいがなくなりました。本当にびっくりです。

二年位使用している冷蔵庫の製氷機が突然機能しなくなってしまう、氷ができなくなってしまうしました。製氷タンクを洗ったり、フィルターを掃除したりと、いろいろやりましたが水は全くできません。台所にも水素水を噴霧していたのですが、一週間間いた頃、冷蔵庫の水が出来始めました。諦めていましたし、修理を頼まなければならぬと思っていたので、訳が分からずびっくりしました。

とても嬉しくなり、「冷蔵庫さん、ありがとう」と思って泣いてしまいました。これからも愛の噴霧器を使って楽しく、明るく過ごしていきたい

いと思います。

ありがとうございます。

◇ ななさまへ

UTA会に送ると思ったら、ななさまにお話しする形になりました。

自分に向けて噴霧した時に出てきた思いです。

たくさんの肉の人生をいただきました。しかし、それがなぜ、たくさんなのか理解できませんでした。たくさんであれば、あるほど憎しみが募るからです。どうして……。その疑問はさらに私を苦しめました。ななさま、私のいるところをご存じですよ。ここは地獄の底です。もう、沈みようがありません。そうして、ここにも愛が届くのです。静かに舞い降りてきます。周りが明るくなって、現状を知ります。それ

で、やっと認められるのです。その違いに、気付くのです。そのために地に墮ちました。愛するがゆえに落ちたのです。いつか浮上することを誓って。今がそのときだと、ななさま、降ってくるのです、祝福が……。

◇ 月並みな、でも、うれしい体験

田池留吉を思い、愛の噴霧器を使って次のような体験をしました。

- ・洗面所の洗濯機の排水口の嫌な臭いが消えた。
- ・生ごみの臭いが消えた
- ・体にスプレーしてから前屈すると、指先が床まで届いた。
- ・瞑想中にスプレーしてもらうと、いつもより多くブラックが出てきた。

以上、月並みな体験ばかりで申し訳ございません。これから、いろいろと試してみたいと思います。

◇ 体全体が鳴咽おえつをあげるような体験

冬に田池先生のHPで「著名な科学者・有名人の意識を受けて送りなさい」との指示が出たので、三月頃やっと送りました。最初は芸能人や歌手等が多かったのですが、セミナーで「自分の解放」と先生が言われたので、中山身語正宗の開祖と不動尊に向けてのチャネリングもやってみました。

仕事が忙しい時期と重なり、肉体的にもきついでしたので、自分の中をえぐるようなチャネリングは一言一言、血の出るような思いでしぼりだした感じで、とても苦しかったです。

でもなぜかその後、周囲が整ってきました。

今まで抱えていたトラブルが収束しはじめ、職場の雰囲気も変わり、「あれー、こんなに楽だったっけ？」と思うような日が続き、「いやいや、平和なのは今日だけかもしれない。しばらく様子を見よう」と思い一ヶ月ほどたつても穏やかなので、今までケンカ腰で生きていた私にとっては拍子抜けしたようになって、フワフワと変な感じで日々を過ごしていました。

三月のセミナーで塩川さんから「闇を出し切れない。狂ってしまうのが怖いから、私は自分にフタをしています」とチャネリングをしてもらったことで、もつとお母さんの反省をしようと思いました。

そうしたら五月のセミナーでは、資料の名前の横に黒丸が付いていたので、「このやり方で反省していいんだな」と思いました（それまではただ先生にメールを送るだけだったので「自分のチャネリングはこれでいいのかな？」と思っていたのです）。

六月の檀原少人数セミナーに当選し、喜びは頂点に達しましたが、忙しい時期に平日の三日間職場に無理を言つて休むためには相当の量の残業をする必要がありました。そのため体力的にはヘトヘトの状態で行きました。

檀原の会場はもう別世界で、先生が座つておられる前の方の部屋と、私が座っている後ろの部屋との間には、見えないバリアーでもあるかのように、「すぐそばに見えているのに近づけない」そんな感じでした。微熱に浮かされていくような感じで、とりあえず体だけは運んだけれど先生の話は頭に入つてこない。なので、持つていったパソコンで二日目の朝、ウェブにアップされた動画を部屋で見で、やっと「あー先生は昨日こんな話をされていたんだ」と確認したほででした。

ただ、「心が広がる」そんな瞬間が自分にあつて、参加できて良かったな、と思いました。

家へ帰ると肉レベルの行事が押し寄せてき

て、また肉に戻つてしまいましたが、七月のセミナーで肺のトラブルを抱えて参加した私に先生が指を触れてくださり、その後、遠くの席の人たちに向けて先生が噴霧器で水素水を噴きかけていた時、初めて水素の粒子一粒一粒が肺にしみわたり、体全体が嗚咽おえつをあげるような体験をさせてもらいました（物理的には水滴は届かない距離に座っていたのにです）。

今回、噴霧器を希望して家で使ってみました。七月のセミナーのような体験は家ではまだありませんので、また初心に戻り、頑張ろうと思います。ありがとうございました。

体験文集 Vol.4 【秋号】

初版発行 2014年12月21日

編 者 UTAブック
編集協力 宇野敏一／岡田有弘／三ツ矢照雄
装 丁 金子 互
電子図書製作 DEP (株式会社シルクふあみりい)
発 行 UTAブック (株式会社シルクふあみりい)
大阪府南河内郡河南町大宝 3-10-15
TEL FAX 0721-21-4712
印刷・製本 モリモト印刷株式会社

© UTA-BOOK, Printed in Japan 2014